Oracle VM Server for SPARCを使ってみよう

(構築・運用手順書)

2012年3月

第2版

富士通株式会社

1

FUĴĨTSU

本資料について

- Oracle VM Server for SPARCの構築手順を紹介しています。別冊の「Oracle VM Server for SPARCを使ってみよう(構築・ 運用編)」を参照しながら、本手順書を活用してください。
- 参考URL http://primeserver.fujitsu.com/sparcenterprise/technical/#ldom-kouchiku
- 本書に記載されているコマンドの実行結果は環境によって異なる場合があります。
- 本資料は、SPARC ENterprise T5120, Oracle VM Server for SPARC 2.1, Oracle Solaris 10 8/11を使用した手順を紹介して います。

使用条件

- 著作権・商標権・その他の知的財産権について
- 日にTHE POINTE CONTEON NPDM 医椎につい C コンテンツ(文書・画像・音声等)は、著作権・商標権・その他の知的財産権で保護されています。本コンテンツは、個人的に使 用する範囲でプリントアウトまたはダウンロードできます。ただし、これ以外の利用(ご自分のページへの再利用や他のサーバ へのアップロード等)については、当社または権利者の許諾が必要となります。 保証の制限
- 本コンテンツについて、当社は、その正確性、商品性、ご利用目的への適合性等に関して保証するものではなく、そのご利用 により生じた損害について、当社は法律上のいかなる責任も負いかねます。本コンテンツは、予告なく変更・廃止されることが あります。

商標

- UNIXは、米国およびその他の国におけるオープン・グループの登録商標です。
- SPARC Enterprise、SPARC64およびすべてのSPARC商標は、米国SPARC International, Inc.のライセンスを受けて使用して いる、同社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- OracleとJavaは、Oracle Corporation およびその子会社、関連会社の米国およびその他の国における登録商標です。
- その他各種製品名は、各社の製品名称、商標または登録商標です。

 ■ 目次 1. 実機環境の確認 (1) ファームウェア版数のご (2) Solaris OS環境の確認 (2) Solaris OS環境の確認 2. 制御ドメインの構築 (1) Oracle VM Server fot (2) 基本仮想サービスの備第 (3) 制御ドメインの初期設 (4) ドメインの構築 (1) ゲストドメインの構築 (1) ゲストドメインの内構築 (1) ゲストドメインのの時に (2) ゲストドメインのの優化 (1) ゲストドメインの操作 (1) 横葉後のゲストドメイン 4. ゲストドメインの操作 (1) 使用リソースの確認 (2) ゲストドメインの回動・ 5. リソース操作 (1) 使用リソースの確認 (2) ゲストドメインのの目い (5) 仮想ディスクの追加 (6) 仮想ディスクの追加 (7) 物理!/0デバイスの追 (1) ドメインのディスクとど (2) ロールバック機能 (4) Idom2のシステム再構 	確認 & r SPARC Software のインストール 設定 環境設定 インストール ールログイン ンの環境確認 停止 加・削除 リソースの追加・削除 リソースの追加・削除 リソースの追加・削除 いースの追加・削除 いたの及FSの活用 iSoの状態確認		
 日次 実機環境の確認 アームウェア版数のi Solaris OS環境の確認	確認 2 r SPARC Software のインストール 数定 定 環境設定 インストール ールログイン ンの環境確認 停止 加・削除 リノースの追加・削除 リノースの追加・削除 リノースの追加・削除 シノースの追加・削除 シノースの追加・削除 シノースの追加・削除 シノースの追加・削除 シノースの追加・削除 シノースの追加・削除 シノースの追加・削除 シノースの追加・削除 シノースの追加・削除 シノースの追加・削除		
 実機環境の確認 ファームウェア版数のi Solaris OS環境の確認 Solaris OS環境の確認 第個ドメインの構築 Oracle VM Server fo 基本仮想サービスの設 第インの構築 ディンの初期設 ボインの構築	確認 8 r SPARC Software のインストール 数定 環境設定 インストール ールログイン ンの環境確認 停止 加・削除 リソースの追加・削除 リソースの追加・削除 いノースの追加・削除 にか RCへのZFSの活用 FSの状態確認		
 (1) アームワエア Maggin (2) Solaris OS環境の確認 2. 制御ドメインの構築 (1) Oracle VM Server fo (2) 基本仮想サービスの (3) 制御ドメインの初期設 (4) ドメインの構築 (1) ゲストドメインの構築 (1) ゲストドメインのの (2) ゲストドメインのの構築 (1) ゲストドメインののでは (2) ゲストドメインのの構築 (1) ゲストドメインののの (3) ガストドメインのの目 (2) ゲストドメインのの目 (2) ゲストドメインのの型の 4. ゲストドメインの操作 (1) 使用リソースの確認 (2) ゲストドメインの起動・ 5. リソース操作 (1) 使用リソースの確認 (2) 仮想ディスクの追加 (6) 仮想ディスクの追加 (6) 仮想ディスクの副除 (7) 物理!/0デバイスの追 6. Oracle VM Server for SPAI (1) ドメインのディスクレンジ (2) ロールバック機能 (3) クローン機能 (4) Idom2のシステム再構 	^{産産認} g g g g 定 環 環 強設定 インストール ールログイン シの環境確認 停止 加・削除 リソースの追加・削除 リソースの追加・削除 リソースの追加・削除 パン にな がの ま な た の 活 に に い 前 に い の に に い の に に に に い に に に い に い に の に し い し の し し し の し し し の し し し の し し し の し し し の し し し の し し の し し し の し し し の し の し の し し し の こ の し の し の し の し い 一 の し い う い し い っ し い し 、 し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し い し し し い し い し い し い し い し い し い し い し し し し い し い し い し で こ の い に い つ し い し し し し し い し し し し し し し し し し し し し		
 制御ドメインの構築 (1) Oracle VM Server for (2) 基本仮想サービスの割 (3) 制御ドメインの初期設 (4) ドメインのネットワーク: デストドメインの構築 	r SPARC Software のインストール 安定 環境設定 インストール ールログイン ンの環境確認 停止 加・削除 リンースの追加・削除 リンースの追加・削除 シリースの追加・削除 シリースの追加・削除 シリースの追加・削除 シリースの追加・削除 シリースの追加・削除 シリースの追加・削除 シリースの追加・削除 シリースの追加・削除 シリースの追加・削除		
 (1) Oracle VM Server fo (2) 基本仮想サービスの設	r SPARC Software のインストール 設定 設定 環境設定 インストール ールロダイン ンの環境確認 停止 加・削除 リソースの追加・削除 リソースの追加・削除 ドレースの追加・削除 に加 RCへのZFSの活用 FSの状態確認		
 (2) 基本(D 想)「レスクの) (3) 制御ドメインの初期数 (4) ドメインの構築 (1) ゲストドメインの構築 (2) ゲストドメインの内護 (2) ゲストドメインの見た (3) ゲストドメインの操作 (1) 構築後のゲストドメイン (2) ゲストドメインの規作 (1) 構築後のゲストドメイン (2) ゲストドメインの規作 (1) 使用リソースの確認 (2) 仮想にクリリソースの追い (3) ゲストドメインのスモリリ (4) 制御ドメインのメモリリ (5) 仮想ディスクの追加 (7) 物理!/0デバイスの追 (7) 物理!/0デバイスの追 (3) グローン機能 (4) はのm2のシステム再構 (1) 仮想ディスクの応用 (1) 仮想ディスクの方子イリ 	^{設定} 定 環境設定 インストール ールログイン ンの環境確認 停止 加・削除 リソースの追加・削除 リソースの追加・削除 いースの追加・削除 に加 RCへのZFSの活用 FSの状態確認		
 (4) ドメインのネットワーク: ボストドメインの構築 (1) ボストドメインの構築 	環境設定 インストール ールログイン ンの環境確認 停止 加・削除 リソースの追加・削除 リソースの追加・削除 リソースの追加・削除 に加 RCへのZFSの活用 FSの状態確認		
 ゲストドメインの構築 ゲストドメインの構築	インストール ールロダイン ンの環境確認 停止 加・削除 リソースの追加・削除 リソースの追加・削除 リノースの追加・削除 に加 RCへのZFSの活用 FSの状態確認		
 (1) ゲストドメインの作成 (2) ゲストドメインののS- (3) ゲストドメインのコンソ 4. ゲストドメインの操作 (1) 構築後のゲストドメイン (2) ゲストドメインの起動・ 5. リソース操作 (1) 使用リソースの確認 (2) ゲストドメインの起動・ 5. リソース操作 (1) 使用リソースの確認 (2) 仮想にPUリソースの確認 (3) ゲストドメインのメモリリ (4) 制御ドメインのメモリリ (5) 仮想ディスクの追加 (7) 物理I/0デバイスの追 (6) 仮想ディスクの削除 (7) 物理I/0デバイスの追 (1) ドメインのディスクとど (2) ロールバック機能 (4) Idom2のシステム互相 (1) 仮想ディスクの応用 (1) 仮想ディスクの応用 (1) 仮想ディスクの下月 	インストール ールログイン ンの環境確認 停止 加・削除 リンースの追加・削除 リンースの追加・削除 れ RCへのZFSの活用 FSの状態確認		
 (3) ゲストドメインの昇作 (1) 構築後のゲストドメイン (2) ゲストドメインの提作 (1) 構築後のゲストドメイン (2) ゲストドメインの起動・ 5. リソース操作 (1) 使用リソースの確認 (2) 仮想にPUリソースの違 (3) ゲストドメインのメモリリ (4) 制御ドメインのメモリリ (5) 仮想ディスクの追加 (7) 物理I/0デバイスの追 (7) 物理I/0デバイスの追 (7) 物理I/0デバイスの追 (1) ドメインのディスクと2F (2) ロールバック機能 (3) クローン機能 (4) Idom2のシステム再構 7. 仮想ディスクの応用 (1) 仮想ディスクの応用 (1) 仮想ディスクのアナガ 	ールログイン ンの環境確認 停止 加・削除 リソースの追加・削除 リソースの追加・削除 に加 RCへのZFSの活用 FSの状態確認		
 ゲストドメインの操作 (1) 構築後のゲストドメイン (2) ゲストドメインの起動・ ゲストドメインの起動・ (1) 使用リソースの確認 (2) 仮想CPUリソースの追 (3) ゲストドメインのメモリリ (4) 制御ドメインのメモリリ (5) 仮想ディスクの追加	ンの環境確認 停止 加・削除 リソースの追加・削除 リソースの追加・削除 コン RCへのZFSの活用 FSの状態確認		
 (1) 構築後のゲストドメイン (2) ゲストドメインの起動・ 5. リソース操作 (1) 使用リソースの確認 (2) 仮想CPUリソースの追 (3) ゲストドメインのメモリリ (4) 制御ドメインのメモリリ (5) 仮想ディスクの追加 (6) 仮想ディスクの副除 (7) 物理I/0デバイスの追 6. Oracle VM Server for SPAI (1) ドメインのディスクとZF (2) ロールバック機能 (3) クローン機能 (4) Idom2のシステム再構 (1) 仮想ディスクの応用 (1) 仮想ディスクのアナガ 	ンの環境確認 停止 加・削除 リソースの追加・削除 リソースの追加・削除 に加 RCへのZFSの活用 FSの状態確認		
 (2) アメーアトランジョン (2) 使用リソースの確認 (2) 仮想CPUリソースの違 (3) ゲストドメインのメモリ (4) 制御ドメインのメモリ (5) 仮想ディスクの追加 (6) 仮想ディスクの削除 (7) 物理!/0デバイスの追 6. Oracle VM Server for SPAI (1) ドメインのディスクとZF (2) ロールバック機能 (4) Idom2のジステム再構 (7) 仮想ディスクの応用 (1) 仮想ディスクのファイリ (1) 仮想ディスクのアナリ 	hr - 前除 リソースの追加・前除 リソースの追加・前除 リースの追加・前除 に加 RC への ZFS の活用 FSの状態確認		
 リソース操作 (1) 使用リソースの確認 (2) 仮想CPUリソースの道 (3) ゲストドメインのメモリリ (4) 制御ドメインのメモリリ (5) 仮想ディスクの追加 (6) 仮想ディスクの削除 (7) 物理I/0デバイスの追 6. Oracle VM Server for SPAI (1) ドメインのディスクと打 (2) ロールバック機能 (3) クローン機能 (4) Idom2のシステム再構 (1) 仮想ディスクの応用 (1) 仮想ディスクの応用 (1) 仮想ディスクのホーカ (1) 仮想ディスクのホーカ (1) 仮想ディスクのホーカ 	加・削除 リソースの追加・削除 リソースの追加・削除 に加 RC への ZFS の活用 FSの状態確認		
 (2) 仮想CPUUソースの追 (3) ゲストドメインのメモリ (4) 制御ドメインのメモリ (5) 仮想ディスクの追加 (6) 仮想ディスクの副除 (7) 物理I/0デバイスの追 (7) 物理I/0デバイスの追 (1) ドメインのディスクと21 (2) ロールバック機能 (3) クローン機能 (4) Idom2のシステム再構 7. 仮想ディスクの応用 (1) 仮想ディスクのアナガ 	加・削除 リソースの追加・削除 リソースの追加・削除 加 RC への ZFS の活用 FSの状態確認		
 (3) ケストドネインのメモリ」 (4) 制御ドメインのメモリ」 (5) 仮想ディスクの追加 (6) 仮想ディスクの削除 (7) 物理I/0デバイスの追 6. Oracle VM Server for SPAI (1) ドメインのディスクとZF (2) ロールバック機能 (3) クローン機能 (4) Idom2のシステム再構 7. 仮想ディスクの応用 (1) 仮想ディスクのファイリ (5) 仮想ディスクのファイリ 	ックースの追加・削除 リンースの追加・削除 加 RCへのZFSの活用 FSの状態確認		
 (5) 仮想ディスクの追加 (6) 仮想ディスクの削除 (7) 物理//0デバイスの追 6. Oracle VM Server for SPAI (1) ドメインのディスクとZF (2) ロールバック機能 (3) クローン機能 (4) Idom2のシステム再構 7. 仮想ディスクの応用 (1) 仮想ディスクのファイリ 	加 RC への ZFS の活用 Sの状態確認		
 (7) 物理I/0デバイスの追 6. Oracle VM Server for SPAI (1) ドメインのディスクとZf (2) ロールバック機能 (3) クローン機能 (4) Idom2のシステム再構 7. 仮想ディスクの応用 (1) 仮想ディスクのファイリ (2) 仮想ディスクのアナリ 	加 RC への ZFS の活用 FSの状態確認		
 Oracle VM Server for SPAI ドメインのディスクとZf ロールバック機能 クローン機能 クローン機能 ノローン機能 レオンクステム再構 た想ディスクの応用 仮想ディスクのファイリ のまたコンクのアイリ 	RC への ZFS の活用 issの状態確認		
 (1) ドメインのディスクとZF (2) ロールバック機能 (3) クローン機能 (4) Idom2のシステム再構 7. 仮想ディスクの応用 (1) 仮想ディスクのファイリ 	FS の状態確認		
(2) ロールン機能 (3) クローン機能 (4) Idom2のシステム再構 7. 仮想ディスクの応用 (1) 仮想ディスクのファイリ	s at		
(4) Idom2のシステム再構 7.仮想ディスクの応用 (1) 仮想ディスクのアイノ	E FÜ		
7. 仮想ディスクの応用 (1) 仮想ディスクのファイル	5.02		
(1) 仮想ディスクのファイノ			
(2) 仮想ナイスクの共用	UYX74		
(3) 制御ドメイン、ゲストド	メイン間の物理ディスクの共用		
8. ネットワークの冗長化			
(1) 制御ドメインでの冗長 (1-1) 仮想スイッチの設定	1L		
(1-2) 制御ドメイン上でのIP	MP の設定		
(1-3) IPMP設定の確認 (1-4) 仮想ネットワークスイッ	ノチと制御ドメインのルーティングの設定		
(1-5) ゲストドメインの設定 (2) ゲストドメインでの冗長	≣.(K.		
9. ハツクアツノ・リストア (1) ゲストドメインのバック	アップ		
(2) ゲストドメインのリストス	ب		
10. Oracle VM Server for SP/	ARC環境の削除		
(1) ゲストドメイン環境の間 (2) 制御ドメイン環境の間	削除 除		
(1) ゲストドメイン環境の制 (2) 制御ドメイン環境の削	削除 除		

FUĴĨTSU

11. Status on all 11. Status on all 11. Status on a subscription of the subscription		Oracle VM Server for SPARCを使ってみよう(構築・運用手順	書)	作成日	2012年2月	
<pre>(1) 77- 477 58 00 58 (1) 1000 27 547 58 00 58 (1) 1000 27 547 58 00 58 (1) 1000 27 547 57 (1) 100</pre>	1. 実機3	景境の確認	-> show /HOST /HOST Targets:			
show rHOST if read bulgers and	(1) 77-4 1) ILON	ムウェア版数の確認 M上でファームウェア版数を確認します。	bootmode			
<pre> transf discrete = rest term te</pre>	-> 9	show /HOST	diag			
Point h->** (#1L0M0/TD>Th-ty, fille of the second s	3	※「7.4.0.b」 以降であることを確認します。 (SPARC Enterprise T5xxx / Oracle VM Server for SPARC 2.1の場合)	domain tpm Properties: autorestart =	reset		
<pre>start = Solid is remits with service is Backgrade Firmer 7. 4.0.6 2001/02/10 15:24 ~ (%8) ~ * (%8</pre>		Point "->" はILOMのプロンプトです。	autorunomerro bootfailrecov bootrestart = boottimeout = hypervisor_ve macaddress = maxbootfail = obp_version = post_version send_break_acc	r = false ery = poweroff : none : 0 rrsion = Hyperv 00:14:4f:d5:03 : 3 : 0penBoot 4.33 = POST 4.33.0.0 tion = (Cannot	isor 1.10.0.a 2 :c2 0.b 2011/05/16 d 2011/07/14 21 show property)	2011/07/15 11:50 5 16:27 :47
1) - Sogarzy/KL®RLaft. -> start / SP/console 1) -> start / SP/console -> start / SP/console 2) tool 2	(2) Solaris	- OS 環境の確認	status = Sola sysfw_versior ~(省略)~	ris running = Sun System	Firmware 7.4.0.	d 2011/08/10 15:24
start /SP/console the you are you wan to start (% control (%) % be real control for start (% control (%) % be real control for start (% control (%) % the control (%) (% control (%) (%) (%) (%) (%) (%) (%) (%) (%) (%)	1) OSO	シーズシールに接続します。	-> start /SP/console			
2) root 1-97C9724, 0.50 /// 100 //	-> 9	start /SP/console	Are you sure you want Serial console starts	to start /SP/	console (y/n)? vpe #.	У
primary# cat /etc/release Grade Solar 10 8/11 s10_ut0es_17b_SMC Grade Solar 10 8/11 s10_ut0es_17b_SMC Grade Solar 10 8/11 s10_ut0es_17b_SMC Grade Solar 10 8/11 s10_ut0es_17b_SMC Grade Solar 10 8/11 s10_ut0es_17b_SMC Ascended 23 August 2011 3) サーバの構成情報を確認します, primary# particulor up million op million op million op ** Oracle Solar 10 8/11 s10_ut10es_17b_SMC Grade Solar 10 9/11 s10_ut10es_17b_SMC Ascended 23 August 2011 Ascended 23 August 2011 ** Torving faiting optiming - up million optim million optiming - up million optiming - up million	2) root	ユーザでログインし、OSの版数を確認します。				
** Oracle Solaris10 9/10以降 Corylint (c) 193, 201, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved. ** Oracle Solaris10 9/10以降 Ausombied 23 August 2011 ** CPUB&STERULEST. primary# poinfo -vp ** CPUB&STERULEST. Primary# poinfo -vp ** T-right:Lights & CPUB State Conf. yp 184.5 (B) 25 7.0 ± yp 5 ± 5 ± 5 ± 023 ± 2-30 ** T-right:Lights & CPUB Primary# price of -vp 1846 ** T-right:Lights & CPUB Primary# price of -vp 1846 ** T-right:Lights & CPUB Primary# price of -vp 1846 ** T-right:Lights & CPUB Primary# price of -vp 1846 ** T-right:Lights & CPUB Primary# price of -vp 1846 ** T-right:Lights & CPUB Primary# price of -vp 1846 ** T-right:Lights & CPUB Primary# price of -vp 1846 ** T-right:Lights & CPUB Primary# price of -vp 1846 ** T-right:Lights & CPUB Primary# price of -vp 1846 ** T-right:Lights & CPUB Primary# price of -vp 1846 ** T-right:Lights & CPUB Primary# price of -vp 1846 ** T-right:Lights & CPUB Primary# price of -vp 1846 ** T-right:Lights & CPUB Primary# price of Figure 1846 ** T-right:Lights & CPUB Primary# price of Figure 1846 ** T-right:Lights & CPUB 145808-04 DB ** T-right:CPUB Primary# price of Figure 186 ** T-right:CPUB Pr	prin	mary# cat /etc/release	primary# cat /etc/re 0	lease r <mark>acle Solaris 1</mark>	0 8/11 s10s_u1	Owos_17b SPARC
 3) P-/AQ#R##24820_57. primary# psinfo -vp w CPU248480_57. * ヤーバ環境により具なることがかります. primary# priconf -v head % カールアーキアグティ、メモリケイスを確認します. * カールアーキアグティ、メモリケイスを確認します. * カールアーキアグティ、メモリケイスを確認します. * コールアーキアグティ、メモリケイスを確認します. * コールアーボック(二) head (Software Rodes): * オールアーキアグティ、メモリケイスを確認します. * ローボ環境により点なることがあります. * ローボ環境により点なることがあります. * ローボ環境により点なることがあります. * コールアーボック(二) head (Software Rodes): * (#8) ~ * ローボ環境により点なることがあります. * ローボ環境により点は、ローボーボーボーボーボーボーボーボーボーボーボーボーボーボーボーボーボーボーボ	;	※ Oracle Solaris10 9/10 以降	Copyright (c) 1983, reserved.	2011, Oracle Assembl	and/or its aff ed 23 August 20	iliates. All rights D11
primary# psinfo -vp primary# psinfo -vp * CPUB&VBRUE.F1. Primary# priceonf -v1 [head System Configuration: Sum Nuccesstems: sun-V Mucrosoftware Nuccesstems: Sun-V Primary# diadm show-link e10000g Primary# di	3) <u>サー</u>	バの構成情報を確認します。				
 * CPU数を確認します。 * サーバ環境により具なるととがあります。 * リーバ環境により具なるととがあります。 * リーバ環境により具なるととがあります。 * アーボックテキクティ、メモリサイズを確認します。 	prin	mary# psrinfo -vp	」primary# psrinfo -vp 物理プロセッサは <mark>32</mark>	📶の仮想 プロセ	ッサ を持ちます	≢ (0-23 32-39)
primary# priconf -v head primary# priconf -v head * カーネルアーキテクチャ、メモリサイズを確認します。 System Configuration: Sum Norcosystem: sum/v Massaward Sum Paripherals Gottume Nodes): • サーイス環境により異なることがあります。 Vietam Paripherals Gottume Nodes): • オープ・ボード Primary# diade show-link primary# diade show-link Primary# diade show-link * 表示されるティバイスを確認します。 Primary# diade show-link * 表示されるティバイスを使用していることを確認します。 Primary# diade show-link * 教育されるティバイスを行いることを確認します。 Primary# diade show-link * * 数できれるティバイスを行いることを確認します。 Primary# Jack Structure Stru	* (CPU数を確認します。 サーバ環境により異なることがあります。	UITRASPARG-12 (CNI	ρια υ, стоск τ	165 MHZ)	
** カーネルアーキテクラ・、メモリウイスを確認します. Benery #12: 800 Headback/1960 ** サーバ環境により異なることがあります. System Peripherals (Boltware Bodes): ~ (宿助)~ ** サーバ環境により異なることがあります. ~ (宿助)~ ** オーパ環境により異なることがあります. ** (宿助)~ ** オーパ環境により見なることがあります. ** (宿助)~ ** オーパ環境によりなることがあります. ** (宿助)~ ** オーパ環境により見なることがあります. ** (宿助)~ ** オーパ環境によります. ** (宿助)~ ** オーパ環境によります. ** (宿助)~ ** 素売れるデバイスがGLD3に対応していることを確認します. ** (10002) ** 100023 タイブ: 非 vian ntu: 1500 デバイス: e100021 ** 100023 タイブ: 非 vian ntu: 1500 デバイス: e100023 ** 100021 タイブ: 非 vian ntu: 1500 デバイス: e100023 ** 100021 タイブ: 非 vian ntu: 1500 デバイス: e100023 ** 100021 ** (1020)***********************************	prin	mary# prtconf -v head <	primary# prtconf -v System Configuration	head : Sun Microsys	stems sun4v	
 1. キャワークケバイスを確認します. primary# dladm show-link * 表示されるデバイスかGLDv3に対応していることを確認 * 表示されるデバイスかGLDv3に対応していることを確認 * さののの クイブ 非 vian ntu: 1500 デバイス: e1000g1 クイブ 非 vian ntu: 1500 デバイス: e1000g2 クイブ 非 vian ntu: 1500 デバイス: e1000g3 * 142909-17 以降 141514-02 以降 145868-04 以降 (Oracle Wa Serve for SPARC 2.10場合) * 142909-17 以降 141514-02 以降 145868-04 以降 (Oracle Wa Serve for SPARC 2.10場合) * 142909-17 以下 141514-02 以降 145868-04 以降 (Oracle Wa Serve for SPARC 2.10場合) * 155 3.0 以下 (SPARC Enterprise T5120 / Oracle VM Server for SPARC 2.10場合) * ESF 3.0 以下 (SPARC Enterprise T5120 / Oracle VM Server for SPARC 2.10場合) * ESF 3.0 以下 (SPARC Enterprise 7ァームウェアダウクレード * SET 3.0 以下 (SPARC Enterprise 7ァームウェアダウクレード * SET 3.0 以下 (SPARC Enterprise 7ァームウェアダウンード 宮主造 http://udatestaia.fuitisu.com/unix/io/download/firmware/ アームウェアの, ブグレードを変更してアップグリード * DLMののマニッバ・ゲックフェースを使用してアップグリード * ILDMのWEBインタフェースを使用してアップグリード * JLOMのマニッバ・ゲックフェースを使用してアップグリード * JLOMのマニッバ・ゲックフェースを使用してアップグリード * JLOMのマニッバ・ゲックフェースを使用してアップグリード * Solaris Osよりアップグリード 	* 1 * 1	カーネルアーキテクチャ、メモリサイズを確認します。 サーバ環境により異なることがあります。	Memory size: 8064 Me System Peripherals(~(省略)~	gabytes Software Nodes)	:	
primary# dladm show-link 000001 ダイブ: 非 vlan mtu: 1900 デバイス: 100001 ** 表示されるデバイスかGLDv3に対応していることを確認 ウイブ: 非 vlan mtu: 1900 デバイス: 100001 ** 3示されるデバイスかGLDv3に対応していることを確認 ウイブ: 非 vlan mtu: 1900 デバイス: 100001 ** 3示されるデバイスかGLDv3に対応していることを確認 ウイブ: 非 vlan mtu: 1900 デバイス: 100002 ** 142909-17 以降 141514-02 以降 14568-04 以降 ** 142909-17 以降 141514-02 以降 14568-04 以降 ** 142909-17 以降 141514-02 以降 14568-04 以降 ** 153 0 以降 14568-04 以降 ** ESF 3.0 以降 respect of sPARC 2.10場合) ** ESF 3.0 以降 (SPARC Enterprise 15120 / Oracle VM Server for SPARC 2.10場合) ** ESF 3.0 以降 respect of sPARC 2.10場合) ** SF3 0.0 以降 アームウェアアッブグレード ** SF3 0.0 以降 アームウェアッブグレード ** SF3 0.0 以降 アームウェアアッブグレード ** SF3 0.0 以降 アームウェアッグ・ ** SF3 0.0 以降 アームウェアッブグレード ** SF3 0.0 以降 アームウェアッブグレード ** SF3 0.0 以降 アームウェアッブグレード ** SF3 0.0 以降 <t< th=""><th>4)<u>ネッ</u>ト</th><th>トワークデバイスを確認します。</th><th>primary# dladm_show-</th><th>link</th><th></th><th></th></t<>	4) <u>ネッ</u> ト	トワークデバイスを確認します。	primary# dladm_show-	link		
※ 表示されるデバイスがGLDV3に対応していることを確認 デバイス: e1000g2 91000g2 タイブ: 非 vian mtu: 1500 デバイス: e1000g2 91000g2 9100g2 9100g2 9100g2 910000g2 9100g2 9100g2 9100g2 91000g2 9100g2 9100g2 9100g2 91000g2 9100g2 9100g2 9100g2 91000g2 9100g2 9100g2 9100g2 91000g2 9100g2 9100g2 9100g2	prin	mary# dladm show-link <	e1000g0 タイ le1000g1 タイ	プ:非 vlan mtu プ:非 vlan mtu	i: 1500 =	デバイス: e1000g0 デバイス: e1000g1
primary# showrev - p grep [patch-ID] ** 142909-17 以降 141514-02 以降 145868-04 以降 Coracle WM Server for SPARC 2.10場合) ** Immary# /opt/FJSVbse/bin/esfver -1 ** FFF 3.0 以降 (SPARC Enterprise T5120 / Oracle VM Server for SPARC 2.10場合) Cell アームウェアアップグレードを実施する場合は、「LOMユーザーズガイド」を参照してくたさい。 MIXサーバ SPARC Enterprise 7アームウェアダウンロード 著士通 htts://uddatesite.io.fuiltsu.com/unix/io/download/firmware/ アームウェアは、下記の3種類の方法でアップグレードが可能です。 1) ILOMMOWEB4ンタフェースを使用してアップグリード 2) ILOMMOTZマンドインターフェースを使用してアップグリード 3) Solaris OSよりアップグリード	※ 3 5)必須	表示されるデバイスがGLDv3に対応していることを確認 『パッチが適用されていることを確認します。	e1000g2 タイ e1000g3 タイ	プ: 非 vlan mtu プ: 非 vlan mtu プ: 非 vlan mtu	i: 1500 i: 1500 	デバイス: e1000g2 デバイス: e1000g3
* 142009-17 以降 141514-02 以降 (Oracle VM Server for SPARC 2.10場合) () インストールされているESFの版数を確認します。 primary# /opt/FJSVbse/bin/esfver -1 * ESF 3.0 以降 (SPARC Enterprise T5120 / Oracle VM Server for SPARC 2.10場合) (Z参引 ファームウェアアップグレード ステームウェアのアップグレードを実施する場合は、「ILOMユーサーズガイド」を参照してくたさい。 UNIXサーバ SPARC Enterprise ファームウェアダウンロード 富士通 https://updatesite.jp.fulitisu.com/unix/ip/download/firmware/ ファームウェア化、下記の3種類の方法でアップグレード 1) ILOMのWEBインタフェースを使用してアップグレード 3) Solaris OSよリアップグレード	prin	mary# showrev -p grep [patch-ID]				
 6) インストールされているESFの版数を確認します。 primary# /opt/FJSVbse/bin/esfver -1 * ESF 3.0 以降 (SPARC Enterprise T5120 / Oracle VM Server for SPARC 2.1の場合) (参考) ファームウェアアップグレード アームウェアのアップグレードを実施する場合は、「ILOMユーザーズガイド」を参照してください。 最新のファームウェアの入手については、富士通のWebサイトをご確認ください。 UNIXサーバ SPARC Enterprise ファームウェアダウンロード 富士通 https://undatesite.ip.fuiftsu.com/unix/jp/download/firmware/ ファームウェアは、下記の3種類の方法でアップグレードが可能です。 1) ILOMのWEBF/ンタフェースを使用してアップグレード 3) Solaris OSよりアップグレード 	* 1 (142909-17 以降 141514-02 以降 145868-04 以降 (Oracle VM Server for SPARC 2.1 の場合)				
primary# /opt/FJSVbse/bin/esfver -1 * ESF 3.0 以降 (SPARC Enterprise T5120 / Oracle VM Server for SPARC 2.1の場合)	6)インス	ストールされているESFの版数を確認します。				
 * ESF 3.0 以降 (SPARC Enterprise T5120 / Oracle VM Server for SPARC 2.1の場合) (参考) ファームウェアアップグレード ファームウェアのアップグレードを実施する場合は、「ILOMユーザーズガイド」を参照してくたさい。 最新のファームウェアの入手については、富士通のWebサイトをご確認くたさい。 UNIXサーバ SPARC Enterprise ファームウェアダウンロード 富士通 https://updatesite.jp.fuiltsu.com/unix/jp/download/firmware/ ファームウェアは、下記の3種類の方法でアップグレードが可能です。 1) ILOMのWEBインタフェースを使用してアップグレード 2) ILOMのコマンドインターフェースを使用してアップグレード 3) Solaris OSよりアップグレード 	prin	mary# /opt/FJSVbse/bin/esfver -I				
【参考】ファームウェアのアップグレード ファームウェアのアップグレードを実施する場合は、「ILOMユーザーズガイド」を参照してください。 最新のファームウェアの入手については、富士通のWebサイトをご確認ください。 UNIXサーバ SPARC Enterprise ファームウェアダウンロード 富士通 https://updatesite.jo.fuitisu.com/unix/ip/download/firmware/ ファームウェアは、下記の3種類の方法でアップグレードが可能です。 1) ILOMのWEBインタフェースを使用してアップグレード 2) ILOMのコマンドインターフェースを使用してアップグレード 3) Solaris OSよりアップグレード	* E (ESF 3.0 以降 (SPARC Enterprise T5120 / Oracle VM Server for SPARC 2.1 の場合)				
ファームウェアのアップグレードを実施する場合は、「LLOMユーザーズガイド」を参照してください。 最新のファームウェアの入手については、富士通のWebサイトをご確認ください。 UNIXサーバ SPARC Enterprise ファームウェアダウンロード 富士通 https://updatesite.jp.fujitsu.com/unix/jp/download/firmware/ ファームウェアは、下記の3種類の方法でアップグレードが可能です。 1) ILOMのWEBインタフェースを使用してアップグレード 3) Solaris OSよりアップグレード	【参考】ファ	ァームウェアアップグレード	Sine for - beingested Lighte Core	Reager - Nursall Street Explore		
UNIXサーバ SPARC Enterprise ファームウェアダウンロード 宮士通 https://updatesite.jp.fujitsu.com/unix/jp/download/firmware/ ファームウェアは、下記の3種類の方法でアップグレードが可能です。 1) ILOMのWEBインタフェースを使用してアップグレード 2) ILOMのコマンドインターフェースを使用してアップグレード 3) Solaris OSよりアップグレード	ファーム' 最新のフ	ウェアのアップグレードを実施する場合は、「ILOMユーザーズガイド」を参照してください ファームウェアの入手については、富士通のWebサイトをご確認ください。		in the second se		3 0 10
ファームウェアは、下記の3種類の方法でアップグレードが可能です。 1) ILOMのWEBインタフェースを使用してアップグレード 2) ILOMのコマンドインターフェースを使用してアップグレード 3) Solaris OSよりアップグレード	UNIXサ– https://u	- バ SPARC Enterprise ファームウェアダウンロード 富士通 'updatesite.jp.fujitsu.com/unix/jp/download/firmware/		Interreted	FUJI	150
3) Solaris OSよりアップグレード	77-4 1) ILON 2) ILON	ウェアは、下記の3種類の方法でアップグレードが可能です。 MのWEBインタフェースを使用してアップグレード Mのコマンドインターフェースを使用してアップグレード		Pressure di Daritanic (Passare (autor out manager	
	3) Sola	ris OS よりアップグレード			n and Tolsan phan Subly in annual International Angele and Subly in Article International Angele Internal and Subly of	

Oracle VM Server for SPARC ⁷	を使ってみよう(構築・運用手順書)	作成日	2012年2	月
「創催ドメインの遺華」				
 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	primary# ./Install/inst Welcome to the Oracle V	all-ldm M Server for SPARC insta	iller.	
primary# cd /opt/software	You are about to instal	I the LDoms Manager pack	age, SUNWIdm, 1	that will enable
※ ここではダウンロードしたOracle VM Server for SPAF をこのディレクトリに配置しています。	C Software also be given the optic Assistant (Idmconfig) t	and control other domain n of running the Oracle o setup the control doma	ns on your syste VM Server for S ain and create g	em. You will SPARC Configuration guest domains.
2) ソフトウェアを展開します。 primary# unzip -q p12569204_210_SOLAR	RIS64.zip	Toolkit (SST) is insta control domain.	led, you will b	be prompted to
3) 展開したディレクトリに移動します。 primary# cd OVM Server SPARC-2 1	Installing LDoms packag pkgadd -n -d "/opt/soft Copyright (c) 2010, Ora	es. ware/OVM_Server_SPARC-2 cle and/or its affiliate	_1/Product"-a p es. All rights n	okg_admin SUNWldm.v reserved.
	<pre></pre>	レに成功しました。 ware/OVM_Server_SPARC-2_ cle and/or its affiliate	_1/Product″-a p as_ All rights p	okg_admin SUNWldmp2v reserved
primary# ./ Instail/instail-iom	<sunw1dmp2v> のインスト</sunw1dmp2v>	ールに成功しました。		
	Oracle VM Server for SP ~(省略)~	ARC Configuration		
	Select an option for co	nfiguration:		
	y) Yes, launch the Conf n) No thanks, I will co	iguration Assistant afte nfigure the system manua	er install Ally later	
	Enter y or n [y]: n			
	Verifying that all pack	ages are fully installed	i. ok.	
	Verifying that all pack	ages are fully installed	i. OK.	
5) LDomsデーモン(Idmd) が起動していることを確認します primary# sycs Idmd	Verifying that all pack	ages are fully installed	i. OK.	
5) LDomsデーモン(Idmd) が起動していることを確認します primary# svcs Idmd ※ STATEがonlineであることを確認します。	Verifying that all pack	ages are fully installed	I. OK.	
5) LDomsデーモン(Idmd) が起動していることを確認します primary# svcs Idmd ※ STATEがonlineであることを確認します。 6) Idmコマンドを実行して、Oracle VM Server for SPARCの	Verifying that all pack 。 管理コマンドが機能することを確認します。	ages are fully installed	і. ок.	
5) LDomsデーモン(Idmd) が起動していることを確認します primary# svcs Idmd ※ STATEがonlineであることを確認します。 6) Idmコマンドを実行して、Oracle VM Server for SPARCの primary# Idm list-domain	Verifying that all pack 。 管理コマンドが機能することを確認します。 「primary# ldm NAME STA primary act	ages are fully installed I list-domain TE FLAGS CONS ive -n-c SP	i. ок. VCPU МЕМОРҮ 32 8064М	UT1L UPTIME 0.1% 2d 17h 51m
5) LDomsデーモン(Idmd) が起動していることを確認します primary# svcs Idmd ※ STATEかonlineであることを確認します。 6) Idmコマンドを実行して、Oracle VM Server for SPARCの primary# Idm list-domain	Verifying that all pack 。 管理コマンドが機能することを確認します。 Primary# Idm NAME STA primary act 利御ドメイ 変更するこ	ages are fully installed list-domain TE FLAGS CONS ive -n-c SP ンの名前は常に「prima とはできません。	₩. ОК. VCPU MEMORY 32 8064M агу」です。	UTIL UPTIME 0.1% 2d 17h 51m
5) LDomsデーモン(Idmd) が起動していることを確認します primary# svcs Idmd ※ STATEがonlineであることを確認します。 6) Idmコマンドを実行して、Oracle VM Server for SPARCの primary# Idm list-domain	Verifying that all pack で。 管理コマンドが機能することを確認します。 Primary# ldm NAME STA primary act 利御ドメイ 変更するこ	ages are fully installed ilist-domain TE FLAGS CONS ive -n-c- SP ンの名前は常に「prima とはできません。	I. OK. VCPU MEMORY 32 8064M ary」です。	UTIL UPTIME 0.1% 2d 17h 5im
5) LDomsデーモン(Idmd) が起動していることを確認します primary# svcs Idmd ※ STATEがonlineであることを確認します。 6) Idmコマンドを実行して、Oracle VM Server for SPARCの primary# Idm list-domain (参考)Idm コマンドのコマンドバスについて LDoms1.1以前 /opt/SUNWIdm/bin/Idm	Verifying that all pack で 管理コマンドが機能することを確認します。 Primary# ldt Primary act 利御ドメイ 変更するこ	ages are fully installed ilist-domain TE FLAGS CONS ive -n-c SP ンの名前は常に「prima とはできません。	VCPU MEMORY 32 8064M ary」です。	UTIL UPTIME 0.1% 2d 17h 51m
5) LDomsデーモン(Idmd) が起動していることを確認します primary# svcs Idmd ※ STATEがonlineであることを確認します。 6) Idmコマンドを実行して、Oracle VM Server for SPARCの primary# Idm list-domain (参考)Idm コマンドのコマンドバスについて LDoms1.1以前 /opt/SUNWIdm/bin/Idm LDoms1.2以降 /usr/sbin/Idm ※ /opt/SUNWIdm/bin/Idm は/usr/s	Verifying that all pack ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	ages are fully installed ilist-domain TE FLAGS CONS ive -n-c SP ンの名前は常に「prima とはできません。	i. OK. VCPU MEMORY 32 8064M ary」です。	UTIL UPTIME 0.1% 2d 17h 51m



Oracle VM Server fo	r SPARCを使ってみよう(構築・	·運用手順書)	作成日	2012年2月
)仮想ディスクサービスにZFSボリュームを割り当	てます。			
primary# Idm add-vdiskserverdevid	ce /dev/zvol/dsk/rpool/zfs/	vdisk0 vol0@primary	-vds0	
書式 #Idm add-vdiskserverdevice [-f] [-q]	[options={ro,slice,excl}] [mpgro	oup= <mpgroup>] <backe< td=""><td>nd> <ボリューム名>@</td><td><仮想ディスクサービス名></td></backe<></mpgroup>	nd> < ボリューム名 >@	<仮想ディスクサービス名>
)仮想ディスクサービスにISOイメージを Read O	nly で割り当てます 。			
primary# Idm add-vdiskserverdevid	ce options=ro /ISO/Sol10u	10.iso vol_iso@prima	ary-vds0	
0)仮想コンソールを設定します。	5000 5100 minutes			
primary# Idm add-vconscon port-ra	ange=5000-5100 primary-	-vcc0 primary		
書式 # Iam add-VConscon port-range=<4	(一)和田> < 7一こみる> < ト ^ 1 。	2 名>		
1)仮想スイッチサービスを設定します。				
primary# Idm add-vswitch net-dev	=e1000g0 primary-vsw0 p	orimary	ļ	
書式 # Idm add-vswitch [-q] [defauit-vian [net-dev= <device>] [linkpro</device>	-id= <vid>] [pvia=<pvia>] [via= op=phys-state] [mode=<mode></mode></pvia></vid>	= <vid1,vid2,>j[mac-aud >1 [mtu=<mtu>] [id=<sw< td=""><td>r=<num>] itchid>] [inter-vnet-liı</num></td><td>nk=<on off>] <サービス名> <ドメイン</on off></td></sw<></mtu></vid1,vid2,>	r= <num>] itchid>] [inter-vnet-liı</num>	nk= <on off>] <サービス名> <ドメイン</on off>
・ つ`恐中!.たサーレフを確認!.ます		primary# Idm list-services		······································
2) 設たしにソービへを理論します。 primary# Idm list-services				
		primary-vcc0 primary	5000-5100	
		VSW	MAC NET-	DEV ID DEVICE LINKPROP
		DEFAULT-VLAN-ID PVI	VID MTU MODE IN	TER-VNET-LINK
		1 1	1500	0 0 switch@u on
		VDS NAME LDOM	VOLUME OPTIONS M	PGROUP DEVICE
		primary-vds0 primary	vol0	/dev/zvol/dsk/rpool/zfs/vdisk
り御ドメインの初期設定			vol_iso ro	/ISO/Sol10u10.iso
)基本で割り当てられている暗号化テバイスを開	<u>}除します。</u>			
primary# idm set-mau o primary				
)制御ドメインに割り当てる仮想CPU(スレッド)	の数を指定します。			
primary# ldm set-vcpu 8 primary		Initiating a delaye	d reconfiguration opera	ation on the primary domain.
\制御!!! 人,大百万字供书业卷/二 十十		All configuration	changes for other doma	ains are disabled until the primary
)制御トメインを進進再構成状態にしまり。		domain reboots, a	t which time the new o	configuration for the primary domain
) 動曲トメインを連起門構成な肌にします。 primary# idm start-reconf primary ※ 制御ドメインのメモリ容量を自由に指定する 本操作を省略する場合(動的なギモリ容量 メモリの変動サイズが256MBの倍数になる メモリ容量を指定する必要があります。	るために、遅延再構成にします。 の変更)、 らように、	domain reboots, a will also take effe	t which time the new o	configuration for the primary domain
) 割御ドメインを選組持構成状態にします。 primary# Idm start-reconf primary ※ 割御ドメインのメモリ容量を自由に指定する 本是作を省略する場合(動的なメモリ容量 メモリの変動サイズが256MBの倍数になる メモリ容量を指定する必要があります。) 割御ドメインに割り当てるメモリサイズを指定し	るために、遅延再構成にします。 の変更)、 らように、 ます。	domain reboots, a will also take effe	t which time the new oct.	configuration for the primary domain ess of a delayed reconfiguration. will only take effect after it reboots.
) 新御ドメインを連延科構成な態にします。 primary# Idm start-reconf primary ※ 制御ドメインのメモリ容量を自由に指定す。 本是りの変動サイズが256MBの倍数になる メモリの変動サイズが256MBの倍数になる メモリ容量を指定する必要があります。) 制御ドメインに割り当てるメモリサイズを指定し primary# Idm set-memory 2g prim	るために、遅延再構成にします。 の変更)、 らように、 ます。 ary	Any changes made	t which time the new oct.	configuration for the primary domain ess of a delayed reconfiguration. will only take effect after it reboots.
) 前側トメインを建築持構成状態にします。 primary# Idm start-reconf primary ※ 制御ドメインのメモリ容量を自由に指定す。 本モリの変動サイズが256MBの倍数になる メモリの変動サイズが256MBの倍数になる オモリの変動サイズが256MBの倍数になる 新御ドメインに割り当てるメモリサイズを指定し primary# Idm set-memory 2g primary# Idm set-memory# Idm set-memory# Idm set-memory# Idm set-memory# Idm set-memory# Idm set set set set set set set set set set	るために、遅延再構成にします。 の変更)、 らように、 ary Point 「2g」で2048MBI	domain reboots, a will also take effe Notice: The primary Any changes made	t which time the new o ct.	configuration for the primary domain ess of a delayed reconfiguration. will only take effect after it reboots.
) 前側トメインを連延持病成で服にします。 primary# Idm start-reconf primary ※ 制御ドメインのメモリ容量を自由に指定す; 本操作を省略する場合(動的なメモリ容量 メモリの変動サイズが256MBの倍数になる メモリ容量を指定する必要があります。) 制御ドメインに割り当てるメモリサイズを指定し primary# Idm set-memory 2g primation 	るために、遅延再構成にします。 の変更)、 ちように、 ary Point 「2g」で2048MBI	domain reboots, a will also take effe Notice: The primary Any changes made	t which time the new oct.	configuration for the primary domain ess of a delayed reconfiguration. will only take effect after it reboots.
) 前側トメインを連起具有限以て限にします。 primary# / Idm start-reconf primary ※ 制御ドメインのメモリ容量を自由に指定す; 本操作を省略する場合(動的なメモリ容量 メモリの変動サイズが256MBの倍数になる メモリ容量を指定する必要があります。) 制御ドメインに割り当てるメモリサイズを指定し primary# Idm set-memory 2g prim 	るために、遅延再構成にします。 の変更)、 ちように、 ary Point 「2g」で2048MBI	مستاب reboots، و will also take effe Notice: The primary Any changes made ددهای تحری پریسی المالی الفاد المالی و المالی المالی المالی المالی المالی الفاد المالی و المالی المالي مالي	t which time the new of ct.	configuration for the primary domain ess of a delayed reconfiguration. will only take effect after it reboots.
) 前側トメインを連続持構成で服にします。 primary# / Idm start-reconf primary ※ 制御ドメインのメモリ容量を自由に指定す; 本操作を省略する場合(動的なメモリ容量 メモリの変動サイズが256MBの倍数になる メモリ容量を指定する必要があります。) 制御ドメインに割り当てるメモリサイズを指定し primary# Idm set-memory 2g prim	るために、遅延再構成にします。 の変更)、 ちように、 ます。 ary Point 「2g」で2048MBI	Any changes primary Any changes made cctoUます。	t which time the new of ct. v domain is in the proc to the primary domain v domain is in the proc v domain v domai	configuration for the primary domain ass of a delayed reconfiguration. will only take effect after it reboots.
) 動御ドメインを連転持て株成で服にします。 primary# / Idm start-reconf primary ※ 制御ドメインのメモリ容量を自由に指定す; 本操作を省略する場合(動的なメモリ容量 メモリ容量を指定する必要があります。) 制御ドメインに割り当てるメモリサイズを指定し primary# Idm set-memory 2g prim) 制御ドメインに割り当てられる予定のリソースを	るために、遅延再構成にします。 の変更)、 ちように、 ary Point 「2g」で2048MBI	domain reboots, a will also take effe Notice: The primary Any changes made cxります。 primary# Idm list-bindings primar NAME STATE FLAG primary# active -ndev UUID af6446b7-e79a-ca8c-b4a2-c	t which time the new of ct. v domain is in the proce- to the primary domain s CONS VCPU MEMOR S CONS VCPU MEMOR S CONS VCPU MEMOR 5 CONS 2G0	configuration for the primary domain ass of a delayed reconfiguration. will only take effect after it reboots.
) 動御ドメインを連転持構成で施にします。 primary# / Idm start-reconf primary ※ 制御ドメインのメモリ容量を自由に指定す; 本操作を省略する場合(動的なキビ)容量 メモリ容量を指定する必要があります。) 制御ドメインに割り当てるメモリサイズを指定し primary# Idm set-memory 2g prim) 制御ドメインに割り当てられる予定のリソースを primary# Idm list-bindings primary	るために、遅延再構成にします。 の変更)、 Sように、 ary Point 「2g」で2048MBI	domain reboots, a will also take effe Notice: The primary Any changes made 	t which time the new oct. v domain is in the proce- to the primary domain S CONS VCPU MEMOR S CONS VCPU MEMOR S CONS 8 2G	configuration for the primary domain ess of a delayed reconfiguration. will only take effect after it reboots.
) 朝御ドメインを連転持て株成で紙にします。 primary# / ldm start-reconf primary ※ 制御ドメインのメモリ容量を自由に指定す; 本操作を省略する場合(動的なメモリ容量 メモリ容量を指定する必要があります。) 制御ドメインに割り当てるメモリサイズを指定し primary# ldm set-memory 2g prim) 制御ドメインに割り当てられる予定のリソースを primary# ldm list-bindings primary ※ FLAGSにつける状態は、 再起動後に構成されることを表しています	るために、遅延再構成にします。 の変更)、 Sように、 ary Point 「2g」で2048MBI :確認します。	domain reboots, a will also take effe Notice: The primary Any changes made 	t which time the new oct.	configuration for the primary domain ass of a delayed reconfiguration. will only take effect after it reboots. Y UTIL UPTIME 0.3% 2d 19h 15m
) 前側ドメインを連載持構成で施にします。 <pre>primary# idm start-reconf primary</pre> <pre>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>></pre>	るために、遅延再構成にします。 の変更)、 Sように、 ary Point 「2g」で2048MBI :確認します。	domain reboots, a will also take effe Notice: The primary Any changes made Cay ます。 primary# Idm list-bindings primar NAME STATE FLAG primary# Idm list-bindings primar primary# Idm list-bindings primar NAME STATE FLAG primary# Idm list-bi	t which time the new oct.	configuration for the primary domain ess of a delayed reconfiguration. will only take effect after it reboots. Y UTIL UPTIME 0.3% 2d 19h 15m
) 前側ドメインを連起門構成状態にします。 <pre>primary# idm start-reconf primary</pre> <pre>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>></pre>	るために、遅延再構成にします。 の変更)、 らように、 ます。 ary Point 「2g」で2048MBI :確認します。	domain reboots, a will also take effe Notice: The primary Any changes made Catoline State FLAG primary#Idm list-bindings primar NAME STATE FLAG primary#Idm list-bi	t which time the new oct.	eonfiguration for the primary domain ess of a delayed reconfiguration. will only take effect after it reboots. Y UTIL UPTIME 0.3% 2d 19h 15m
) 朝御ドメインを連起背構成で服にします。 primary# ldm start-reconf primary ※ 制御ドメインのメモリ容量を自由に指定す; 本操作を省略する場合(勤的なメモリ容量 メモリ容量を指定する必要があります。) 制御ドメインに割り当てるメモリサイズを指定し primary# ldm set-memory 2g prim) 制御ドメインに割り当てられる予定のリソースを primary# ldm list-bindings primary ※ FLAGSに*d*が表示されている状態は、 再起動後に構成されることを表しています (参考) FLAGSの意味	るために、遅延再構成にします。 の変更)、 らように、 ます。 ary Point 「2g」で2048MB :確認します。	domain reboots, a will also take effe Notice: The primary Any changes made Drimary#Idm list-bindings primar NAME STATE FLAG primary#Idm list-bindings primar NAME STATE FLAG reflexed O (0.1.2.3.4.5.6.7) VCPU VCPU VD PID CID UTIL STR O 0.0.4.% 100% ~ (省略) ~ 0.0.4.% 100% ~ (100 PUSET 0.0.0.% 100% ~ (100 PUSET 0.0.0.% 100% ~ (100 PUSET 0.0.0.4.% 100% ~ (100 PUSET 0.0.0.0.4.% 100% ~ (100 PUSET 0.0.0.0.4.% 100% ~ (100 PUSET 0.0.0.0.4.% 100% ~ (100 PUSET 0.0.0.0.4.% 100% ~ (100 PUSET 0.0.0.0.0.0.0.0.0.0.0.0.0.0.0.0.0.0.0.	t which time the new oct.	200 Figuration for the primary domain 2015 Sof a delayed reconfiguration. 2016 will only take effect after it reboots. 2017 UTIL UPTIME 0.3% 2d 19h 15m
) 割価ドメインを連起門構成状態にします。 <pre>primary# idm start-reconf primary</pre> ※ 制御ドメインのメモリ容量を自由に指定す; 本操作を省略する場合(勤的なメモリ容量 メモリ容量を指定する必要があります。) 制御ドメインに割り当てるメモリサイズを指定し <pre>primary# idm set-memory 2g prim</pre>) 制御ドメインに割り当てられる予定のリソースを <pre>primary# idm list-bindings primary <pre>x FLAGSに*d*が表示されている状態は、 再起動後に構成されることを表しています </pre> </pre> 	るために、遅延再構成にします。 の変更)、 らように、 ます。 ary Point 「2g」で2048MB :確認します。	domain reboots, a will also take effe Notice: The primary Any changes made 	t which time the new oct.	200 Figuration for the primary domain 2015 Sof a delayed reconfiguration. 2016 will only take effect after it reboots. 2017 UTIL UPTIME 0.3% 2d 19h 15m
) 前側ドメインを選組持構成状態にします。 <pre>primary# Idm start-reconf primary</pre> <pre>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>></pre>	るために、遅延再構成にします。 の変更)、 らように、 ます。 ary Point 「2g」で2048MB :確認します。	domain reboots, a will also take effe Notice: The primary Any changes made Drimary#Idm list-bindings primar NAME STATE FLAG primary#Idm list-bindings primar NAME STATE FLAG O Adds 100 - 0.04 (0, 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7) VGPU VID PID CID UTIL STR 0 0 0 - 0.4% 100% 7 7 0 - 0.2% 100% MEMORY RA PA SS 0x8000000 0.x8000000	t which time the new oct.	200 Figuration for the primary domain 2015 Sof a delayed reconfiguration. 2016 will only take effect after it reboots. 2017 UTIL UPTIME 0.3% 2d 19h 15m
) 割価ドメインを連続持構成状態にします。 <pre>primary# idm start-reconf primary</pre> <pre>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>></pre>	るために、遅延再構成にします。 の変更)、 らように、 ます。 ary Point 「2g」で2048MB :確認します。	domain reboots, a will also take effe Notice: The primary Any changes made 	t which time the new oct.	configuration for the primary domain configuration for the primary domain configuration. sets of a delayed reconfiguration. will only take effect after it reboots.
割御ドメインを選挙持構成状態にとます。 primary# Idm start-reconf primary ※ 制御ドメインのメモリ容量を自由に指定す; 本操作を省略する場合(勤的なメモリ容量 メモリ容量を指定する必要があります。 > 制御ドメインに割り当てら水る予定のリソースを primary# Idm set-memory 2g prim > 創御ドメインに割り当てられる予定のリソースを primary# Idm list-bindings primary ※ FLAGSE:"d*が表示されている状態は、 再起動後に構成されることを表しています 【参考】FLAGSの意味 -: 可変部分 c: 制御ドメイン d: 遅延再構成状態 n: 過常(OSE動)状態 s: 起動中(停止中) t: 切り替え(OSP)状態 v: 仮想)(OSF2)	るために、遅延再構成にします。 の変更)、 らように、 ます。 ary Point 「2g」で2048MB ・ 確認します。	domain reboots, a will also take effe Notice: The primary Any changes made 	t which time the new oct.	configuration for the primary domain configuration for the primary domain configuration. sets of a delayed reconfiguration. will only take effect after it reboots.
割御ドメインを選挙持構成状態にします。 primary# Idm start-reconf primary ※ 制御ドメインのメモリ容量を自由に指定す; 本操作を省略する場合(勤的なメモリ容量 メモリ容量を指定する必要があります。 > 創御ドメインに割り当てら水る予定のリゾースを primary# Idm set-memory 2g prim > 創御ドメインに割り当てられる予定のリゾースを primary# Idm set-memory 2g prim ※ FLAGSに"d"が表示されている状態は、 再起動後に構成されることを表しています (参考) FLAGSの意味 -: 可変部分 c: 制御ドメイン d: 遅延再構成状態 n: 過常(OS起動)状態 s: 起動中(停止中) t: 切り替え(OSP)状態 v: 仮想//Oドメイン	るために、遅延再構成にします。 の変更)、 ちように、 :ます。 :ary Point 「2g」で2048MB :確認します。	Constant and a second and a second and a second a	t which time the new oct.	Proving units of the primary domain Proving units of a delayed reconfiguration. Proving units of a delayed re
) 割値ドメインを連載特徴な形にします。 primary# Idm start-reconf primary ※ 割御ドメインのメモリ容量を自由に指定す; 本操作を省略する場合(勤的なメモリ容量 メモリ容量を指定する必要があります。 >割御ドメインに割り当てられる予定のリゾースを primary# Idm set-memory 2g prim) 創御ドメインに割り当てられる予定のリゾースを primary# Idm set-memory 2g prim ※ FLAGSに"d"が表示されている状態は、 再起動後に構成されることを表しています (参考) FLAGSの意味 -: 可変部分 c:制御ドメイン : 遅延再構成状態 n: 過ぎ(OS起動)状態 s:起動中(停止中) t: 切り替え(OSP)状態 v: 仮想!/0ドメイン	るために、遅延再構成にします。 の変更)、 ちように、 :ます。 :ary Point 「2g」で2048MB :確認します。	domain reboots, a will also take effe Notice: The primary Any changes made 	t which time the new oct.	configuration for the primary domain ess of a delayed reconfiguration. will only take effect after it reboots. qr UTIL UPTIME 0.3% 2d 19h 15m
朝御ドメインを連続持構成状態にします。 primary# Idm start-reconf primary ※ 制御ドメインのメモリ容量を自由に指定す; 本操作を省略する場合(勤的なメモリ容量 メモリの変動サイズが256MBの借数になる メモリ容量を指定する必要があります。) 制御ドメインに割り当てられる予定のリゾースを primary# Idm set-memory 2g prim) 創御ドメインに割り当てられる予定のリゾースを primary# Idm set-memory 2g prim (参考) FLAGSに"d"が表示されている状態は、 再起動後に構成されることを表しています (参考) FLAGSの意味 -: 可変部分 c:制御ドメイン d:遅延再構成状態 n:過夢(OS起動)状態 s:起動中(停止中) t:切替え(OSP)状態 V: 仮想I/Oドメイン	るために、遅延再構成にします。 の変更)、 ちように、 :ます。 :ary Point 「2g」で2048MB :確認します。	Any changes take effe will also take effe Notice: The primary Any changes made Any changes made Core Core Cib CPUSET 0 (0, 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7) VCU VID PID CID UTIL STR 0 0 0 0.4% 100% ~(省略)~ CORE CID CPUSET 0 (0, 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7) VCU VID PID CID UTIL STR 0 0 0 0.4% 100% ~(省略)~ 7 7 0 0.2% 100% MEMORY RA PA SI 0.8000000 VARIABLES Keyboard-layout=Japanese IO DEVICE PP pci@0/pci@0/pci@ VCC VCC	t which time the new oct.	AY UTIL UPTIME 0.3% 2d 19h 15m
) 割値ドメインを連続持構成状態にします。 primary# Idm start-reconf primary ※ 割御ドメインのメモリ容量を自由に指定す; 本操作を省略する場合(勤的なメモリ容量 メモリの変動サイズが256MBの借数になる メモリ容量を指定する必要があります。 >割御ドメインに割り当てられる予定のリゾースを primary# Idm set-memory 2g prim >創御ドメインに割り当てられる予定のリゾースを primary# Idm set-memory 2g prim ・ 「ELAGSEですが表示されている状態は、 再起動後に構成されることを表しています ・	るために、遅延再構成にします。 の変更)、 ちように、 :ます。 .ary Point 「2g」で2048MB :確認します。	domain reboots, a will also take effe Notice: The primary Any changes made Device: The primary Any changes made Core CORE CID OPUSET O (0, 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7) VED PID CID UTIL STR O 0 0 0.4% 100% ~ (名略)~ CORE CID OPUSET O (0, 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7) VED PID CID UTIL STR O 0 0 0.4% 100% ~ (名略)~ CORE CID OPUSET O 0 0 0.4% 100% ~ (名略)~ O 0 0 0.4% 100% ~ (3%)~ CORE CID OPUSET O 0 0 0.4% 100% ~ (3%)~ O 0 0 0.4% 100% O 0 0 0 0.4% 100% O 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	t which time the new oct.	AY UTIL UPTIME 0.3% 2d 19h 15m
朝御ドメインを連続持構成状態にします。 primary# Idm start-reconf primary ※ 制御ドメインのメモリ容量を自由に指定す; 本操作を省略する場合(勤的なメモリ容量、 本モリの変動サイズが256MBの倍数になる メモリ容量を指定する必要があります。) 制御ドメインに割り当てられる予定のリソースを primary# Idm set-memory 2g prim) 創御ドメインに割り当てられる予定のリソースを primary# Idm set-memory 2g prim (参考) FLAGSにではが表示されている状態は、 再起動後に構成されることを表しています : 可変部分 c:制御ドメイン d:遅延再構成状態 n:過源(COSE動)状態 s:起動中(停止中) t:切替え(COSP)状態 V:仮想I/Oドメイン	δために、遅延再構成にします。 の変更)、 ちように、 ます。 hary Point 「2g」で2048MB ?確認します。	Identify and the second	t which time the new oct. ct. ct. ct. ct. ct. ct. ct.	TY UTIL UPTIME 0.3% 2d 19h 15m
) 割価ドメインを連続持構成状態にします。 primary# Idm start-reconf primary ※ 割御ドメインのメモリ容量を自由に指定す; 本操作を省略する場合(勤的なメモリ容量、 本モリの変動サイズが256MBの倍数になる メモリ容量を指定する必要があります。 > 割御ドメインに割り当てられる予定のリソースを primary# Idm set-memory 2g prim > 創御ドメインに割り当てられる予定のリソースを primary# Idm set-memory 2g prim ※ FLAGSにでが表示されている状態は、 再起動後に構成されることを表しています (参考) FLAGSの意味 -: 可変部分 c:制御ドメイン d:遅延再構成状態 n: 過激(COSED動)状態 y:仮想I/Oドメイン y: 仮想I/Oドメイン) 設定した構成情報をILOM(Service Process	δために、遅延再構成にします。 の変更)、 ちように、 :ます。 .ary <u>Point</u> 「2g」で2048MB :確認します。 。	In the point of the primary and the primary active active and the primary active act	t which time the new oct. ct. ct. ct. ct. ct. ct. ct.	2001 Section for the primary domain 2003 Section 2004 Section 2004 2004 Section 2004 Section 2004 2004 Section 2004 Section 2004 2004 Section 2004 Section 2004 Section 2004 2004 Section 2004 Sect
) 割価ドメインを連続持構成状態にします。 primary# Idm start-reconf primary ※ 割御ドメインのメモリ容量を自由に指定す; 本操作を省略する場合(勤的なメモリ容量 メモリの変動サイズが256MBの倍数になる メモリ容量を指定する必要があります。) 割御ドメインに割り当てられる予定のリソースを primary# Idm set-memory 2g prim) 割御ドメインに割り当てられる予定のリソースを primary# Idm set-memory 2g prim (参考) FLAGSにでが表示されている状態は、 再起動後に構成されることを表しています (参考) FLAGSの意味 -: 可変部分 c:割御ドメイン d:遅延再構成状態 n:過夢(OS起動)状態 s:起動中(停止中) t:切替え(OSP)状態 V:仮想I/Oドメイン) 設定した構成情報をILOM(Service Process primary# Idm add-config config_in	るために、遅延再構成にします。 の変更)、 ちように、 ます。 ary Point 「2g」で2048MB ・ <t< td=""><td>In the point of the primary and the primary active ndew ac</td><td>t which time the new oct. ct. ct. ct. ct. ct. ct. ct.</td><td>eonfiguration for the primary domain ess of a delayed reconfiguration. will only take effect after it reboots. RY UTIL UPTIME 0.3% 2d 19h 15m LINKPROP DEFAULT-VLAN-ID PVID VID 1 1 1500</td></t<>	In the point of the primary and the primary active ndew ac	t which time the new oct. ct. ct. ct. ct. ct. ct. ct.	eonfiguration for the primary domain ess of a delayed reconfiguration. will only take effect after it reboots. RY UTIL UPTIME 0.3% 2d 19h 15m LINKPROP DEFAULT-VLAN-ID PVID VID 1 1 1500
割剤ドメインを連続持て株成で施にします。 primary# Idm start-reconf primary ※ 割剤ドメインのメモリ容量を自由に指定す; 本操作を省略する場合(勤的なメモリ容量 メモリの変動サイズが256MBの倍数になる メモリ容量を指定する必要があります。) 割剤ドメインに割り当てられる予定のリソースを primary# Idm set-memory 2g prim) 割剤ドメインに割り当てられる予定のリソースを primary# Idm set-memory 2g prim (参考) FLAGSにではが表示されている状態は、 再起動後に構成されることを表しています (参考) FLAGSの意味 -: 可変部分 c:制剤ドメイン d:遅延再構成状態 n: 過激(COSED動)状態 s:起動中(停止中) t:切替え(OSP)状態 V: 仮想I/Oドメイン) 設定した構成情報をILOM(Service Process primary# Idm add-config config_in 書式 # Idm add-config [-r <autosave>]</autosave>	δために、遅延再構成にします。 の変更)、 ちように、 ます。 hary Point 「2g」で2048MB 空運認します。 。	Idea in reboots, a will also take effe Notice: The primary Any changes made Icなります。	t which time the new oct. ct. ct. ct. ct. ct. ct. ct.	Configuration for the primary domain for the primary domain configuration for the primary domain for the primary domai
) 朝御ドメインを選組持構成状態にします。 primary# Idm start-reconf primary ※ 制御ドメインのズモリ容量を自由に指定す; 本操作を省略する場合(勤的なギモリ容量 メモリの変動サイズが256MBの倍数になる メモリ容量を指定する必要があります。) 制御ドメインに割り当てるメモリサイズを指定し primary# Idm set-memory 2g prim ※ FLAGSにではが表示されている状態は、 再起動後に構成されることを表しています。 (参考) FLAGSの意味 .:可変部分 c:制御ドメイン d:遅延再構成状態 n:過常(OS起動)状態 s:起動中(停止中) t:切り替え(OSP)状態 V:仮想I/Oドメイン) 設定した構成情報をILOM(Service Process primary# Idm add-config config_in 書式 # Idm add-config [-r <autosave.] <="" a=""></autosave.]>	Sために、遅延再構成にします。 の変更)、 Sように、 ary Point 「2g」で2048MBI :確認します。 。 or)に保存します。 itial 構成定義名>	Identify and the second	t which time the new oct. ct. ct. ct. ct. ct. ct. ct.	EINKPROP DEFAULT-VLAN-ID PVID VID 1 1 1500 VEVICE /dev/zvpi/dsk/mpoal/zfs/vdisk0 /ISO/Sol10u10.iso
) 朝御ドメインを連維持構成状態にします。 primary# Idm start-reconf primary ※ 制御ドメインのスモリ容量を自由に指定す。 本操作を省略する場合(動的なメモリ容量 メモリ容量を指定する必要があります。) 制御ドメインに割り当てられる予定のリソースを primary# Idm set-memory 2g prim) 制御ドメインに割り当てられる予定のリソースを primary# Idm list-bindings primary ※ FLAGSにつが表示されている状態は、 再起動後に構成されることを表しています。 (参考) FLAGSの意味 -:可変部分 c:制御ドメイン d:遅延再構成状態 n:過常(OS起動)状態 s:起動中(停止中) t:切り若(OBP)状態 V:仮想I/Oドメイン) 設定した構成情報をILOM(Service Process primary# Idm add-config config_in 書式 # Idm add-config [-r <autosave>]) 設定した構成情報をILOM(Service Process primary# Idm add-config config_in 書式 # Idm add-config [-r <autosave>]</autosave></autosave>	Sために、遅延再構成にします。 の変更)、 Sように、 ary Point 「2g」で2048MBI :確認します。 。 or)に保存します。 itial 構成定義名>	Identify and a set of the	t which time the new of ct.	Configuration for the primary domain Configuration for the primary domain Configuration for the primary domain Configuration Con
) 朝御ドメインを連維持構成状態にします。 primary# Idm start-reconf primary ※ 制御ドメインのスモリ容量を自由に指定す; 本操作を省略する場合(動的なギモリ容量 メモリ容量を指定する必要があります。) 制御ドメインに割り当てられる予定のリソースを primary# Idm set-memory 2g prim) 制御ドメインに割り当てられる予定のリソースを primary# Idm set-memory 2g prim ※ FLAGSにつが表示されている状態は、 再起動後に構成されることを表しています。 (参考) FLAGSの意味 -: 可変部分 c: 制御ドメイン d: 遅延再構成状態 n: 過常(OS起動)状態 s: 起動中(停止中) t: 切り替え(OBP)状態 V: 仮想I/Oドメイン) 設定した構成情報をILOM(Service Process primary# Idm add-config config_in 書式 # Idm add-config [-r <autosave>]</autosave>	Sために、遅延再構成にします。 の変更)、 Sように、 ary Point 「2g」で2048MBI ・確認します。 。 。 。 。	In the point of the primary active and the primary active and the primary active and the primary active act	t which time the new of the ct.	Configuration for the primary domain configuration for the primary domain areas of a delayed reconfiguration. will only take effect after it reboots. RY UTIL UPTIME 0.3% 2d 19h 15m 0.3% 2d 19h 15m LINKPROP DEFAULT-VLAN-ID PVID VID 1 1 1500 VEVICE /dev/zvol/dsk/rpool/zfs/vdisk0 /ISO/Sol10u10.iso

		、"佛宋" "進而于順音 /	11-746 L	2012+273
9) 起動後、正しく構	1成されていることを確認します。	primarv# ldm list-domain -l primarv	,	
primary# Idn ※ FLAGSの「d. 確認します。	n list-domain -l primary 」(遅延再構成状態)が表示されていないことを	NAME STATE FLAGS primary active -n-ov- ~(省略)~ VCONS NAME SERVICE SP	CONS VCPU MEM SP 8 2G PORT	ORY UTIL UPTIME 62% 2m
l)ドメインのネットワー 1)現在のネットワー primary# ifco	ク環境設定 ク構成を確認します。 onfig -a	primary# ifconfig -a lo0: flags=2001000849 <up,loopb <br="">inet 127.0.0.1 netmask ff0000 e1000g0. flags=1000843<up_broau inet 192.168.10.201 netmask f ether 0:14:4f:d5:3:c2</up_broau </up,loopb>	ACK,RUNNING,MULTIC, 100 DCAST,RUNNING,MULT ffffff00 broadcast 192.10	AST,IPv4,VIRTUAL> mtu 8232 index 1 TICAST,IPv4> mtu 1500 index 2 68.10.255
	· ··			
2)現在のネットソー	クインタフェースを無効にします。			
primary# net		primary# dladm show-	-link	
3) 仮想ネットワーク	スイッチ用のネットワークインタフェースを確認します。	vsw0 タイプ: e1000g0 タイプ:	非 vian mtu: 1500 デバ : 非 vian mtu: 1500	<mark>イス: vsw0</mark> デバイス: e1000g0
primary# dla	dm show-link	e1000g1 タイプ:	非 vlan mtu: 1500	デバイス: e1000g1
* vsw0 が追加	されていることを確認	e1000g2 タイン: e1000g3 タイプ:	. 非 vlan mtu: 1500 : 非 vlan mtu: 1500	デバイス: e1000g2 デバイス: e1000g3
4) 仮想 ネットワーク	フィッチを右めにします			
primary# ifc	onfig vsw0 nlumh			
printery.				
5) 仮想ネットワーク	スイッチのIPアドレスを設定します。(ここでは、1)で確認	したe1000g0 のアドレスを指定します。)	
primary# ifco	onfig vsw0 192.168.10.xx netmask 255.25	5.255.0 broadcast + up		
書式 # ifconfig	、<インタフェース名> <ipアドレス> netmask <ネットマフ</ipアドレス>	くク値> broadcast + up		
6)ネットワーク構成	を確認します。	primary# ifconfig −a		
primary# ifc	onfig -a	lo0: flags=2001000849 <up,l0 inet 127.0.0.1 netmask</up,l0 	OOPBACK,RUNNING,MI ff000000	ULTICAST,IPv4,VIRTUAL> mtu 8232 ind
F J		vsw0: flags=1000843 <up,br< td=""><td>OADCAST,RUNNING,MI</td><td>ULTICAST,IPv4> mtu 1500 index 3</td></up,br<>	OADCAST,RUNNING,MI	ULTICAST,IPv4> mtu 1500 index 3
7) ネットワーク構成	定義ファイルを置き換えます。	ether 0:14:4f:f8:ba:9b	tmask ffffff00 broadcast	. 192.168.10.255
primary# mv	//etc/hostname.e1000g0 /etc/hostname.vs	sw0		
	トーマナリサー バニーエンバックカイ)の状態を変現します	primary# svcs vntsd		
8)版想示ファノーノ、 primary# syu	メーミナルサーハナーモン(VILSU ////A版でWERDUSy。	STATE STIME	FMRI	
primary# svo		disabled 10.40.17	SVC:/Idoms/vntsuusia	ult
	します。			
9) vntsd を有効に				
9) vntsd を有効に primary# svo	cadm enable vntsd			
9) vntsd を有効に primary# svo	cadm enable vntsd	primary# svcs vntsd STATE STIME	FMRI	
9) vntsd を有効に primary# svo 10) vntsd の状態	cadm enable vntsd 	primary# svcs vntsd STATE STIME online 15:43:50	FMRI svc:/ldoms/vntsd:defa	ult

	Oracle VM Server for SPARCを使ってみよう(構築・	運用手順書)	作成日	3 2012年2月
3. 5	デストドメインの機塞			primary# ldm list-devices
1)#				CORE
1)	・ヘトトンコンの1Fの)ゲストドメインへ割り当て可能なリソースを確認します。			1 100 (8, 9, 10, 11, 12, 13, 14, 15)
	primary# Idm list-devices			2 100 (16, 17, 18, 19, 20, 21, 22, 23) 3 100 (32, 33, 34, 35, 36, 37, 38, 39)
	※ ドメインに利用されていないリソースが表示されます。			
•				PID %FREE
2)) ゲストトメインを作成します。			8 100 9 100
	primary # rum add-domain (i sfile) [mag.addr. spum) [hastid spum)		stan Irosati nania, 1	~(省略)~
	extended-mapin-space= <on>] [mac-addr=<num>] [nostid=<num>] [mac-addr=<num>] [master=<master_ldom1,,ma< td=""><td>] [failure-policy=<ignore): aster_ldom4>] <ドメイン名</ignore): </td><td>stop/reset/panic>」 i> <ドメイン名>…]</td><td>39 100</td></master_ldom1,,ma<></num></num></num></on>] [failure-policy= <ignore): aster_ldom4>] <ドメイン名</ignore): 	stop/reset/panic>」 i> < ドメイン名 >…]	39 100
3))割り当てろ仮想(2011数を完美).ます			MAU ID CRUSET
0,	primary# Idm add-ycpu 8 Idom1			1 (8, 9, 10, 11, 12, 13, 14, 15)
	書式 # Idm add-vcpu [-c]core] <cpu数> <ドメイン名></cpu数>			2 (16, 17, 18, 19, 20, 21, 22, 23) 3 (32, 33, 34, 35, 36, 37, 38, 39)
4)				MEMORY
4))割り目(るメモリ谷軍を走我しより。			PA SIZE
	primary# idin add-memory zg idonn			0x88000000 6016M
5))_仮想ネットワークデバイスを定義します。			
	primary# ldm add-vnet vnet0 primary-vsw0 ldom1			
	書式 # ldm add-vnet [mac-addr= <num>][mode=hybrid] [pvid=<pvid>]</pvid></num>	vid= <vid1,vid2,>][mtu</vid1,vid2,>	= <mtu>] [id=<net< td=""><td>tworkid>]</td></net<></mtu>	tworkid>]
	[linkprop=phys-state] < 仮想ネットワークイ	ンタフェース名> <仮想スイ	ッチ> <ドメイン名>	
6))_仮想ディスクを定義します。			
	primary# ldm add-vdisk vdisk0 vol0@primary-vds0 ldom1			
	primary# ldm add-vdisk vdisk_iso vol_iso@primary-vds0 ldor	n1		
	書式 # ldm add-vdisk [timeout= <seconds>] [id=<diskid>]<仮想ディスク</diskid></seconds>	B> <仮想ホリューム名>@・	<仮想ディスクサーバ	ー名> <ドメイン名>
7))ゲストドメインを起動したとき、同時にOSを起動するかどうかを設定します。	primary# ldm lis	st-bindings Idom1	
	primary# ldm set-variable auto-boot¥?=false ldom1	Idom1 ir	STATE FLAGS C nactive	ONS VCPU MEMORY UTIL UPTIME 8 2G
	書式 # Idm set-variable auto-boot¥?= <false true="" =""> <ドメイン名> ※今回は、"falso"に設定したため、ゲストドメインたお動するとOPDの状態にな</false>			
	※う回は、Talse で放在したにの、アストナデーフを起動するCODFの状態でな	4590d71d-co	cf6-66e6-a895-b45aca	.7b2cf9
8)) ゲストドメインのブートデバイスを設定します。	CONTROL failure-policy	v=ignore	
	primary# Idm set-variable boot-device=vdisk0 Idom1	extended-ma	apin-space=off	
	青式 # Idm set-variable boot-device=<仮想ディスク> <ドメイン名>	master=		
9)) ゲストドメインに構成したリソースを確認します。	VARIABLES	false	
	primary# ldm list-bindings ldom1	boot-device=	=vdisk0	
		NETWORK NAME SE	ERVICE ID DE	EVICE MAC MODE PVID VID MT
			riman-vew0 0	00-14-45-5-08-11 1
10	0) ゲストドメインに構成した全てのリソースをバインドします。	DISK	indry voice o	00.14.4.10.00.11
	primary# ldm bind-domain ldom1	NAME vdisk0	VOLUME vol0@primary=vds0	TOUT ID DEVICE SERVER MPGROU 0
	書式 # ldm bind-domain [-f] [-q] (-i < ファイル名 > < ドメイン名 >)	vdisk_iso	vol_iso@primary-vds0) 1
11	1)ゲストドメインの状態を確認します。			
	primary# Idm list-domain			
	 書式 # ldm list-domain [-e] [-l] [-o <フォーマット>] [-p] [<ドメイン名>]			
12	2)ゲストドメインをお動します	primary# Idm list-domain	1	
12	nrimary# Idm start-domain Idom1	NAME STATE	FLAGS CONS V	CPU MEMORY UTIL UPTIME
	書式 # Idm start-domain (-a -i < file> <ドメイン名>)	Idom1 bound	5000 8 2	2G
10				
13	5) 制御Fメイン、ケストFメインの構成で雑誌しまり。	primary# Idm list-domain NAME STATE	TLAGS CONS V	CPU MEMORY UTIL UPTIME
		primary active	-n-cv- SP 8 20	G 0.3% 1h 37m
14	4)ゲストドメインに接続できることを確認します。			G 12/1 20
	primary# telnet localhost 5000			
	書式 # telnet localhost <ゲストドメインのコンソールポート番号>			
	※ ok プロンフトが表示されれば接続は成功です。			
ゲス	ストドメインからのコンソールログアウト方法			
ゲス	<mark>ストドメインからのコンソールログアウト方法</mark> ゲス ト ドメイ ンのコンソール 居 信 から 、 制御 ドメインへ 豆 ろ			

1)	ネットワークインストールの場合、vnet0のMACアドレスを調 primary# Idm list-domain -o network Idom1	NAME Idom1				
3	※ ここではローカルブートで実施します。	00:14:4f:fa:01:ea NETWORK				
2) <u>4</u>	ゲストドメインに接続します。	NAME SERV	ICE ID DEVICE	MAC MO 0 00:14:4 f.fa:98: 11	DE PVID VID	MTU LINKPROI 1500
P	primary# telnet localhost 5000			-	·	
ł	書式 # telnet localhost <ドメインのコンソールポート番号	>	{0} ok devalias			
3) <u></u> 5	デバイスを確認します。		vdisk_iso /virtual-dev	ices@100/channel-	devices@200/disk@	⊉1
{	{0} ok devalias		vdisk0 /virtual-dev vnet0 /virtual-dev	ices@100/channel- ices@100/channel-	devices@200/disk@ devices@200/netwo	ºU ork@0
3	※以降、黄色の手順はゲストドメイン側での操作を表します	t.	net /virtual-devi disk /virtual-devi	ces@100/channel-c ces@100/channel-c	levices@200/netwo levices@200/disk@(ork@O O
4)	bannerの出力を確認します。		virtual-console /virtual-d	evices/console@1		
{	{0} ok banner		name allases			
3	※ 制御ドメインで確認したMACアドレスとは異なることを	確認します。	{0} ok banner			
5) <u>4</u>	ゲストドメインにOSをインストールします。		SPARC Enterprise T5120, No Ke Copyright (c) 1998, 2011, Oracle OpenBoot 4.33.0.b, 2048 MB mer	yboard and∕or its affiliates nory available, Seria	s. All rights reserved al #83493354.	d.
{	{0} ok boot vdisk_iso		Ethernet address 0:14:4f:fa:1:ea,	Host ID: 84fa01ea.		
3)ゲス 	<mark>Rトドメインのコンソールログイン</mark> Idom1 console login: root Password:		ID/Pass でログイ	word : root/[討 ンします。	没定したパスワー	-۴]

Oracle VM Server for	SPARCを使ってみよう(構築・運用手)	順書)	作成日	2012年2月	
ゲストドメインの操作 構築後のゲストドメインの環境確認 1) ゲストドメインのコンソールにログインします。 Idom1 console login:root Password:******	Point ・OSインストール後、以下のような Oct 20 14:16:34 Idom1 sendmai もし、この表示を停止させたい場 # svcadm disable sendmail	Ssendmail のメッセ [[7358]: unable to 合には、以下のコ	:ージが断続的に表; qualify my own doma マンドを実行し、sen	示されます。 in name (ldom1) dmail のサービ	・ using short nar えを停止してくだ
2) /etc/path_to_inst ファイルにvnet が存在する	ことを確認します。	# grep vnet	/etc/path_to_inst		
<pre>Idom1# grep vnet /etc/path_to_ins</pre>	t	/virtual-d	evices@100/channel-dev	ices@200/network@	0″ 0 ″vnet″
3) <u>ゲストドメインが認識しているネットワークインタ</u>	フェースを確認します。	# dladm sh	ow-link		
Idom1# dladm show-link		vnet0	タイブ: 非 vlan mtu: 15	i00 デバイス: vr	net0
4) ゲストドメインのIPアドレスを確認します。	# ifconfig	-a 2001000849√UPLOOF			>mtu 8232 index 1
Idom1# ifconfig -a	inet vnet(); fla	127.0.0.1 netmask ff00	0000 CAST RUNNING MULTI	CAST IPv4> mtu 150	00 index 2
5) ゲストドメインから同一サブネット内のサーバへ	アクセスできることを確認します。	192.168.10.202 netma: or 0.14.4f-fa:98:11	sk ffffff00 broadcast 192.	168.10.255	
Idom1# ping 192.168.10.x	eur	5 0.14.41.18.30.11			
6) 仮想CPUの数を確認します。		# psrinfo - 物理プロ+	vp vyサは 8 個 の仮想 プロ -	ヤッサ を持ちます ((0-7)
ldom1# psrinfo -vp	-	UltraSPA	RC-T2 (chipid 0, clock 1	165 MHz)	,
		System Co	onfiguration: Oracle Corp	oration sun4v	
7)メモリの容量を確認します。		Memory si System Pe	ze: 2048 Megabytes ripherals (Software Node	s):	
Idom1# prtconf -v head		~(省略)/	~		
8) ディスクデバイスを確認します。		# format	diaka dana		
		Searching for			
ldom1# format ※ ゲストドメインに割り当てた仮想ディスクをひ 仮想ディスクにはターゲットIDはありません	ー 確認できます。 。デバイス名は、「cXdXsX」の形式になりま	AVAILABLE I 0. c0d0	DISK SELECTIONS: (SUN-DiskImage-20GB of the second	yl 566 alt 2 hd 96 s	sec 768>
Idom1# format ※ ゲストドメインに割り当てた仮想ディスクをひ 仮想ディスクにはターゲットIDはありません 「Ctrl + C」で停止します。	~ 奮認できます。 。デバイス名は、「cXdXsX」の形式になりま	AVAILABLE (0. cod0 /virtu Specify disk (DISK SELECTIONS: (SUN-DiskImage-20GB c al-devices@100/channel- enter its number):	yl 566 alt 2 hd 96 s ∙devices@200/disk€	sec 768> 90
Idom1# format ※ ゲストドメインに割り当てた仮想ディスクを砂 仮想ディスクにはターゲットIDはありません 「Ctrl + C」で停止します。 ゲストドメインの起動・停止 1) ゲストドメインを停止します。	~ 霍認できます。 。デバイス名は、「cXdXsX」の形式になりま	AVAILABLE I 0. codo /virtu Specify disk (SISK SELECTIONS: (SUN-DiskImage-200B c in-devices@100/channel- enter its number):	:yl 566 alt 2 hd 96 s devices@200/disk€	sec 768> 30
Idom1# format ※ ゲストドメインに割り当てた仮想ディスクを砂 仮想ディスクにはターゲットIDはありません 「Ctrl + C」で停止します。 ゲストドメインの起動・停止 1) ゲストドメインの起動・停止します。 Idom1# shutdown -y -g0 -i5	~ 審認できます。 。デバイス名は、「cXdXsX」の形式になりま	AVAILABLE I 0. odd0 /virtu Specify disk (DISK SELECTIONS: (SUH-DiskImage-200B c al-devices@100/channel- enter its number):	vji 566 alt 2 hd 96 s devices@200/disk@	aec 768> 90
Idom1# format ※ ゲストドメインに割り当てた仮想ディスクを砂 仮想ディスクにはターゲットIDはありません 「Ctrl + C」で停止します。 ゲストドメインの起動・停止 1) ゲストドメインの起動・停止 1) ゲストドメインを停止します。 Idom1# shutdown -y -g0 -i5 2) ゲストドメインから制御ドメインにログアウトしま	- 審認できます。 。デバイス名は、「cXdXsX」の形式になりま す。	AVAILABLE I 0. c0d0 /virtu Specify disk (SISK SELECTIONS: (SUN-DiskImage-200B c in-devices@100/channel- enter its number):	lyl 566 alt 2 hd 96 s devices@200/disk6	nec 768> 20
Idom1# format ※ ゲストドメインに割り当てた仮想ディスクを砂 仮想ディスクにはターゲットIDはありません 「Ctrl + C」で停止します。 ゲストドメインの起動・停止 1) ゲストドメインを停止します。 Idom1# shutdown -y -g0 -i5 2) ゲストドメインから制御ドメインにログアウトしま Idom1# ~. (チルダ+ドット)	- 審認できます。 。デバイス名は、「cXdXsX」の形式になりま す。	AVAILABLE I 0. odd0 /virtu Specify disk (DISK SELECTIONS: (SUN-DiskImage-20GB c al-devices@100/channel- enter its number):	ryl 566 alt 2 hd 96 s devices@200/disk@	sec 768> 90
Idom1# format ※ ゲストドメインに割り当てた仮想ディスクをき 仮想ディスクにはターゲットIDはありません 「Ctrl + C」で停止します。 ゲストドメインの起動・停止 1) ゲストドメインを停止します。 Idom1# shutdown -y -g0 -i5 2) ゲストドメインから制御ドメインにログアウトしま Idom1# ~. (チルダ+ドット) 3) ドメインの状態を確認します。	~ 霍認できます。 。デバイス名は、「cXdXsX」の形式になりま す。	Searching for AVAILABLE I 0. c0d0 /virtu Specify disk (primary# Idm list-	domain	yj 566 alt 2 hd 96 a devices@200/disk6	v 1111 112TIME
Idom1# format ※ ゲストドメインに割り当てた仮想ディスクを砂仮想ディスクにはターゲットIDはありません 「Ctrl + C」で停止します。 ゲストドメインの起動・停止 1) ゲストドメインを停止します。 Idom1# shutdown -y -g0 -i5 2) ゲストドメインから制御ドメインにログアウトしま Idom1# ~. (チルダ+ドット) 3) ドメインの状態を確認します。 primary# Idm list-domain	- 審認できます。 。デバイス名は、「cXdXsX」の形式になりま す。	Primary# Idm list- NAME S primary ac	domain TATE FLAGS CONS ive -n-cv- SP 8 and - State - S	yl 566 alt 2 hd 96 s devices@200/disk@	90 90 Y UTIL UPTIME 57m
Idom1# format ※ ゲストドメインに割り当てた仮想ディスクをき 仮想ディスクにはターゲットIDはありません 「Ctrl + C」で停止します。 ゲストドメインの起動・停止 1) ゲストドメインの起動・停止 1) ゲストドメインの起動・停止 2) ゲストドメインから制御ドメインにログアウトしま Idom1# shutdown -y -g0 -i5 2) ゲストドメインから制御ドメインにログアウトしま Idom1# ~. (チルダ+ドット) 3) ドメインの状態を確認します。 primary# Idm list-domain 4) 制御ドメインからゲストドメインを起動します。	- 霍認できます。 。デバイス名は、「cXdXsX」の形式になりま す。	Primary# Idm list- NAME S Primary# Idm list- NAME S primary ac Idom1 bo	domaind TATE FLAGS CONS and 5000 8	yl 566 alt 2 hd 96 a devices@200/disk6	Y UTIL UPTIME 57m
Idom1# format ※ ゲストドメインに割り当てた仮想ディスクを砂 仮想ディスクにはターゲットIDはありません 「Ctrl + C」で停止します。 ゲストドメインの起動・停止 1) ゲストドメインを停止します。 Idom1# shutdown -y -g0 -i5 2) ゲストドメインから制御ドメインにログアウトしま Idom1# ~. (チルダ+ドット) 3) ドメインの状態を確認します。 primary# Idm list-domain 4) 制御ドメインからゲストドメインを起動します。 primary# Idm start-domain Idom1	- 審認できます。 。デバイス名は、「cXdXsX」の形式になりま す。	Primary# Idm list- NAME S primary ac Idom1 bo	domain TATE FLAGS CONS ive -n-cv- SP 8 and 5000 8	yl 566 alt 2 hd 96 a devices@200/disk@ S VCPU MEMOR 2G 0.2% 2h 2G 2G	Y UTIL UPTIME
Idom1# format ※ ゲストドメインに割り当てた仮想ディスクをき 仮想ディスクにはターゲットIDはありません 「Ctrl + C」で停止します。 ゲストドメインの起動・停止 1) ゲストドメインの起動・停止 1) ゲストドメインの起動・停止 2) ゲストドメインのおり、停止します。 Idom1# shutdown -y -g0 -i5 2) ゲストドメインから制御ドメインにログアウトしま Idom1# ~. (チルダ+ドット) 3) ドメインの状態を確認します。 primary# Idm list-domain 4) 制御ドメインからゲストドメインを起動します。 primary# Idm start-domain Idom1 5) ドメインの状態を確認します。	- 審認できます。 。デバイス名は、「cXdXsX」の形式になりま す。	Primary# Idm list NAME	domain TATE FLAGS CONS and 5000 8 	yl 566 alt 2 hd 96 a devices@200/disk@ VCPU MEMOR 2G 0.2% 2h 2G	Y UTIL UPTIME
Idom1# format ※ ゲストドメインに割り当てた仮想ディスクを砂 仮想ディスクにはターゲットIDはありません 「Ctrl + C」で停止します。 ゲストドメインの起動・停止 1) ゲストドメインを停止します。 Idom1# shutdown -y -g0 -i5 2) ゲストドメインから制御ドメインにログアウトしま Idom1# ~. (チルダ+ドット) 3) ドメインの状態を確認します。 primary# Idm list-domain 4) 制御ドメインからゲストドメインを起動します。 primary# Idm start-domain Idom1 5) ドメインの状態を確認します。 primary# Idm list-domain	客認できます。 。デバイス名は、「cXdXsX」の形式になりま す。	Primary# Idm list NAME S primary# Idm list NAME S primary ac Idom1 bo	domain TATE FLAGS CONS ive -n-cv- SP 8 und S000 8	yl 566 alt 2 hd 96 a devices@200/disk@ S VCPU MEMOR 2G 0.2% 2h 2 2G S VCPU MEMOR 2G 0.2% 2h 2 2G	Y UTIL UPTIME 57m Y UTIL UPTIME 58m
Idom1# format ※ ゲストドメインに割り当てた仮想ディスクをき 仮想ディスクにはターゲットIDはありません 「Ctrl + C」で停止します。 ゲストドメインの起動・停止 1) ゲストドメインの起動・停止 1) ゲストドメインの起動・停止 2) ゲストドメインの短動・停止 ボストドメインの短動・停止 2) ゲストドメインのおり、停止 ばdom1# shutdown -y -g0 -i5 2) ゲストドメインから制御ドメインにログアウトしま Idom1# ~. (チルダ+ドット) 3) ドメインの状態を確認します。 primary# Idm list-domain 4) 制御ドメインからゲストドメインを起動します。 primary# Idm start-domain Idom1 5) ドメインの状態を確認します。 primary# Idm list-domain 6) ゲストドメインのコンソールにログインします。	- 審認できます。 。デバイス名は、「cXdXsX」の形式になりま す。	Primary# Idm list NAME S primary# Idm list NAME S primary ac Idom1 bo	domain TATE FLAGS CONS tive -n-cv- SP & and S000 & tive -n-cv- SP & tive -n-cv- SP & and S000 & 	yl 566 alt 2 hd 96 a devices@200/disk@ 200/dis	Y UTIL UPTIME 57m Y UTIL UPTIME 58m 3
Idom1# format ※ ゲストドメインに割り当てた仮想ディスクを砂 仮想ディスクにはターゲットIDはありません 「Ctrl + C」で停止します。 ゲストドメインの起動・停止 1) ゲストドメインを停止します。 Idom1# shutdown -y -g0 -i5 2) ゲストドメインから制御ドメインにログアウトしま Idom1# ~. (チルダ+ドット) 3) ドメインの状態を確認します。 primary# Idm list-domain 4) 制御ドメインの状態を確認します。 primary# Idm start-domain Idom1 5) ドメインの状態を確認します。 primary# Idm list-domain 6) ゲストドメインのコンソールにログインします。 primary# telnet localhost 5000	- 確認できます。 。デバイス名は、「cXdXsX」の形式になりま す。	Primary# Idm list NAME S primary# Idm list NAME S primary ac Idom1 bo	domain TATE FLAGS CON- tive -n-cv- SP 8 und S000 8	yl 566 alt 2 hd 96 a devices@200/disk@ S VCPU MEMOR 2G 0.2% 2h 2G S VCPU MEMOR 2G 0.2% 2h 2G 12% 3s	Y UTIL UPTIME 57m Y UTIL UPTIME 58m
Idom1# format ※ ゲストドメインに割り当てた仮想ディスクをき 仮想ディスクにはターゲットIDはありません 「Ctrl + C」で停止します。 ゲストドメインの起動・停止 1) ゲストドメインの起動・停止 1) ゲストドメインの起動・停止 2) ゲストドメインを停止します。 Idom1# shutdown -y -g0 -i5 2) ゲストドメインから制御ドメインにログアウトしま Idom1# ~. (チルダ+ドット) 3) ドメインの状態を確認します。 primary# Idm list-domain 4) 制御ドメインからゲストドメインを起動します。 primary# Idm start-domain Idom1 5) ドメインの状態を確認します。 primary# Idm list-domain 6) ゲストドメインのコンソールにログインします。 primary# telnet localhost 5000 書式 # telnet localhost < ドメインのコンソー	客認できます。 。デバイス名は、「cXdXsX」の形式になりま す。 し、 レボート番号>	Primary# Idm list NAME S primary # Idm list NAME S primary ac Idom1 bo	domain TATE FLAGS CONS tive -n-cv- SP & and 5000 & tive -n-cv- SP & and 5000 & 	yl 566 alt 2 hd 96 a devices@200/disk@ 200/dis	Y UTIL UPTIME 57m Y UTIL UPTIME 58m 3
Idom1# format ※ ゲストドメインに割り当てた仮想ディスクを砂 仮想ディスクにはターゲットIDはありません 「Ctrl + C」で停止します。 ゲストドメインの起動・停止 1) ゲストドメインを停止します。 Idom1# shutdown -y -g0 -i5 2) ゲストドメインを停止します。 Idom1# shutdown -y -g0 -i5 2) ゲストドメインから制御ドメインにログアウトしま Idom1# ~. (チルダ+ドット) 3) ドメインの状態を確認します。 primary# Idm list-domain 4) 制御ドメインからゲストドメインを起動します。 primary# Idm start-domain Idom1 5) ドメインの状態を確認します。 primary# Idm list-domain 6) ゲストドメインのコンソールにログインします。 primary# telnet localhost 5000 書式 # telnet localhost <ドメインのコンソール	客認できます。 。デバイス名は、「cXdXsX」の形式になりま す。 レポート番号>	Primary# Idm list NAME Idom1 bo	domain TATE FLAGS CON- tive -n-cv- SP 8 und 5000 8 	yl 566 alt 2 hd 96 a devices@200/disk@ S VCPU MEMOR 2G 0.2% 2h 2G S VCPU MEMOR 2G 0.2% 2h 2G 12% 3s	Y UTIL UPTIME 57m
Idom1# format ※ ゲストドメインに割り当てた仮想ディスクを砂 仮想ディスクにはターゲットIDはありません 「Ctrl + C」で停止します。 ゲストドメインの起動・停止 1) ゲストドメインの起動・停止 1) ゲストドメインの起動・停止 1) ゲストドメインの起動・停止 2) ゲストドメインから制御ドメインにログアウトしま Idom1# shutdown -y -g0 -I5 2) ゲストドメインから制御ドメインにログアウトしま Idom1# ~. (チルダ+ドット) 3) ドメインの状態を確認します。 primary# Idm list-domain 4) 制御ドメインからゲストドメインを起動します。 primary# Idm start-domain Idom1 5) ドメインの状態を確認します。 primary# Idm list-domain 6) ゲストドメインのコンソールにログインします。 primary# telnet localhost 5000 書式 # telnet localhost <ドメインのコンソール	- 審認できます。 。デバイス名は、「cXdXsX」の形式になりま す。 ルボート番号>	Primary# Idm list NAME S primary# Idm list NAME S primary ac Idom1 bo	domain TATE FLAGS CONS ive -n-cv- SP 8 und 5000 8 tive -n-cv- SP 8 tive -t 5000 8	yl 566 alt 2 hd 96 a devices@200/disk@ 2 2 2 3 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5	Pec 768> 20 Y UTIL UPTIME 57m RY UTIL UPTIME 58m 3
Idom1# format ※ ゲストドメインに割り当てた仮想ディスクをき 仮想ディスクにはターゲットIDはありません 「Ctrl + C」で停止します。 ゲストドメインの起動・停止 1) ゲストドメインの起動・停止 1) ゲストドメインの起動・停止 1) ゲストドメインの起動・停止 1) ゲストドメインの起動・停止 1) ゲストドメインの起動・停止 1) ゲストドメインの起動・停止 2) ゲストドメインの起動・停止 Idom1# shutdown -y -g0 -i5 2) ゲストドメインから制御ドメインにログアウトしま Idom1# ~. (チルダ + ドット) 3) ドメインの状態を確認します。 primary# Idm list-domain 4) 制御ドメインからゲストドメインを起動します。 primary# Idm start-domain Idom1 5) ドメインの状態を確認します。 primary# Idm list-domain 6) ゲストドメインのコンソールにログインします。 primary# telnet localhost 5000 書式 # telnet localhost <ドメインのコンソール	<pre></pre>	Primary# Idm list NAME Sprimary# Idm list NAME Sprimary ac Idom1 bo	domain TATE FLAGS CONS tive -n-cv- SP 8 und 5000 8 	yl 566 alt 2 hd 96 a devices@200/disk@ S VCPU MEMOR 2G 0.2% 2h 2G S VCPU MEMOR 2G 0.2% 2h 2G 12% 3s	Y UTIL UPTIME 57m 20 20 Y UTIL UPTIME 58m 58m 20

Oracle VM Server for SPARCを使ってみよう(構築・運用	手順書)	作成日	2012年2月	
9)制御ドメインからゲストドメインを停止させます。				
primary# Idm stop-domain Idom1				
10)ドメインの状態を確認します。 primary# ldm list-domain	primary# ldm list-domair NAME STATE primary active Idom1 bound	FLAGS CON -n-cv- SP 8 5000 8	S VCPU MEMORY 2G 0.2% 3h 2 3 2G	′UTIL UPTIME 23m
11) ゲストドメインの起動バラメタを変更します。 primary# ldm set-variable auto-boot¥?=true ldom1				
- 12)制御ドメインからゲストドメインを起動します。				
primary# ldm start-domain ldom1				
13)ドメインの状態を確認します。 primary# ldm list-domain	# Idm list-domain NAME STATE primary active Idom1 active -n OBPの状態 確認できま ※FLAGSか	FLAGS CON: -n-cv- SP 8 	s VCPU MEMORN 2G 0.2% 1h g 1G 0.1% 2m が起動しているこ こなるには、1分利	 UTIL UPTIME とが 呈度かかります。

Oracle VM Server for SPARCを使ってみよう(構築・運用手順書	·) 作成日 2012年2月
■ 5. リソース操作	
(1)使用リソースの確認	
1)ドメインで使用中の全リソースを表示します。 nrimary# Idm list-devices -a	
2) 未使用のリソースを表示します。 primary# Idm list_devices	
	primary# Idm list-domain
 (2)仮想CPUリソースの追加・削除 1)CPUリソースを確認します。 	NAME STATE FLAGS CONS VCPU MEMORY UTIL UPTIME primary active -n-cv- SP 8 2G 0.4% 3h 29m
primary# ldm list-domain	/ Idom1 active -n 5000 8 2G 0.1% 5m
- 2)別のターミナル画面を開いて、制御ドメインにteinet接続し、ゲストドメインのコンソールに指	会続します。
primary# telnet localhost 5000	
ろ) ゲストドメイン上でCPUリソースを確認します。	物理プロセッサは 8 個の仮想 プロセッサ を持ちます (0-7) UltraSPARC-T2 (chipid 0, clock 1165 MHz)
ldom1# psrinfo -vp	
4) CPU リソースをゲストドメインに追加します。	
primary# ldm add-vcpu 8 ldom1	primary# Idm list-domain
確認1	NAME STATE FLAGS CONS VCPU MEMORY UTIL UPTIME primary active -n-cv- SP 8 2G 0.3% 3h 34m
	Idom1 active -n 5000 16 2G 0.1% 9m
確認2 ゲストドメイン上でCPUリソースを確認します。	物理プロセッサは 16 個の仮想 プロセッサ を持ちます (0-15)
※追加したCPUリソースは動的に反映されます。	UltraSPARC-T2 (chipid 0, clock 1165 MHz)
5) CPUリソースをゲストドメインから削除します。 primary# Idm remove.vcpu 8 Idom1	primary#Idm list-domain NAME STATE FLAGS CONS VCPU MEMORY LITU UPTIME
確認1	primary active -n-cv- SP 8 2G 0.2% 3h 35m Idom1 active -n
primary# ldm list-domain	
確認2 ゲストドメイン上でCPUリソースを確認します。	物理プロセッサは 8 個の仮想 プロセッサ を持ちます (0-7)
ldom1# psrinfo -vp	
(3)ゲストドメインのメモリリソースの追加・削除	primary# ldm list-domain NAME STATE FLAGS CONS VCPU MEMORY UTIL UPTIME
primarv# Idm list-domain	primary active -n-cv- SP 8 2G 0.3% 3h 36m Idom1 active -n 5000 8 2G 0.1% 11m
2) ケストトメイン上でメモリを確認します。 Idom1# prtconf -v head	# prconf -v head System Configuration: Oracle Corporation sun4v
2) マエリトリーフェダフトビックオーター	~(省略)~
primary# Idm add-memory 1g Idom1	primary# ldm list-domain
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	NAME STATE FLAGS CONS VCPU MEMORY UTIL UPTIME primary active -n-cv- SP 8 2G 0.2% 3h 38m
primary# ldm list-domain	Idom1 active -n 5000 8 3G 0.1% 13m
確認2 ゲストドメイン上でメモリリソースを確認します。	# prtconf -v head
ldom1# prtconf -v head	System Comparation. Cracle Corporation Sun4v Memory size: 3072 Megabytes
※ 追加したメモナリノースは動的に及びされます。	
primary# Idm remove-memory 1g Idom1	primary# ldm list-domain NAME STATE FLAGS CONS VCPU MEMORY UTIL UPTIME
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	primary active -n-cv- SP 8 2G 0.1% 3h 40m Idom1 active -n 5000 8 2G 0.1% 16m
primary# ldm list-domain	
確認2 ゲストドメイン上でメモリリソースを確認します。	bash-3.2# prtconf -v head System Configuration: Oracle Corporation sun4v
Idom1# prtconf -v head	Memory size: 2048 Megabytes ~(省略)~

Oracle VM Server for SPARCを使ってみよう(構築・運用手順書)	作成日	2012年2月
(4)制御ドメインのメモリリソースの追加・削除	primon#lder.list_des_its		
1) メモリリソースを確認します。 primary# ldm list-domain	NAME STATE primary active -	FLAGS CONS n-cv- SP 8 n 5000 8	VCPU MEMORY UTIL UPTIME 2G 0.3% 1h 51m 1G 0.1% 14m
2) 制御ドメインにメモリリソースを追加します。			
primary# ldm add-memory 1g primary			
※ 削除する場合は、remove-memory を指定します。	primary# ldm list-domain NAME STATE	FLAGS CONS	VCPU MEMORY UTIL UPTIME
メモリ構成を確認します。	primary active - Idom1 active -	n-cv- SP 8	3G 0.2% 1h 52m 1G 0.1% 15m
primary# ldm list-domain	1		
(5)仮相ディフカの追加	primary# ldm list-domain -c	disk	
(3) 仮想ディスクの状態を確認します。	primary		
primary# ldm list-domain -o disk	VDS NAME VOLUME primary-vds0 vol0 vol_iso	OPTIONS	MPGROUP DEVICE /dev/zvol/dsk/rpool/zfs/vdisk0 /ISO/Sol10u10.iso
	NAME Idom1 DISK VOLUME vdisk0 vol0@prim. vdisk_iso vol_iso@pr	ary−vds0 imary−vds0	OUT ID DEVICE SERVER MPGROUP 0 disk@0 primary 1 disk@1 primary
2) 再度ゲストドメインのコンソールに接続し、ディスク状態を確認します。	# ls /dev/dsk		
Idom1# Is /dev/dsk	c0d0s1 c0d0s3 c0d0s5	i c0d0s7 c0d1s1	c0d1s3 c0d1s5 c0d1s7
ldom1# format	# format		
※「Ctrl + C」で停止します。	Searching for disksdone	•	
	AVAILABLE DISK SELEC 0. c0d0 <sun-diskl /virtual-devices@ Specify disk (enter its nu</sun-diskl 	CTIONS: mage-20GB cyl 5/ 100/channel-dev mber):	66 alt 2 hd 96 sec 768> ices@200/disk@0
	Point cod1 はOSインストール することが可能です。	に使用したISC	ロイメージです。hsfs 形式でマウント
3) 仮想ティスクテハイスに登録するファイルイメージを作成します。	# mount -F hsfs /dev/	dsk/c0d1s0 /r	nnt
printing minimic rg / Edon / / Alon_disting			
4) 仮想ディスクデバイスを登録します。	imany yds0		
primary# ium add-vaiskserverdevice /Ldom i/vaisk_uts.lmg Vol_uts@pr	imary-vosu		
5) ゲストドメインに仮想ディスクを追加します。	primary# ldm list-domain -c NAME	disk	
primary# ldm add-vdisk vdisk_ufs vol_ufs@primary-vds0 ldom1	primary VDS		
6)仮想ディスクの状態を確認します。	NAME VOLUME primary-vds0 vol0	OPTIONS	MPGROUP DEVICE /dev/zvol/dsk/rpool/zfs/vdisk0
primary# ldm list-domain -o disk	vol_iso vol_ufs	ro	/ISO/Sol10u10.iso /Ldom1/vdisk_ufs.img
	NAME Idom1 DISK NAME VOLUME vdisk0 vol0@prim vdisk,iso vol.iso@pr vdisk_ufs vol_ufs@p	T ary−vds0 imary−vds0 rimary−vds0	OUT ID DEVICE SERVER MPGROUP 0 disk®0 primary 1 disk®1 primary 2 disk®2 primary

Ofacte VM Server for SPARCを使うてみよう(桶来・運用于	順書)	作成日	2012年2月
7) ゲストドメイン上でディスクの状態を確認します。	# ls /dev c0d0s0	v/dsk c0d0s3_c0d0s6_c0d1s1	c0d1s4_c0d1s7_c0d2s2_c0d2s5
ldom1# ls /dev/dsk	c0d0s1	c0d0s4 c0d0s7 c0d1s2	codist codist codist codist
※ 追加したデバイスが存在するか確認します。		cOdOs5 cOd1s0 cOd1s3	3 cOd1s6 cOd2s1 cOd2s4 cOd2s7
	# format		
Idom1# format	Searching	for disksdone	
※ ¹ Ctrl + C」で停止します。 仮想ディスクを動的に追加したことが確認できます。	AVAILABL 0. c00 /vir 1. c0 4 /vi Specify dis	E DISK SELECTIONS: d0 <sun-diskimage-200 rtual-devices@100/char d2 <sun-diskimage-10 irtual-devices@100/char et/(enter/its.number);</sun-diskimage-10 </sun-diskimage-200 	B cyl 566 alt 2 hd 96 sec 768> inel−devices@200/disk@0 B cyl 3493 alt 2 hd 1 sec 600> inel−devices@200/disk@2
5)仮想ディスクの削除 1)ゲストドメインの仮想ディスクを確認します。			
nrimary# Idm list-domain -0 disk	primary# Idm list-d NAME	domain −o disk	
plillaly# lull instructional - o unix	primary		
	NAME	VOLUME OPTION	IS MPGROUP DEVICE
2) 仮想ディスクの割り当てを解除します。	primary-vds0 vol.	vol0 iso ro	/dev/zvol/dsk/rpool/zfs/vdist /ISQ/Sol10u10.iso
primary# ldm remove-vdisk valsk_uts laom i	vol.	Lufs	/Ldom1/vdisk_ufs.img
	NAME		
っ) 乍相デッフカサーレフから、仮相デッスカデバイスを削除します。	ldom1 DISK		
5) www.rux.vy=LANO, www.rux.vol.vol.org/mwork.vol.	NAME	VOLUME	TOUT ID DEVICE SERVER MPGF
plingly# mining was	vdiskU vo vdisk_iso v	ol0@primary-vds0 ol iso@primary-vds0	0 disk@0 primary 1 disk@1 primary
	Point ゲストドメイン」	上でマウントしている	る仮想ディスクの削除はできません
Λ \ ゲフトドッペッの仮想デノスクを建築Ⅰ.ま す	Point ゲストドメイン_ primary# ldm list-	上でマウントしている 	ら仮想ディスクの削除はできません
4) ゲストドメインの仮想ディスクを確認します。	Point ゲストドメイン_ primary# Idm list- NAME orimary	上でマウントしていえ -domain -o disk	ら仮想ディスクの削除はできません。
4) ゲストドメインの仮想ディスクを確認します。 primary# Idm list-domain -0 disk	Point ゲストドメイン_	上でマウントしていえ -domain -o disk	ら仮想ディスクの削除はできません。
 4) ゲストドメインの仮想ディスクを確認します。 primary# Idm list-domain -o disk ※ 仮想ディスクデバイスが削除されていることを確認します。 	Point ゲストドメイン_ Primary# ldm list- NAME primary_VDS NAME primary_vds0 vo	上でマウントしている domain -o disk VOLUME OPTIO vol0 vol0	ら仮想ディスクの削除はできません。 NS MPGROUP DEVICE /dev/zvol/dsk/rpool/zfs/vdi /ISO/Sol10u10.iso
4) ゲストドメインの仮想ディスクを確認します。 primary# ldm list-domain -o disk ※ 仮想ディスクデバイスが削除されていることを確認します。	Point ゲストドメイン_ NAME primary VDS NAME primary-vds0 vo NAME	<mark>上でマウントしていえ</mark> domain -o disk VOLUME OPTIO vol0 vljiso ro	ら仮想ディスクの削除はできません。 NS MPGROUP DEVICE /dev/zvol/dsk/rpool/zfs/vdii /ISO/Sol10u10.iso
4) ゲストドメインの仮想ディスクを確認します。 primary# ldm list-domain -o disk ※ 仮想ディスクデバイスが削除されていることを確認します。	Point ゲストドメイン. Primary# Idm list- NAME primary-vds0 vo NAME Idom 1 DISK	<mark>上でマウントしていえ</mark> domain -o disk VOLUME OPTIO vol0 J _L iso ro	ら仮想ディスクの削除はできません。 NS MPGROUP DEVICE /dev/zvol/dsk/rpool/zfs/vdi /ISO/Sol10u10.iso
4) ゲストドメインの仮想ティスクを確認します。 primary# ldm list-domain -o disk ※ 仮想ディスクデバイスが削除されていることを確認します。	Point ゲストドメイン。 Primary# Idm list- NAME primary VDS NAME primary=vds0 vo NAME Idom 1 DISK NAME	Lでマウントしていえ domain -o disk VOLUME OPTIO vol0 vol0 vol0 vol0	ら仮想ディスクの削除はできません。 NS MPGROUP DEVICE /dev/zvol/dsk/rpool/zfs/vdi /ISO/Sol10u10.iso
4) ゲストドメインの仮想ディスクを確認します。 primary# ldm list-domain -o disk ※ 仮想ディスクデバイスが削除されていることを確認します。	Point ゲストドメイン。 primary# ldm list- NAME primary=vds0 VDS NAME Idom1 DISK NAME vdisk0 vdisk0 vdisk0	Lでマウントしていえ -domain -o disk VOLUME OPTIO vol0 iJiso ro VOLUME vol0@primary-vds0 vol_iso@primary-vds0	S仮想ディスクの削除はできません。 NS MPGROUP DEVICE /dev/zvol/dsk/rpool/zfs/vdii /ISO/Sol10u10.iso TOUT ID DEVICE SERVER MPG 0 disk@0 primary 1 disk@1 primary
 4) ゲストドメインの仮想ティスクを確認します。 primary# Idm list-domain -0 disk ※ 仮想ディスクデバイスが削除されていることを確認します。 5) ゲストドメイントでディスクデバイスを確認します。 	Point ゲストドメイン。 Primary# Idm list- NAME primary=vds0 VDS NAME Idom1 DISK NAME vdisk0 vdisk0 vdisk_iso	Lでマウントしている -domain -o disk VOLUME OPTIO vol0 iJiso ro VOLUME vol0@primary-vds0 vol_iso@primary-vds0	S仮想ディスクの削除はできません。 NS MPGROUP DEVICE /dev/zvol/dsk/rpool/zfs/vdii /ISO/Sol10u10.iso TOUT ID DEVICE SERVER MPG 0 disk@0 primary 1 disk@1 primary
 4) ゲストドメインの仮想ディスクを確認します。 primary# Idm list-domain -o disk ※ 仮想ディスクデバイスが削除されていることを確認します。 5) ゲストドメイン上でディスクデバイスを確認します。 Idom1# format	Point ゲストドメイン。 Primary# Idm list- Primary VDS NAME primary-vds0 vo NAME Idom1 DISK NAME vdisk0 vdisk, iso	Lでマウントしている -domain -o disk VOLUME OPTIO vol0 i,liso ro VOLUME vol0@primary-vds0 vol_iso@primary-vds0	S仮想ディスクの削除はできません NS MPGROUP DEVICE /dev/zvol/dsk/rpool/zfs/vdii /ISO/Sol10u10.iso TOUT ID DEVICE SERVER MPG 0 disk@0 primary 1 disk@1 primary
 4) ゲストドメインの仮想ティスクを確認します。 primary# Idm list-domain -0 disk ※ 仮想ディスクテバイスが削除されていることを確認します。 5) ゲストドメイン上でディスクデバイスを確認します。 Idom1# format ※ 「Ctrl + C」で停止します。 仮想ディスク(cod2)が削除されて 	Point ゲストドメイン。 Primary# Idm list- Primary VDS NAME primary-vds0 v0 NAME Idom1 DISK NAME vdisk0 vdisk_iso # forms Search	Lでマウントしている -domain -o disk VOLUME OPTIO vol0 VOLUME vol0@primary-vds0 vol_iso@primary-vds0 at ning for disksdone	S仮想ディスクの削除はできません NS MPGROUP DEVICE /dev/zvol/dsk/rpool/zfs/vdi /ISO/Sol10u10.iso TOUT ID DEVICE SERVER MPG 0 disk@0 primary 1 disk@1 primary
 4) ゲストドメインの仮想ティスクを確認します。 primary# ldm list-domain -0 disk ※ 仮想ディスクデバイスが削除されていることを確認します。 5) ゲストドメイン上でディスクデバイスを確認します。 Idom1# format ※ 「Ctrl + C」で停止します。 仮想ディスク(cod2)が削除されていることを確認します。 	Point ゲストドメイン。 Primary# Idm list- Primary VDS NAME primary-vds0 v0 NAME Idom1 DISK NAME vdisk0 vdisk.iso # forms Search	Lでマウントしている -domain -o disk VOLUME OPTIO vol0 VOLUME vol0@primary-vds0 vol.jso@primary-vds0 at ning for disksdone ABLE DISK SELECTION 	S: So仮想ディスクの削除はできません NS MPGROUP DEVICE /dev/zvol/dsk/rpool/zfs/vdi /lsO/Sol10u10.iso TOUT ID DEVICE SERVER MPG 0 disk@0 primary 1 disk@1 primary S: -2002 put 555 clt 2 bd 95 sep 768)
 4) ゲストドメインの仮想ティスクを確認します。 primary# ldm list-domain -0 disk ※ 仮想ディスクデバイスが削除されていることを確認します。 5) ゲストドメイン上でディスクデバイスを確認します。 Idom1# format ※ 「Ctrl + C」で停止します。 仮想ディスク(c0d2)が削除されていることを確認します。 	Point ゲストドメイン。 Primary# Idm list- Primary VDS NAME primary-vds0 vo NAME Idom 1 DISK NAME vdisk, iso vdisk, iso # forma Search AVAIL/ 0.	Lでマウントしている -domain -o disk VOLUME OPTIO vol0 Jujiso ro VOLUME vol0@primary-vds0 vol_iso@primary-vds0 at ning for disksdone ABLE DISK SELECTION. cod0 <sun-diskimage /virtual-devices@100/</sun-diskimage 	S: SoldB ディスクの削除はできません NS MPGROUP DEVICE /dev/zvol/dsk/rpool/zfs/vdit /ISO/Sol10u10.iso TOUT ID DEVICE SERVER MPG 0 disk@0 primary 1 disk@1 primary 1 disk@1 primary S: -20GB cyl 566 alt 2 hd 96 sec 768> channel-devices@200/disk@0
 4) ゲストドメインの仮想ティスクを確認します。 primary# ldm list-domain -0 disk ※ 仮想ディスクデバイスが削除されていることを確認します。 5) ゲストドメイン上でディスクデバイスを確認します。 Idom1# format ※「Ctrl + C」で停止します。 仮想ディスク(c0d2)が削除されていることを確認します。 	Point ゲストドメイン。 Primary# Idm list- Primary VDS NAME primary-vds0 vo NAME Idom 1 DISK NAME vdisk_iso vdisk_iso # forma Search AVAIL 0. Specify	Lでマウントしている domain -o disk VOLUME OPTIO vol0 vol0 vol0 vol0 vol0 voljso@primary-vds0 voljso@primary-vds0 at ning for disksdone ABLE DISK SELECTION - od0 <sum-diskimage /virtual-devices@100/, y disk (enter its number</sum-diskimage 	So仮想ディスクの削除はできません NS MPGROUP DEVICE /dev/zvol/dsk/rpool/zfs/vdit /ISO/Sol10u10.iso TOUT ID DEVICE SERVER MPG 0 disk@0 primary 1 disk@1 primary 1 disk@1 primary SS: -20GB cyl 566 alt 2 hd 96 sec 768> channel-devices@200/disk@0 b
 4) ゲストドメインの仮想ティスクを確認します。 primary# ldm list-domain -0 disk ※ 仮想ディスクデバイスが削除されていることを確認します。 5) ゲストドメイン上でディスクデバイスを確認します。 Idom1# format ※ 「Ctrl + C」で停止します。 【dom1# ls /dev/dsk 	Point JANE primary# Idm list- primary VDS NAME primary-vds0 vo NAME Idom 1 DISK NAME vdisk0 vdisk_iso # forma Search AVAIL 0, Specify	Lでマウントしている domain -o disk VOLUME OPTIO vol0	S仮想ディスクの削除はできません NS MPGROUP DEVICE /dev/zvol/dsk/rpool/zfs/vdii /ISO/Sol10u10.iso TOUT ID DEVICE SERVER MPG 0 disk@0 primary 1 disk@1 primary 1 disk@1 primary Sis: -200B cyl 566 alt 2 hd 96 sec 768> channel-devices@200/disk@0 b
 4) ゲストドメインの仮想ティスクを確認します。 primary# Idm list-domain -0 disk ※ 仮想ディスクデバイスが削除されていることを確認します。 5) ゲストドメイン上でディスクデバイスを確認します。 Idom1# format ※ 「Ctrl + C」で停止します。 【dom1# ls /dev/dsk Automatical Action and Action a	Point /* ストドメイン.	Lでマウントしている -domain -o disk VOLUME OPTIO vol0 vol0 vol0 vol0@primary-vds0 vol.jso@primary-vds0 vol.jso@primary-vds0 at ning for disksdone ABLE DISK SELECTION cod0 <sun-disk mage<br="">/virtual-devices@100// y disk (enter its number lev/dsk 0 c0d0s3 c0d0s6 c0d1 1 c0d0s4 c0d0s7 c0d1</sun-disk>	S仮想ディスクの削除はできません NS MPGROUP DEVICE /dev/zvol/dsk/rpool/zfs/vdii /ISO/Sol10u10.iso TOUT ID DEVICE SERVER MPG 0 disk@0 primary 1 disk@1 primary
 4) ゲストドメインの仮想ティスクを確認します。 primary# ldm list-domain -0 disk ※ 仮想ディスクデバイスが削除されていることを確認します。 5) ゲストドメイン上でディスクデバイスを確認します。 Idom1# format ※ 「Ctrl + C」で停止します。 Idom1# ls /dev/dsk 6)不要なデバイスファイルを削除します。 	Point /* ストドメイン.	Lでマウントしている -domain -o disk VOLUME OPTIO vol0 vol0 vol0@primary-vds0 vol.jso@primary-vds0 at ning for disksdone ABLE DISK SELECTION cod0 <sun-diskimage /virtual-devices@100/v y disk (enter its number lev/dsk 0 c0d0s3 c0d0s6 c0d1 1 c0d0s4 c0d0s7 c0d1 2 c0d0s5 c0d1s0 c0d1</sun-diskimage 	SG (2015 c0d2s1 c0d2s4 c0d2s7
 4) ゲストドメインの仮想ディスクを確認します。 primary# ldm list-domain -0 disk ※ 仮想ディスクデバイスが削除されていることを確認します。 5) ゲストドメイン上でディスクデバイスを確認します。 Idom1# format ※ 「Ctrl + C」で停止します。 Idom1# ls /dev/dsk 6)不要なデバイスファイルを削除します。 Idom1# devfsadm - C 	Point /* ストドメイン.	Lでマウントしている -domain -o disk VOLUME OPTIO vol0 vol0 vol0@primary-vds0 at ing for disksdone ABLE DISK SELECTION cod0 <sun-diskimage /virtual-devices@100// y disk (enter its number lev/dsk 1 cod0s 4 c0d0s7 c0d1 2 c0d0s5 c0d1s0 c0d1</sun-diskimage 	SG 想ディスクの削除はできません。 NS MPGROUP DEVICE /dev/zvol/dsk/rpool/zfs/vdi /ISO/Sol10u10.iso TOUT ID DEVICE SERVER MPG 0 disk@0 primary 1 disk@1 primary 1 disk@1 primary SIS: -20GB cyl 566 alt 2 hd 96 sec 768> channel-devices@200/disk@0 k s1 c0d1s4 c0d1s7 c0d2s2 c0d2s5 s2 c0d1s5 c0d2s0 c0d2s3 c0d2s6 s3 c0d1s6 c0d2s1 c0d2s4 c0d2s7
 4) ゲストドメインの仮想ディスクを確認します。 primary# ldm list-domain -0 disk ※ 仮想ディスクデバイスが削除されていることを確認します。 5) ゲストドメイン上でディスクデバイスを確認します。 Idom1# format ※ 「Ctrl + C」で停止します。 Idom1# ls /dev/dsk 6)不要なデバイスファイルを削除します。 Idom1# devfsadm - C Idom1# to react with the prime of the prima of the prime of the prime of the prima of the prime of th	Point /* ストドメイン.	Lでマウントしている 'domain -o disk VOLUME OPTIO vol0 vol0 vol0 vol0@primary-vds0 at ing for disksdone ABLE DISK SELECTION cod0 <sun-diskimage /virtual-devices@100// y disk cod0s6 cod1 1 cod0s4 cod0s7 cod1 2 cod0s5 cod1s0 cod1</sun-diskimage 	SG 想ディスクの削除はできません。 NS MPGROUP DEVICE /dev/zvol/dsk/rpool/zfs/vdii /ISO/Sol10u10.iso TOUT ID DEVICE SERVER MPG 0 disk@0 primary 1 disk@1 primary

	作成日 2012年2月
物理!/0デバイスの追加 1)制御ドメイン・ゲストドメインに割り当てられているネットワークインターフェースを確認します。 確認1	primary# dladm show-link vsw0 タイブ:非 vlan mtu: 1500 デパイス: vsw0 e1000g0 タイブ: 排 vlan mtu: 1500 デパイス: e1000g0 e1000g1 タイブ: 排 vlan mtu: 1500 デパイス: e1000g1
primary# dladm show-link <	e1000g2 タイプ: 非 vian mtu: 1500 テバイス: e1000g2 e1000g3 タイプ: 非 vian mtu: 1500 デパイス: e1000g3
確認2	# dladm show-link
Idom1# dladm show-link	vnet0 タイブ: 非 vlan mtu: 1500 テバイス: vnet0
2) <u>割り当てる /0デバイス(e1000g2,e1000g3</u>)のデバイスファイルを確認します。	primary# Is -1 /dev grep e1000 Inversionary 1 cont
primary# Is -I /dev grep e1000	>/devices/pseudo/clone@0:e1000g
3)1/0デバイスの構成を確認します。	
primary# Idm list-io -I	
4) ゲストドメインを停止し、リソースを解除します。	
primary# ldm stop-domain ldom1 割り当てる物理デバイス名	primary# ldm list−io −l IO PSEUDONYM DOMAIN
primary# Idm unbind-domain Idom I (MB/NET2)を確認します。	poi@0 pci primary
5) 制御ドメインのI/0デバイスの割り当てを解除します。	niu@80 niu primary PCIE PSEUDONYM STATUS DOMAIN
primary# Idm remove-io MB/NE12 primary	pci@0/pci@0/pci@0/pci@9 MB/RISER0/PCIE0 EMP -
6)ドメインの構成を確認します。	pci@U/pci@U/pci@U/pci@U/pci@U/mb/NoERT/PUETEMP - pci@0/pci@0/pci@9 MB/RISER2/PCIE2 EMP -
primary# ldm list-domain	network@0
7)再起動します。	network@U,I pci@0/pci@0/pci@1/pci@0/pci@3 MB/NET2 OCC primary
primary# shutdown -y -g0 -i6	network@0,1
8) ゲストドメインに1/0デバイスを追加します。	pc/@U/pc/@u/pc/@2 MD/SASHBA 000 primary ~(省略)~
primary# ldm add-io MB/NET2 ldom1 制御ドメインが遅延再構成状態になっているため、再起動を行います	primary# ldm list-domain
9) ゲストドメインをバインドします。	primary active -ndov- SP 8 2G 0.2% 4h 7m
primary# ldm bind-domain ldom1	Idom1 inactive 8 2G
10) /0デバイスの構成を確認します。	primary# ldm list-io -l IO PSEUDONYM DOMAIN
primary# ldm list-io -l	
	POIE PSEUDONYM STATUS DOMAIN
11) ゲストドメインを起動します。 primary# Idm start-domain Idom1	PCIE PSEUDONYM STATUS DOMAIN ~(省略)~ pci@0/pci@1/pci@1/pci@2/pci@2 MB/NET0 OCC primary network@0,1 pci@0/pci@1/pci@0/pci@3 MB/NET2 OCC Idom1 SUNW.assigned-device@0
11) ゲストドメインを起動します。 primary# ldm start-domain ldom1 12)各ドメインに割り当てられているネットワークインターフェースを確認します。 確認1	PCIE PSEUDONYM STATUS DOMAIN ~(省節)~
11) ゲストドメインを起動します。 primary# ldm start-domain ldom1 12)各ドメインに割り当てられているネットワークインターフェースを確認します。 確認1 primary# dladm show-link	PCIE PSEUDONYM STATUS DOMAIN ~(省節 ~)
11) ゲストドメインを起動します。 primary# ldm start-domain ldom1 12)各ドメインに割り当てられているネットワークインターフェースを確認します。 確認1 primary# dladm show-link 確認2	PCIE PSEUDONYM STATUS DOMAIN ~(省略)~ pci@0/pci@1/pci@2/pci@2 MB/NET0 OCC primary network@0. network@0. 0 OCC primary pci@0/pci@1/pci@1/pci@3 MB/NET2 OCC Idom1 SUNW.assigned-device@0 SUNW.assigned-device@0. 0 primary# pci@0/pci@1/pci@2 MB/SASHBA OCC primary ~(省略)~ * * * pci@0/pci@2 MB/SASHBA OCC primary of add show-link * * * vsw0 \$ \$ \$ \$ e1000g0 \$ \$ \$ \$ e1000g1 \$ \$ \$ \$
11) ゲストドメインを起動します。 primary# ldm start-domain ldom1 12)各ドメインに割り当てられているネットワークインターフェースを確認します。 確認1 primary# dladm show-link 確認2 ldom1# devfsadm	PCIE PSEUDONYM STATUS DOMAIN ~(省路)~
11) ゲストドメインを起動します。 primary# Idm start-domain Idom1 12)各ドメインに割り当てられているネットワークインターフェースを確認します。 確認1 primary# dladm show-link 確認2 Idom1# dladm show-link	PCIE PSEUDONYM STATUS DOMAIN ~(省節)~
11) ゲストドメインを起動します。 primary# ldm start-domain ldom1 12)各ドメインに割り当てられているネットワークインターフェースを確認します。 確認1 primary# dladm show-link 確認2 ldom1# dladm show-link ldom1# dladm show-link	PCIE PSEUDONYM STATUS DOMAIN ~ (省略) ~ pci@0/pci@1/pci@0/pci@2 MB/NET0 OCC primary network@0.1 pci@0/pci@1/pci@0/pci@3 MB/NET2 OCC Idom1 SUNW.assigned-device@0.1 pci@0/pci@2 MB/SASHBA OCC primary pci@0/pci@0/pci@2 MB/SASHBA OCC primary pci@0/pci@0/pci@1 MB/SASHBA OCC primary pci@0/pci@0/pci@2 MB/SASHBA OCC primary pci@0/pci@0/pci@1 MB/SASHBA OCC primary e1000g0 タイブ: 非 vian mtu: 1500 デバイス: e1000g0 e1000g1 # dladm show-link vrwet0 タイブ: 非 vian mtu: 1500 デバイス: e1000g1 # dladm show-link vrwet0 タイブ: 非 vian mtu: 1500 デバイス: e1000g1 # dladm show-link vrwet0 タイブ: 非 vian mtu: 1500 デバイス: e1000g1
11) ゲストドメインを起動します。 primary# ldm start-domain ldom1 12)各ドメインに割り当てられているネットワークインターフェースを確認します。 確認1 primary# dladm show-link 確認2 Idom1# devfsadm Idom1# dladm show-link Idom1# ls -l /dev grep e1000 13) I/Oデバイスの構成を元に戻します。	PCIE PSEUDONYM STATUS DOMAIN ~(省節)~
11) ゲストドメインを起動します。 primary# Idm start-domain Idom1 12)各ドメインに割り当てられているネットワークインターフェースを確認します。 確認1 primary# dladm show-link 確認2 Idom1# devfsadm Idom1# dladm show-link Idom1# dladm show-link Idom1# cladm show-link Idom1# dladm show-link Idom1# ls -1 /dev grep e1000 13) I/OFバイスの構成を元に戻します。 ** MB/NET2は、8章で制御ドメインで使用するため、元に戻しておきます。	PCIE PSEUDONYM STATUS DOMAIN ~(省節)~ pci@0/pci@1/pci@1/pci@2 MB/NET0 OCC primary network@0. network@0. OCC primary pci@0/pci@1/pci@1/pci@3 MB/NET2 OCC Idom1 SUNW.assigned-device@0 SUNW.assigned-device@0. OCC primary# pci@0/pci@1/pci@2 MB/SASHBA OCC primary vSuNW.assigned-device@0. SUNW.assigned-device@0. Frifit.c: sw0 s1000g0 pdf2:#.vlan.mtu: 1500 Frifit.c: sw0 e1000g0 Frifit.c: sw0 e100g0 frifit.c: sw0 e100g0 pf7:#.vlan.mtu: 1500 Frifit.c: s1000g0 e1000g0 frifit.c: s1000g1 frifit.c: s1000g1 frifit.c: s1000g0 frifit.c: s1000g1
11) ゲストドメインを起動します。 primary# ldm start-domain ldom1 12)各ドメインに割り当てられているネットワークインターフェースを確認します。 確認1 primary# dladm show-link 確認2 ldom1# devfsadm ldom1# dladm show-link ldom1# dladm show-link ldom1# ls -l /dev grep e1000 13)1/0デバイスの構成を元に戻します。 ** MB/NET2は、8章で制御ドメインで使用するため、元に戻しておきます。 ゲストドメインを停止させます。 primary# ldm stop-domain ldom1	PCIE PSEUDONYM STATUS DOMAIN ~(省部)~ pci@0/pci@1/pci@1/pci@2 MB/NET0 OCC primary network@0 network@1 pci@0/pci@1/pci@3 MB/NET2 OCC Idom1 sUNW.assigned-device@0 SUNW.assigned-device@0 SUNW.assigned-device@0 SUNW.assigned-device@0 Primary# vsw0 \$d17.# # vlan mtu: 1500 デバイス: vsw0 e1000g0 \$d77.# # vlan mtu: 1500 デバイス: e1000g0 e1000g1 \$d77.# # vlan mtu: 1500 デバイス: e1000g1 # dadm show-link vret0 \$d77.# vlan mtu: 1500 デバイス: e1000g1 # dadm show-link vret0 \$d77.# vlan mtu: 1500 デバイス: e1000g0 \$d77.# vlan mtu: 1500 デバイス: e1000g1 # dadm show-link vret0 \$d17.# vlan mtu: 1500 デバイス: e1000g1 # dadm show-link vret0 \$d17.# vlan mtu: 1500 デバイス: e1000g1 # dadm show-link vret0 \$d17.# vlan mtu: 1500 デバイス: e1000g1 # dadm show-link vret0 \$d17.# vlan mtu: 1500 デバイス: e1000g1 # dadm show-link vret0 \$d17.# vlan mtu: 1500 デバイス: e1000g1 # dadm show-link vret0 \$d217.# vlan mtu: 1500 デバイス: e100
11) ゲストドメインを起動します。 primary# ldm start-domain ldom1 12)各ドメインに割り当てられているネットワークインターフェースを確認します。 確認1 primary# dladm show-link 確認2 Idom1# devfsadm Idom1# dladm show-link	PCIE PSEUDONYM STATUS DOMAIN ~(省節)~ pci@0/pci@1/pci@0/pci@2 MB/NET0 OCC primary network@0 pci@0/pci@1/pci@0/pci@3 MB/NET2 OCC Idom1 SUNW.assigned-device@0 SUNW.assigned-device@0. Pci@0/pci@0/pci@2 MB/SASHBA OCC primary pci@0/pci@0/pci@0 /pci@0 /pci@
11) ゲストドメインを起動します。 primary# ldm start-domain ldom1 12)各ドメインに割り当てられているネットワークインターフェースを確認します。 確認1 primary# dladm show-link 確認2 ldom1# devfsadm ldom1# dladm show-link ldom2# dlam ldom3# dlam ldom1# dladm show-link ldom3# dlam ldom3# dlam <td>PCIE PSEUDONYM STATUS DOMAIN ~(省筋) ~ pci@0/pci@1/pci@1/pci@2 MB/NET0 OCC primary network@0 network@0 0 0 pci@0/pci@1/pci@3 MB/NET2 OCC Idom1 SUNW.assigned-device@0 SUNW.assigned-device@0 0 0 pci@0/pci@1/pci@2 MB/NET2 OCC Idom1 pci@0/pci@0/pci@2 MB/SASHBA OCC primary ~(省高) ~ ~ ~ (省高) ~ ~ ~ (省高) ~ ~ (3 mary) ~ <t< td=""></t<></td>	PCIE PSEUDONYM STATUS DOMAIN ~(省筋) ~ pci@0/pci@1/pci@1/pci@2 MB/NET0 OCC primary network@0 network@0 0 0 pci@0/pci@1/pci@3 MB/NET2 OCC Idom1 SUNW.assigned-device@0 SUNW.assigned-device@0 0 0 pci@0/pci@1/pci@2 MB/NET2 OCC Idom1 pci@0/pci@0/pci@2 MB/SASHBA OCC primary ~(省高) ~ ~ ~ (省高) ~ ~ ~ (省高) ~ ~ (3 mary) ~ <t< td=""></t<>
11) ゲストドメインを起動します。 primary# ldm start-domain ldom1 12) 各ドメインに割り当てられているネットワークインターフェースを確認します。 確認1 primary# dladm show-link 確認2 Idom1# devfsadm Idom1# dladm show-link	PCIE PSEUDONYM STATUS DOMAIN ~(省略)~ pci@0/pci@1/pci@0/pci@2 MB/NET0 OCC primary pci@0/pci@1/pci@0/pci@3 MB/NET2 OCC Idom1 pci@0/pci@1/pci@0/pci@3 MB/NET2 OCC Idom1 pci@0/pci@1/pci@0/pci@3 MB/NET2 OCC Idom1 pci@0/pci@1/pci@0/pci@3 MB/NET2 OCC Idom1 pci@0/pci@0/pci@1/pci@0/pci@3 MB/SASHBA OCC primary pci@0/pci@0/pci@1/pci@0/pci@1 MB/SASHBA OCC primary pci@0/pci@0/pci@1/pci@1/pci@1/pci@0/pci@1/pci@0/pci@1/pci@1/pci@0/pci@1/pci@0/pci@1/pci@0/pci@1/pci@0/pci@1/pci@0/pci@1/pci@0/pci@1/pci@0/pci@3/network@0.1000g0 #1000g1 #17.# vian mtu: 1500 #1/47.* e1000g1 # diadm show-link vsvo \$47.# vian mtu: 1500 #1/47.* e1000g1 #1000g1 #1/47.* e1000g1 # diadm show-link vsvo \$47.# vian mtu: 1500 #1/47.* e1000g1 #1000g1 #1/47.* e1000g1 # diadm show-link vsvovxvvxvxvx1 root root \$210月 20日 16:23 e1000g - >/47.* e1000g0 #1/47.* e1000g1 #1/47.* e1000g1 # diadm show-link vsvovxvvxvx1 root root \$210月 20日 16:23 e1000g0 - >/4evices/pci@0/pci@1/pci@1/p
11) ゲストドメインを起動します。 primary# ldm start-domain ldom1 12) 各ドメインに割り当てられているネットワークインターフェースを確認します。 確認1 primary# dladm show-link 確認2 Idom1# devfsadm Idom1# dladm show-link	PCIE PSEUDONYM STATUS DOMAIN ~(省筋)~ pci@0/pci@1/pci@0/pci@2 MB/NET0 OCC primary network@0 pci@0/pci@1/pci@0/pci@3 MB/NET2 OCC Idom1 SUNW.assigned-device@0 SUNW.assigned-device@0 SUNW.assigned-device@0 SUNW.assigned-device@0 primary# dladm show-link vsw0 タイブ:排 vlan mtu: 1500 デバイス: e1000g0 e1000g0 タイブ:排 vlan mtu: 1500 デバイス: e1000g1 # dladm show-link vnet0 タイブ: # vlan mtu: 1500 デバイス: e1000g1 # dladm show-link vnet0 タイブ: # vlan mtu: 1500 デバイス: e1000g1 # dladm show-link vnet0 タイブ: # vlan mtu: 1500 デバイス: e1000g1 # dladm show-link vnet0 タイブ: # vlan mtu: 1500 デバイス: e1000g1 # dladm show-link vnet0 タイブ: # vlan mtu: 1500 デバイス: e1000g1 # dladm show-link vnet0 タイブ: # vlan mtu: 1500 デバイス: e1000g1 # dladm show-link vnet0 タイブ: # vlan mtu: 1500 デバイス: e1000g1 # dladm show-link vnet0 タイブ: # vlan mtu: 1500 デバイス: e1000g1 # dladm show-link vnet0 タイブ: # vlan mtu: 1500 デバイス: e1000g1 # dladm show-link vnet0 タイブ: # vlan mtu: 1500 デバイス: e1000g1 # dladm show-link vnet0 タイブ: # vlan mtu: 1500 デバイス: e1000g1 # dladm show-link vnet0 タイブ: # vlan mtu: 1500 デバイス: e1000g1 # dladm show-link vnet0 タイブ: # vlan mtu: 1500 デバイス: e1000g1 # dladm show-link * devices/pci@0/pci@0/pci@1/pci@0/pci@1/pci@0/pci@3/network@0.1e000g1 # devices/pci@0/pci@0/pci@1/pci@0/pci@3/network@0.1e000g1 # devices/pci@0/pci@0/pci@1/pci@0/pci@3/network@0.1e000g1 # devices/pci@0/pci@0/pci@1/pci@0/pci@3/network@0.1e000g1 # devices/pci@0/pci@0/pci@1/pci@0/pci@3/network@0.1e000g1 # devices/pci@0/pci@0/pci@1/pci@0/pci@3/network@0.1e000g1 # devices/pci@0/pci@0/pci@1/pci@0/pci@0/pci@3/network@0.1e000g1 # devices/pci@0/pci@0/pci@1/pci@0/pci@3/network@0.1e000g1 # devices/pci@0/pci
11) ゲストドメインを起動します。 primary# ldm start-domain ldom1 12) 各ドメインに割り当てられているネットワークインターフェースを確認します。 確認1 primary# dladm show-link 確認2 Idom1# devfsadm Idom1# dladm show-link	PCIE PSEUDONYM STATUS DOMAIN ~(省部)~ pci@0/pci@1/pci@1/pci@2 MB/NET0 OCC primary pci@0/pci@1/pci@1/pci@3 MB/NET2 OCC Idom1 sUNW.assigned-device@0 SUNW.assigned-device@0 SUNW.assigned-device@0 yeri@0/pci@1/pci@2 MB/SASHBA OCC primary pci@0/pci@1/pci@2 MB/SASHBA OCC primary yeri@0/pci@2 MB/SASHBA OCC primary vsw0 \$\sqrt{7}:\# vlan mtu: 1500 \tau{scipned-device@0 e1000g0 \$\sqrt{7}:\# vlan mtu: 1500 \tau{scipned-device@1 e1000g1 \$\sqrt{7}:\# vlan mtu: 1500 scipned-device@1
11) ゲストドメインを起動します。 primary# ldm start-domain ldom1 12)各ドメインに割り当てられているネットワークインターフェースを確認します。 確認1 primary# dladm show-link 確認2 Idom1# devfsadm Idom1# dladm show-link	PCIE PSEUDONYM STATUS DOMAIN ~(名協)~ pci@0/pci@1/pci@1/pci@2 MB/NET0 OCC primary network@0. network@0. OCC primary pci@0/pci@1/pci@1/pci@3 MB/NET2 OCC Idom1 SUNW.assigned-device@0 SUNW.assigned-device@0 SUNW.assigned-device@0 ysw0 タイブ:# vlan mtu: 1500 デバイス: vsw0 e1000g0 e1000g0 タイブ:# vlan mtu: 1500 デバイス: e1000g0 e1000g1 タイブ:# vlan mtu: 1500 デバイス: e1000g1 # dladm show-link Yvet0 タイブ:# vlan mtu: 1500 デバイス: e1000g0 e1000g0 タイブ:# vlan mtu: 1500 デバイス: e1000g1 # vlan mtu: 1500 デバイス: e1000g1 # dladm show-link Yvet0 タイブ:# vlan mtu: 1500 デバイス: e1000g1 # vlan mtu: 1500 デバイス: e1000g1 # dladm show-link Yvet0 タイブ:# vlan mtu: 1500 デバイス: e1000g1 # vlan mtu: 1500 デバイス: e1000g1 # vlan mtu: 1500 デバイス: e1000g1 # vlan mtu: 1500 デバイス: e1000g1 > vlaves/poi@0/pci@1/pci@1/pci@0/pci@1/pc
11) ゲストドメインを起動します。 primary# ldm start-domain ldom1 12)各ドメインに割り当てられているネットワークインターフェースを確認します。 確認1 primary# dladm show-link 確認2 Idom1# devfsadm Idom1# dladm show-link Idom1# devfsadm Idom1# devfsadm Idom1# devfsadm Idom1# devfsadm Idom1# devfsadm Idom1# devfsadm Idom1# dladm show-link Idom1# dladm show-link </td <td>PCIE PSEUDONYM STATUS DOMAIN ~(省略)~ pci@0/pci@1/pci@1/pci@2 MB/NET0 OCC primary network@0 network@0 OCC primary network@0 pci@0/pci@1/pci@3 MB/NET2 OCC Idom1 SUNW.assigned-device@0 SUNW.assigned-device@0 SUNW.assigned-device@0 Primary# of adm show-link vsw0 タイブ:# vlan mtu: 1500 デバイス: vsw0 e1000g0 タイブ:# vlan mtu: 1500 デバイス: e1000g0 e1000g0 タイブ:# vlan mtu: 1500 デバイス: e1000g1 # dladm show-link */vsw0 vnc0 タイブ:# vlan mtu: 1500 デバイス: e1000g1 # dladm show-link */vsw0 vnc0 タイブ:# vlan mtu: 1500 デバイス: e1000g1 # dladm show-link */vsw0 vnc0 タイブ:# vlan mtu: 1500 デバイス: e1000g1 # dladm show-link */vsw0 vnc0 タイブ:# vlan mtu: 1500 デバイス: e1000g1 # dladm show-link */s000g0 e1000g0 タイブ:# vlan mtu: 1500 デバイス: e1000g1 # dladm show-link * dladm show-link vnet0 タイブ:# vlan mtu: 1500 デバイス: e1000g1 # dladm show-link</td>	PCIE PSEUDONYM STATUS DOMAIN ~(省略)~ pci@0/pci@1/pci@1/pci@2 MB/NET0 OCC primary network@0 network@0 OCC primary network@0 pci@0/pci@1/pci@3 MB/NET2 OCC Idom1 SUNW.assigned-device@0 SUNW.assigned-device@0 SUNW.assigned-device@0 Primary# of adm show-link vsw0 タイブ:# vlan mtu: 1500 デバイス: vsw0 e1000g0 タイブ:# vlan mtu: 1500 デバイス: e1000g0 e1000g0 タイブ:# vlan mtu: 1500 デバイス: e1000g1 # dladm show-link */vsw0 vnc0 タイブ:# vlan mtu: 1500 デバイス: e1000g1 # dladm show-link */vsw0 vnc0 タイブ:# vlan mtu: 1500 デバイス: e1000g1 # dladm show-link */vsw0 vnc0 タイブ:# vlan mtu: 1500 デバイス: e1000g1 # dladm show-link */vsw0 vnc0 タイブ:# vlan mtu: 1500 デバイス: e1000g1 # dladm show-link */s000g0 e1000g0 タイブ:# vlan mtu: 1500 デバイス: e1000g1 # dladm show-link * dladm show-link vnet0 タイブ:# vlan mtu: 1500 デバイス: e1000g1 # dladm show-link

	nvimenutt Iden list-demain -a diek
, Uracie vm Server for SPAKCへのZFSの活用	primary# Idm list-domain -o disk NAME
)ドメインのディスクとZFSの状態確認 1)ディフク特報を確認します	primary VDS
primary# Idm list-domain -o disk	NAME VOLUME OPTIONS MPGROUP DEVICE primary-vds0 vol0 /dev/zvol/dsk/rpool/zfs/vdisk
	vol_iso ro /ISO/Sol10u10.iso
	NAME Idom 1
	DISK
	NAME VOLUME TOUTID DEVICE SERVER MPGR vdisk0 vol0@primary-vds0 0 disk@0 primary
	vdisk_iso vol_iso@primary=vds0 1 disk@1 primary
	primary# zfs list NAME USED AVAIL REFER MOUNTPOINT
2) ZFSファイルシステムの状態を確認します。	rpool 36.6G 97.3G 107K /rpool ~
primary# zis list	rpool/zfs 20.6G 97.3G 31K /rpool/zfs
3) ZFSボリューム(仮想ディスク)のスナップショットを作成します。	
primary# zfs snapshot rpool/zfs/vdisk0@snap	primary# zfs list
4)確認します。	rpool 41.9G 92.0G 107K /rpool
primary# zfs list	~(省略)~ rpool/zfs 25.9G 92.0G 31K /rpool/zfs
	rpool/zfs/vdisk0 25.9G 113G 5.27G - rpool/zfs/vdisk0@snap 0 - 5.27G -
)ロールバック機能 1) <u>ドメインの状態を確認します。</u>	primary# Idm list-domain
primary# ldm list-domain	NAME STATE FLAGS CONS VCPU MEMORY UTIL UPTIME
	primary active -n-cv- SP 8 3G 0.1% 19m Idom1 active -n 5000 8 2G 0.1% 11m
	SUNW.Netra-T12 SUNW.Sun-Fire-T1000 SUNW.Netra-T2000 SUNW.Sun-Fire-T200 SUNW.Netra-T4 SUNW.Sun-Fire-V215 SUNW.Netra-T5220 SUNW.Sun-Fire-V240 SUNW.Netra-T5440 SUNW.Sun-Fire-V240 SUNW.SPARO-Enterprise SUNW.Sun-Fire-V440 SUNW.SPARO-Enterprise-T1000 SUNW.Sun-Fire-V445 SUNW.SPARC-Enterprise-T2000 SUNW.T5140 SUNW.SPARC-Enterprise-T3120 SUNW.T5440 SUNW.SPARC-Enterprise-T5120 SUNW.USBRDT-5240 SUNW.SPARC-Enterprise-T5200 SUNW.USBRDT-5400 SUNW.SPARO-Enterprise-T5200 SUNW.JUN-J5440 SUNW.SPARC-Enterprise-T5120 SUNW.JUN-S440 SUNW.SPARC-Enterprise-T5200 SUNW.JUN-S440 SUNW.SPARC-Enterprise-T5120 SUNW.JUN-S440 SUNW.SUN-Blade-1000 SUNW.JUN-S440 SUNW.Sun-Blade-1500 sun4u
	SUNW,Sun-Blade-2500 sun4u-us3 SUNW,Sun-Blade-T6300 sun4us
37 /plauoimmerwティレジャンティルを削除します。	SUNW,Sun-Blade-T6320 sun4v SUNW,Sun-Blade-T6340
※一部のディレクトリ・ファイルは削除できません。	Boot device: disk:a File and arrest
4) ゲストドメインを再記動します。	
Idom1# shutdown -y -q0 -i6	Lan t open boot_arcnive
※ブートできなくなります。	Evaluating: The file just loaded does not appear to be executable.
	[0] ok
5)制御ドメインに戻り、ドメインの状態を確認します。	primary# Idm list-domain
primary# Idm list-domain	NAME STATE FLAGS CONS VCPU MEMORY UTIL UPTIME primary active -n-cv- SP 8 3G 0.2% 24m Idom 1 active -t 5000 8 2G 12% 1m
6)ゲストドメインを停止します。	
primary# ldm stop-domain ldom1	
a day any William and the distance to the second	Point
primary# idm unbind-domain idom i	ロールバックするときは、対象とたるドメインを停止する必要がなります
primary# iam unbind-domain idom i 7) スナップショットから仮想ディスクをロールバックします。	ロールバックするときは、対象となるドメインを停止する必要があります。

	Oracle VM Server for SPARCを使ってみよう(構築・運用	手順書)			作成日	2012年2月		
8)	ZFS の状態を確認します 。			primary# z NAME	fs list L	ISED AVAIL REFER		
F	primary# zfs list		2	rpool	41.9	9G 92.0G 107K /m	pool	
				~(省哈) rpool/zfs	25	.9G 92.0G 31K /r	pool/zfs	
9)	ゲストドメインを起動し、コンソールへ接続します。			rpool/zfs/	vdisk0 vdisk0@snan	25.9G 113G 5.27G	-	
F	primary# Idm bind-domain Idom I primary# Idm start-domain Idom1			1000/213/	Vulskoesnap	111 0.270		-
1				# Is / platfor FJSV,GPUZ	m C-L S	SUNW,Sun-Fire		
				FJSV,GPUZ SUNW,A70	C-M SU	SUNW,Sun-Fire-15000 NW,Sun-Fire-280R		
1	10) /platform配トのティレクトリ・ファイルを確認します。		/	SUNW,Netra SUNW,Netra	-CP3060 -CP3260	SUNW,Sun-Fire-480R SUNW,Sun-Fire-880		
	Idom1# Is /nlatform			SUNW,Netra		SUNW,Sun-Fire-T1000		
	※ブートできるようになり、削除したファイルが元に戻っていることを確認します。			SUNW,Netra	-T4 S	UNW,Sun-Fire-V215		
				SUNW,Netra	-T5440	SUNW,Sun-Fire-V240 SUNW,Sun-Fire-V250	-	
				SUNW,SPAF	RC-Enterprise RC-Enterprise-T1	000 SUNW,Sun-Fire-V44	u /445	
				SUNW,SPAF SUNW,SPAF	RC-Enterprise-T2 RC-Enterprise-T3	2000 SUNW,T5140 2120 SUNW,T5240		
				SUNW,SPAF	RC-Enterprise-T5 RC-Enterprise-T5	120 SUNW,T5440 220 SUNW.USBRDT-5	240	
				SUNW,Sun-	Blade-1000 Blade-1500	SUNW,USBRDT-5440		
				SUNW,Sun-	Blade-2500	sun4u-us3		
(3) / 7	7			SUNW,Sun- SUNW,Sun-	Blade-16300 Blade-T6320	sun4us sun4v		
1)	コーン協能 制御ドメインに戻り、ZFSの状態を確認します。			SUNW,Sun-	Blade-T6340			
F	primary# zfs list							
2)	仮想ディスクのクローンを作成します			primary# z	fs list			
 	primary# zfs clone rpool/zfs/vdisk0@snap rpool/zfs/vdisk1			NAME rpool	41.9	JSED AVAIL REFER OG 92.0G 107K /m	MOUNTPOINT	
1				~(省略)~	~ 25	9G 92 0G 31K /r	nool/afc	
3)	確認します。			rpool/zfs/v	vdisk0	25.9G 113G 5.28G	-	
Ŗ	primary# zfs list			rpool/zfs/v	vdisk0@snap	11.6M - 5.270	i -	
				primary# z	fs list			
				NAME	ل 11 (JSED AVAIL REFE		
				~(省略) <i>·</i>	~		5001	
				rpool/zfs rpool/zfs/	25 vdisk0	.9G 92.0G 31K ∕ı 25.9G 113G 5.28G	rpool/zfs _	
4)	新しいドメイン(Idom2)を作成します			rpool/zfs/	vdisk0@snap	11.9M - 5.270	3 -	
	primary# Idm add-domain Idom2			1000/218/	VUISKI	TK 52.0G 5.27G		
r	primary# ldm add-vcpu 8 ldom2							
F	primary# ldm add-memory 2g ldom2							
k	primary# ldm add-vnet vnet0 primary-vsw0 ldom2							
R	primary# ldm add-vdiskserverdevice /dev/zvol/dsk/rpool/zfs/vdisk	(1 vol1@	primary-v	ds0				
F	primary# ldm add-vdisk vdisku vol i@primary-vdsu idom2 primary# ldm set-variable auto-boot¥2-true ldom2		primary# ldm lis	t-domain -I I	dom2			
r L	primary# Idm set-variable boot-device=vdisk0 Idom2		Idom2 i	STATE F nactive	8 2	G MEMORY UII	L UPTIME	
<u> </u>	5		'UUID b03104ad-dt	o30-cd37-ae	3f-8c485c1e83a9			
			CONTROL failure-policy	/=ignore				
5)	ldom2 の構成情報を確認します 。		extended-ma DEPENDENCY	apin-space=o	ff			
F	primary# Idm list-domain -I Idom2		master= VARIABLES					
			auto-boot?=	true				
6)	ldom2を起動する前にldom1を停止します。		NETWORK	-vuisku				
4	primary# Idm stop-domain Idom'i		NAME MTU LINKPRO	SERVICE OP	ID	DEVICE MAC	MODE PVID VID	
7)	ldom2 を起動します。		vnet0 DISK	primary-vs	w0 0	00:14:4f:f8:6a:2	2a 1	
A .	primary# Idm bind-domain Idom2		NAME vdisk0	VOLUME vol1@prima	T ry−vds0	OUT ID DEVICE SER 0	VER MPGROUP	
Ą	primary# Idm start-domain Idom2		primon # Ida _ I	iot-de				
4	primary# Idm list-domain	~	NAME	STATE	FLAGS CO	NS VCPU MEMOR	RY UTIL UPTIME	
	primary# telpet localbost 5001		primary Idom 1	active - bound -	n-cv- SP	8 3G 3.9% 46 8 2G	m	
1			ldom2	active -	n 5001	8 2G 14% 2	5s	
(1) Ide	nm2 のシステム再接成	⊥ # ifconfig −a	1					
1)	ldom2の状態を確認します。	lo0: flags=20 inet 13	001000849 <up< td=""><td>LOOPBAC</td><td>K,RUNNING,MU</td><td>JLTICAST,IPv4,VIRT</td><td>UAL> mtu 8232 index</td><td>1</td></up<>	LOOPBAC	K,RUNNING,MU	JLTICAST,IPv4,VIRT	UAL> mtu 8232 index	1
I	Idom2# ifconfig -a	vnet0: flags=	=1000843 <up,i< td=""><td>BROADCAS</td><td>ST,RUNNING,M</td><td>ULTICAST,IPv4> mti</td><td>u 1500 index 2</td><td></td></up,i<>	BROADCAS	ST,RUNNING,M	ULTICAST,IPv4> mti	u 1500 index 2	
3	※以降、オレンジ色の手順はIdom2側での操作を表します。	inet 19 ether (92.168.10.202 0:14:4f:f8:6a:2a	netmask fffi 1	m00 broadcast	192.168.10.255		
	ldom 2# hostnome							
Ļ	uunz# nosliame %idom1とま ことを IP 7ドレフ たどが同一です	# hos	stname 1 -01					
;	x1u01111 CホAF石、IP/FFAなどか同一じ9 。							

	Oracle VM Server fo	r SPARCを使ってみ	タよう(構築・道	〔用手順書〕		作成日	2012年2月	<u> </u>
2) ホスト名やIPア	ドレスを変更する為、Idom2の	システム再構成を行い	います 。					
Idom2# sys-	unconfig							
警告 このプログラム 名前がなく、他 システムに戻し このプログラム	ムは、システムの構成を解閉 也のシステムやネットワーク してしまいます。 ムは、システムの停止も行い	余します。つまり、 7を認識しない "初! います。	期" 状態の					
継続してよろし ・・・	_いですか (y/n) ?y							
{0} ok boot								
3) 再起動後、ログ								
Idom2 consc Password	ole login: root		# ife	onfig -a				
1 4331014.			lo0:	flags=20010008	49 <up,loopback,< td=""><td>RUNNING,MUL</td><td>TICAST,IPv4,VIR</td><td>TUAL> mtu 8232 ir</td></up,loopback,<>	RUNNING,MUL	TICAST,IPv4,VIR	TUAL> mtu 8232 ir
4) IP アドレスを確 認	認します。		vne	inet 127.0.0.1 0: flags=100084	netmask ff000000 3 <up,broadcast< td=""><td>RUNNING,MUL</td><td>_TICAST,IPv4> m</td><td>ıtu 1500 index 2</td></up,broadcast<>	RUNNING,MUL	_TICAST,IPv4> m	ıtu 1500 index 2
laom2# lico	nfig -a			inet 192.168.1	0.203 netmask ffffff	00 broadcast 19	92.168.10.255	
5) <u>ホスト名を確認</u>	します。	# hostname		ether 0.14.4.	5:0a.za			
Idom2# host	tname	Idom2-01						
6)ホストIDを確認	します。		_	_	#	hostid		
Idom2# hos	tid				Ä	180ea9		
フン制御ドメインに「	テロ ドメインの状能を確認しま			primary# ldr	n list-domain			
primary# Idi	m list-domain	.9.	_	NAME primary	STATE FLAGS active -n-cv- S	CONS VCPL P 8 3G	J MEMORY UTIL 0.4% 57m	UPTIME
				Idom1 Idom2	bound s active -n 5	5000 8 2G 001 8 2G	0.1% 2m	
8) Idom1を起動し	<u>、コンソールに接続します。</u>							
prima y# ioi								
	フトリカな夢習し、中古							
Idom1# I	nostid					# hostid		
₩ ldom1 と	しろれる 1 Idom2 のホストIDが異なるこ	とを確認します。				84fa01ea		
				Point ゲストドメイ: ステムディス	ンのホストIDは制行 ンクをコピーしても、	卸ドメインで管 ホストIDが同	「理しているので 」ーになることは	゙、ゲストドメイン0 :ありません。

	Oracle VM Server for SPARCを使ってみよう(構築・運用手順	書)		作成日	2012年2月	
 . 仮想ディスクの応!	 {	primary# ldr	Im list-domain			
)仮想ディスクのファイルシ		NAME	STATE I	FLAGS CON	IS VCPU MEM	ORY UTIL UPTIME
1) ドメインの状態を確認	。 します。	Idom1	active -n- active -n-	5000	3 3G 0.3% 8 2G 0.1%	1h 6m 9m
primary# ldm lig	st-domain	Idom2	active -n-	5001	8 2G 0.1%	12m
※以降、青色の手順	は制御ドメイン側での操作を表します。		primary# Idm li	→ ist-domain -c	o disk Idom1	
2) <u>作成したイメージファ</u>	イルを、仮想ディスクサービスに割当てます。		NAME Idom1			
primary# ldm a	dd-vdiskserverdevice /Ldom1/vdisk_ufs.img vol_img@	@primary-vo	d			
3) 仮想ディスクをldom ⁻			NAME	VOLUME	Т	OUT ID DEVICE SE
primary# ldm a	dd-vdisk vdisk1 vol_img@primary-vds0 ldom1		vdisk0	vol0@prima	ary-vds0 imany-vds0	0 disk@0 primary
4) Idom1に割当ててい	ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー		vdisk1	vol_img@pr	imary-vds0 2	disk@2 primary
primary# Idm li	st-domain -o disk Idom1		# format	1		
J			Searching for dis	ksdone K SELECTIONS	ŝ:	
5)割り当てた仮想:	ディスクにスライスを設定します。(本手順では全領域をc0d2s0に割当	でます)	0. c0d0 <sl /virtual-o</sl 	JN-DiskImage- devices@100/cl	10GB cyl 282 alt 2 ho nannel-devices@200.	d 96 sec 768> ∕disk@0
Idom1# form	12776771768860670(4-3 m CHELMM 6000200-23-	(67)	1. c0d2 <sl< td=""><td>JN-DiskImage- devices@100/cl</td><td>1GB cyl 3493 alt 2 ho hannel-devices@200</td><td>d 1 sec 600> /disk@?</td></sl<>	JN-DiskImage- devices@100/cl	1GB cyl 3493 alt 2 ho hannel-devices@200	d 1 sec 600> /disk@?
			Specify disk (ent ~(省略)~	er its number):	I	ulare 2
6、 ファイルシステノ	* <i>U</i> r = ++1 = -++=		format> p			
Idom1# new	CTFRUDE 9 .		partition> m			
	5/00/1050/000230		Select partitionin 0. Current	ng base: partition table ((original)	
			1. All Free Choose base (en	Hog (ter number) [0]]? 1	
7) ファイルシステム	<u>、をマウントします。</u>		~(省略)~ Do you wish to c	ontinue creatir	ig a new partition	
ldom1# mou	nt -F ufs /dev/dsk/c0d2s0 /mnt		table based on a Free Hog partitic	bove table[yes] on[6]? <mark>0</mark>)? y	
			Enter size of par ~(省略)~	tition '1' [0b, 0d	s, 0.00mb, 0.00gb]: E	inter
			Enter size of par ~(省略)~	tition '7' [0b, 0o	, 0.00mb, 0.00gb]: E	inter
			Okay to make th	is the current p	artition table[yes]?	y
			Ready to label di	sk, continue? y	otes): 🏗 🙇	
			partition> q ~(省略)~			
			format> q			
8) マウント情報を研	<u>進認します。</u>	# dt -n ファイル	システム サイ	(ズ 使用済み	使用可能 容量	マウント先
Idom I # di -n	<	rpool/R	OOT/s10s_u10w 20G	os_17b 4.9G 13G	28% /	
		~(省略	Ă)~ 200	1061/ 120	10/ /mool	
9) マウントしたディ	レクトリにファイル(testfile1)を作成します。	/dev/ds	sk/c0d2s0	360M 1.0M	901M 1% /m	nnt
Idom1# touc	h /mnt/testfile1					
10) 作成したファ1 Idom1# ls /m	、 ルを確認します。	# ls /m				
10)作成したファ <u>・</u> Idom1# Is /n	(ルを確認します。) ntー	# ls /m	ınt und testfile1			
10) 作成したファ ₁ Idom1# Is /n 11) マウントを解除	(ルを確認します。 <u> nnt</u>	# ls /m lost+fou	ınt und testfile1	 		
10)作成したファ ₁ Idom1# Is /n 11)マウントを解除 Idom1# umo	(ארציים) און ארציים) ארציים ארציים ארציים ארציים ארציים ארציים	# ls /m lost+fou	nnt und testfile1			
10) 作成レたファ・ Idom1# Is /r. 11) マウントを解除 Idom1# umo 12) Idom1に割当てた	パルを確認します。 nnt します。 unt /mnt 仮想ディスクを解除します。	# ls /m lost+fou	ınt ıund testfile1			
10) 作成したファ・ Idom1# Is /r 11) マウントを解閲 Idom1# umo 12) Idom1に割当てた primary# Idm re	イルを確認します。 ant にします。 unt /mnt 仮想ディスクを解除します。 Pmove-vdisk vdisk1 Idom1	# Is /m lost+fo	ınt und testfile1			
10)作成したファ・ Idom1# Is /r 11)マウントを解除 Idom1# umo 12) Idom1に割当てた primary# Idm re 13)解除されたディスグ	イルを確認します。 ant - とます。 unt /mnt 仮想ディスクを解除します。 :move-vdisk vdisk1 ldom1 /をldom2に割当てます。	# Is /m lost+for	und testfile1			
 10)作成レたファ・ Idom1# ls /r 11)マウントを解除 Idom1# umc 12)Idom1に割当てた primary# Idm re 13)解除されたディスグ primary# Idm ac 	<pre>パルを確認します。 nnt nnt Lます。 unt /mnt 仮想ディスクを解除します。 move-vdisk vdisk1 ldom1 /をldom2に割当てます。 ld-vdisk vdisk1 vol_img@primary-vds0 ldom2</pre>	# Is /m lost+for	int und testfile1			
10)作成したファ・ Idom1# Is /r 11)マウントを解問 Idom1# umc 12) Idom1に割当てた primary# Idm re 13)解除されたディスグ primary# Idm au 14) Idom2に割当てた	//と確認します。 ant ant clast。 unt /mnt 仮想ディスクを解除します。 emove-vdisk vdisk1 ldom1 /をldom2に割当てます。 dd-vdisk vdisk1 vol_img@primary-vds0 ldom2 こくてた時刻します	primary# ldm li NAME	int iurud testfile1 iist-domain -o di			
10)作成したファ・ Idom1# ls /r 11)マウントを解除 Idom1# umc 12) Idom1に割当てた primary# Idm re 13)解除されたディスジ primary# Idm ac 14) Idom2に割当てたた primary# Idm lid	/ルを確認します。 Annt List Unt /mnt (仮想ディスクを解除します。 Prove-vdisk vdisk1 ldom1 /をldom2に割当てます。 dd-vdisk vdisk1 vol_img@primary-vds0 ldom2 Frスクを確認します。 t-domain -o disk ldom2	primary# Idm lin NAME Idom2	int iurud testfile1			
10)作成したファ・ Idom1# ls /r 11)マウントを解除 Idom1# umc 12) Idom1に割当てた primary# Idm re 13)解除されたディスグ primary# Idm av 14) Idom2に割当てた primary# Idm list	Immt - Immt - <td< td=""><td>primary# ldm li NAME ldom2 DISK NAME</td><td>int rund testfile1</td><td></td><td>TOUT ID DEVIC</td><td>e server mp</td></td<>	primary# ldm li NAME ldom2 DISK NAME	int rund testfile1		TOUT ID DEVIC	e server mp
10)作成したファ・ Idom1# ls /r 11)マウントを解除 Idom1# umc 12) Idom1に割当てた primary# Idm re 13)解除されたディス? primary# Idm au 14) Idom2に割当てた primary# Idm list	//シを確認します。 ant - iします。 unt /mnt 仮想ディスクを解除します。 move-vdisk vdisk1 ldom1 /をldom2に割当てます。 dd-vdisk vdisk1 vol_img@primary-vds0 ldom2 Fィスクを確認します。 st-domain -o disk ldom2	primary# ldm li lost+fou NAME ldom2 DISK NAME vdisk0 vdisk1	Int Int Int Iist-domain -o di VOLUME vol1@primary vol_img@prim		TOUT ID DEVIC 0 disk@0 pi 1 disk@1 p	:E SERVER MP rimary rimary
 10)作成したファ・ Idom1# ls /r 11)マウントを解除 Idom1# umc 12)Idom1に割当てた primary# Idm re 13)解除されたディス: primary# Idm au 14)Idom2に割当てた: primary# Idm lis 15)別のターミナル 	<pre>パルを確認します。 ant kLます。 unt /mnt fg想ディスクを解除します。 move-vdisk vdisk1 ldom1 2をldom2に割当てます。 dd-vdisk vdisk1 vol_img@primary-vds0 ldom2 Frスクを確認します。 it-domain -o disk ldom2 ·画面を開いて、制御ドメインにtelnet接続し、ldom2のコンソールに接 </pre>	primary# ldm li NAME ldom2 DISK NAME vdisk0 vdisk1 i級Uます。	Iist-domain -o di VOLUME vol1@primary vol_img@prim		TOUT ID DEVIC 0 disk@0 p 1 disk@1 p	`E SERVER MP rimary yrimary
10)作成したファ・ Idom1# ls /r 11)マウントを解除 Idom1# umc 12)Idom1に割当てた primary# Idm ra 13)解除されたディス: primary# Idm a 14)Idom2に割当てた: primary# Idm lis 15)別のターミナル primary# telr	<pre>パルを確認します。 nnt List List List List List List List Li</pre>	primary# ldm li NAME Idom2 DISK NAME vdisk0 vdisk1 tkLET .	ist-domain -o di VOLUME vol1@primary vol_img@prim.	-vds0 ary-vds0	TOUT ID DEVIC 0 disk@0 pi 1 disk@1 p	ie Server MP rimary yrimary

16)追加された仮想ディスクを確認します。	# format Searching for disksdone
Idom2# format	AVAILABLE DISK SELECTIONS: 0. c0d0 <sun-diskimage-20gb 2="" 566="" 768="" 96="" alt="" cyl="" hd="" sec=""></sun-diskimage-20gb>
※ 仮想ディスクのスライスの設定を確認し、「Ctrl + C」で停止します。	/virtual-devices@100/channel-devices@200/disk@0 1. c0d1 <sun-diskimage-1gb 1="" 2="" 3493="" 600="" alt="" cyl="" hd="" sec=""></sun-diskimage-1gb>
	/virtual-devices@100/channel-devices@200/disk@1
Idom2# mount -F uts /dev/dsk/c0d1s0 /mnt	Specify disk (enter its number): 【 ~(省略)~
18) Idom1で作成したファイルを確認します。	format> p ~(省略)~
Idom2# Is /mnt	partition> p ~(省略)~
19)環境変数を設定します。	Part Tag Flag Cylinders Size Blocks 0 unassigned wm 0 - 3492 1023.34MB (3493/0/0)2095800
Idom2# TERM=vt100 ; export TERM	1 unassigned wm 0 0 (0/0/0) 0 2 backup wm 0 – 3492 1023.34MB (3493/0/0)2095800
20) 作成されたファイルを編集します	3 unassigned wm 0 0 (0/0/0) 0 4 unassigned wm 0 0 (0/0/0) 0
Idom2# vi /mnt/testfile1	5 unassigned wm 0 0 (0/0/0) 0 6 unassigned wm 0 0 (0/0/0) 0
※任意の文字を入力して、保存します。	/ unassigned wm 0 0 (0/0/0) 0
This is testfile1.	
ldom2# cat /mnt/testfile1	
22) マンノでで解除します。 Idom2# umount /mnt	
23)仮想ディスクを削除します。	
primary# iam remove-vaisk väisk i iaom2	
24)仮想ディスクサーバデバイスを削除します。	
primary# ldm remove-vdsdev vol_img@primary-vds0	
	nriman# kim list-domain -o disk kiam1 kiam2
	NAME
	ldom1
25) ゲストドメインに割り当てた仮想ディスクの情報を確認します。	Idom1 DISK NAME VOLUME TOUT ID DEVICE SE
25) ゲストドメインに割り当てた仮想ディスクの情報を確認します。 primary# ldm list-domain -o disk ldom1 ldom2	Idom 1 DISK NAME VOLUME TOUT ID DEVICE SE MPGROUP vdisk0 vol0@primary~vds0 0 disk@0 primary
25) ゲストドメインに割り当てた仮想ディスクの情報を確認します。 primary# ldm list-domain -o disk ldom1 ldom2	Idom1 DISK NAME VOLUME TOUT ID DEVICE SE MPGROUP vdisk0 vol0@primary-vds0 0 disk@0 primary vdiskio vol_iso@primary-vds0 1 disk@1 primary
25) ゲストドメインに割り当てた仮想ディスクの情報を確認します。 primary# Idm list-domain -o disk Idom1 Idom2 仮想ディスクの共用 1) イメージファイルをread-only設定で仮想ディスクサーバデバイスに登録します。	Idom1 DISK NAME VOLUME TOUT ID DEVICE SE MGGROUP vdisk0 vol0@primary-vds0 0 disk@0 primary vdisk.jso vol_iso@primary-vds0 1 disk@1 primary
25) ゲストドメインに割り当てた仮想ディスクの情報を確認します。 primary# Idm list-domain -o disk Idom1 Idom2 仮想ディスクの共用 1) イメージファイルをread-only設定で仮想ディスクサーバデバイスに登録します。 primary# Idm add-vdsdev options=ro /Ldom1/vdisk_ufs.img vol_img1@pr	rimary-vds0 MFGR0LP VolUME TOUT ID DEVICE SE Volü@primary-vds0 0 disk@0 primary vdisk.jso volj.so@primary-vds0 1 disk@1 primary Vdisk@1 primar
25) ゲストドメインに割り当てた仮想ディスクの情報を確認します。 primary# Idm list-domain -o disk Idom1 Idom2 仮想ディスクの共用 1) イメージファイルをread-only設定で仮想ディスクサーバデバイスに登録します。 primary# Idm add-vdsdev options=ro /Ldom1/vdisk_ufs.img vol_img1@pr primary# Idm add-vdsdev options=ro /Ldom1/vdisk_ufs.img vol_img2@pr	rimary-vds0 NAME VOLUME TOUT ID DEVICE SE NPGROUP vdisk.0 vol0@primary-vds0 0 disk@0 primary vdisk.iso vol_iso@primary-vds0 1 disk@1 primary NAME Idom2 DISK NAME VOLUME TOUT ID DEVICE SERVER MPGROUP vdisk.0 vol1@primary-vds0 0 disk@0 primarydisk@0 p
 25) ゲストドメインに割り当てた仮想ディスクの情報を確認します。 primary# Idm list-domain -o disk Idom1 Idom2 仮想ディスクの共用 1) イメージファイルをread-only設定で仮想ディスクサーバデバイスに登録します。 primary# Idm add-vdsdev options=ro /Ldom1/vdisk_ufs.img vol_img1@pr primary# Idm add-vdsdev options=ro /Ldom1/vdisk_ufs.img vol_img2@pr 作成した仮想ディスクサーバデバイスをIdom1,Idom2に割当てます。 (####################################	Idom I Idom I DISK NAME VOLUME TOUT ID DEVICE SE MPGROUP vdisk/so vol@eprimary-vds0 0 disk@0 primary vdisk/so vol_iso@primary-vds0 1 disk@1 primary NAME Idom2 DISK NAME VOLUME TOUT ID DEVICE SERVER MPGROUP vdisk0 vol1@primary-vds0 0 disk@0 primarydisk@0 p
 25) ゲストドメインに割り当てた仮想ディスクの情報を確認します。 primary# Idm list-domain -o disk Idom1 Idom2 仮想ディスクの共用 1) イメージファイルをread-only設定で仮想ディスクサーバデバイスに登録します。 primary# Idm add-vdsdev options=ro /Ldom1/vdisk_ufs.img vol_img1@pr primary# Idm add-vdsdev options=ro /Ldom1/vdisk_ufs.img vol_img2@pr 1 作成した仮想ディスクサーバデバイスをIdom1,Idom2に割当でます。 primary# Idm add-vdisk vdisk1 vol_img1@primary-vds0 Idom1 	Idom 1 DISK NAME VOLUME TOUT ID DEVICE SE NAME Vol0@primary-vds0 0 disk@0 primary vdisk0 vol0@primary-vds0 1 disk@1 primary vdisk1 primary-vds0 DISK NAME VOLUME TOUT ID DEVICE SERVER MAME VOLUME TOUT ID DEVICE SERVER
25) ゲストドメインに割り当てた仮想ディスクの情報を確認します。 primary# ldm list-domain -o disk ldom1 ldom2 仮想ディスクの共用 1) イメージファイルをread-only設定で仮想ディスクサーバデバイスに登録します。 primary# ldm add-vdsdev options=ro /Ldom1/vdisk_ufs.img vol_img1@pr primary# ldm add-vdsdev options=ro /Ldom1/vdisk_ufs.img vol_img2@pr 2) 作成した仮想ディスクサーバデバイスをidom1,ldom2に割当てます。 primary# ldm add-vdisk vdisk1 vol_img1@primary-vds0 ldom1 primary# ldm add-vdisk vdisk1 vol_img2@primary-vds0 ldom2	Idomi Idomi DISK NAME VOLUME TOUT ID DEVICE SE NPGROUP vdisk.0 vol0@primary~vds0 0 disk@0 primary vdisk.iso vol.iso@primary~vds0 1 disk@1 primary vdisk.iso vol.iso@primary~vds0 1 disk@1 primary NAME Idom2 DISK NAME VOLUME TOUT ID DEVICE SERVER MPGROUP vdisk0 vol1@primary~vds0 0 disk@0 primarydisk@0 p primary# Idm list-domain ~o disk NAME primary# Idm list-domain ~o disk
 25) ゲストドメインに割り当てた仮想ディスクの情報を確認します。 primary# ldm list-domain -o disk ldom1 ldom2 仮想ディスクの共用 イメージファイルをread-only設定で仮想ディスクサーバデバイスに登録します。 primary# ldm add-vdsdev options=ro /Ldom1/vdisk_ufs.img vol_img1@priprimary# ldm add-vdsdev options=ro /Ldom1/vdisk_ufs.img vol_img2@pr 2) 作成した仮想ディスクサーバデバイスをldom1,ldom2に割当てます。 primary# ldm add-vdisk vdisk1 vol_img1@primary-vds0 ldom1 primary# ldm add-vdisk vdisk1 vol_img2@primary-vds0 ldom2 3) 割当てた仮想ディスクを確認します。 primary# ldm list domain_o_disk	vdisků voluše Tour ID DEVICE SE NAME VOLUME TOUT ID DEVICE SE NAME volušků vol0@primary-vds0 0 disk@0 primary vdisků volušc@primary-vds0 1 disk@1 primary NAME Idom2 DISK NAME VOLUME TOUT ID DEVICE SERVER MPGROUP vdisků vol1@primary-vds0 0 disk@0 primarydisk@0 p vdisků vol1@primary-vds0 0 disk@0 primarydisk@0 p primary# Idm list-domain -o disk NAME primary-vds0 VDS NAME VOLUME OPTIONS MPGROUP DEVICE primary-vds0 vol0 //dev/zvol/dsk/rpool/zfs/vdisl
25) ゲストドメインに割り当てた仮想ディスクの情報を確認します。 primary# ldm list-domain -o disk ldom1 ldom2 仮想ディスクの共用 1) イメージファイルをread-only設定で仮想ディスクサーバデバイスに登録します。 primary# ldm add-vdsdev options=ro /Ldom1/vdisk_ufs.img vol_img1@pr primary# ldm add-vdsdev options=ro /Ldom1/vdisk_ufs.img vol_img2@pr 2) 作成した仮想ディスクサーバデバイスをIdom1/ldom2に割当でます。 primary# ldm add-vdisk vdisk1 vol_img1@primary-vds0 ldom1 primary# ldm add-vdisk vdisk1 vol_img2@primary-vds0 ldom2 3) 割当てた仮想ディスクを確認します。 primary# ldm list-domain -o disk	vdisk. VolUME TOUT ID DEVICE SE NAME VOLUME TOUT ID DEVICE SE NAME VolU@primary-vds0 0 disk@0 primary vdisk.jso volj:so@primary-vds0 1 disk@1 primary vdisk.jso volj:so@primary-vds0 1 disk@1 primary NAME VOLUME TOUT ID DEVICE SERVER MGROUP vdisk0 vol1@primary-vds0 0 disk@0 primarydisk@0 p vdisk0 vol1@primary-vds0 0 disk@0 primarydisk0 p vdisk0 vol1@primary-vds0 vol1@primarydisk0 p vdisk0 vol1@primary-vds0 0 disk@0 primarydisk0 p vdisk0 vol1@primary-vds0 vol0/dsk/rpool/zfs/vdisk1
25) ゲストドメインに割り当てた仮想ディスクの情報を確認します。 primary# ldm list-domain -o disk ldom1 ldom2 仮想ディスクの共用 1) イメージファイルをread-only酸定で仮想ディスクサーバデバイスに登録します。 primary# ldm add-vdsdev options=ro /Ldom1/vdisk_ufs.img vol_img1@pr primary# ldm add-vdsdev options=ro /Ldom1/vdisk_ufs.img vol_img2@pr 2) 作成した仮想ディスクサーバデバイスをidom1,ldom2に割当てます。 primary# ldm add-vdisk vdisk1 vol_img1@primary-vds0 ldom1 primary# ldm add-vdisk vdisk1 vol_img2@primary-vds0 ldom2 3) 割当てた仮想ディスクを確認します。 primary# ldm list-domain -o disk 4) ldom1で仮想ディスクの内容を確認します。	vdisků volůği primary-vdsů 0 diskélů primary vdisků volůği primary-vdsů 0 diskélů primary vdiský so voli jsoë primary-vdsů 1 diskél primary vdiský so voli jsoë primary-vdsů 1 diskél primary vdiský so voli jsoë primary-vdsů 1 diskél primary NAME ldom2 DISK NAME VOLUME TOUT ID DEVICE SERVER MPGROUP vdisků vol1@primary-vdsů 0 diskělů primarydiskělů p vdisků vol1@primary-vdsů 0 diskělů primarydiskělů p primary/# Idm list-domain -o disk NAME primary-vdsů volů PTIONS MPGROUP DEVICE vol jso ro //LSO/Sol10u10iso vol 1 //dev/zvol/disk/rpsol/zfs/vdisk1 vol jmg2 ro //Ldom1/vdisk,ufsimg
 25) ゲストドメインに割り当てた仮想ディスクの情報を確認します。 primary# ldm list-domain -o disk ldom1 ldom2 仮想ディスクの共用 1) イメージファイルをread-only設定で仮想ディスクサーバデバイスに登録します。 primary# ldm add-vdsdev options=ro /Ldom1/vdisk_ufs.img vol_img1@pr primary# ldm add-vdsdev options=ro /Ldom1/vdisk_ufs.img vol_img2@pr 2) 作成した仮想ディスクサーバデバイスをldom1,ldom2に割当てます。 primary# ldm add-vdisk vdisk1 vol_img1@primary-vds0 ldom1 primary# ldm add-vdisk vdisk1 vol_img2@primary-vds0 ldom2 3) 割当てた仮想ディスクを確認します。 primary# ldm list-domain -o disk 4) ldom1で仮想ディスクの内容を確認します。 ldom1# format ldom1# format ldom1# format 	Volume NAME Volume Vdisk0 Volume Vdisk0 Volume Vdisk0 Volume Vdisk0 Volume
25) ゲストドメインに割り当てた仮想ディスクの情報を確認します。 primary# ldm list-domain -o disk ldom1 ldom2 仮想ディスクの共用 1) イメージファイルをread-only設定で仮想ディスクサーバデバイスに登録します。 primary# ldm add-vdsdev options=ro /Ldom1/vdisk_ufs.img vol_img1@pr primary# ldm add-vdsdev options=ro /Ldom1/vdisk_ufs.img vol_img2@pr 2) 作成した仮想ディスクサーバデバイスをldom1,ldom2に割当でます。 primary# ldm add-vdisk vdisk1 vol_img1@primary-vds0 ldom1 primary# ldm add-vdisk vdisk1 vol_img2@primary-vds0 ldom2 3) 割当てた仮想ディスクを確認します。 ldom1で仮想ディスクの内容を確認します。 ldom1# format ldom1# format ldom1# format ldom1# format ldom1# ls /mnt	Idom I DISK NAME VOLUME TOUT ID DEVICE SEI MPGROUP vdisk iso vol0iso@primary-vds0 0 disk@0 primary vdisk iso vol0iso@primary-vds0 1 disk@1 primary vdisk iso vol0iso@primary-vds0 1 disk@1 primary Idom2 DISK NAME Idom2 DISK NAME primary-vds0 Vdisk 0 vol1@primary-vds0 0 disk@0 primarydisk@0 pr vdisk0 vol1@primary-vds0 0 disk@0 primarydisk@0 pr vdisk0 vol1@primary-vds0 0 disk@0 primarydisk@0 pr VDS NAME VDI VOLUME OPTIONS MPGROUP DEVICE vol iso ro /Ldom1/vdisk.ufs.img vol.img1 ro /Ldom1/vdisk.ufs.img vol.img2 ro /Ldom1/vdisk.ufs.img NAME Idom1 DISK NAME VOLUME TOUT ID DEVICE SERVED + 1000
25) ゲストドメインに割り当てた仮想ディスクの情報を確認します。 primary# ldm list-domain -o disk ldom1 ldom2 仮想ディスクの共用 1) イメージファイルをread-only酸定で仮想ディスクサーバデバイスに登録します。 primary# ldm add-vdsdev options=ro /Ldom1/vdisk_ufs.img vol_img1@pr primary# ldm add-vdsdev options=ro /Ldom1/vdisk_ufs.img vol_img2@pr 2) 作成した仮想ディスクサーバデバイスをldom1,ldom2に割当てます。 primary# ldm add-vdisk vdisk1 vol_img1@primary-vds0 ldom1 primary# ldm add-vdisk vdisk1 vol_img2@primary-vds0 ldom2 3) 割当てた仮想ディスクを確認します。 primary# ldm list-domain -o disk 4) ldom1で仮想ディスクの内容を確認します。 Idom1# format ldom1# format ldom1# format ldom1# ls /mnt ldom1# TERM=vt100 ; export TERM	NAME VOLUME TOUT ID DEVICE SE NAME VOLUME TOUT ID DEVICE SE Vdisk.iso vol.iso@primary-vds0 0 disk@1 primary vdisk.iso vol.iso@primary-vds0 1 disk@1 primary NAME NAME NAME NAME Idom2 DISK NAME VOLUME TOUT ID DEVICE SERVER MPGROUP vdisk0 vol1@primary-vds0 0 disk@0 primarydisk@0 p vdisk0 vol1@primary-vds0 0 disk@0 primarydisk@0 p VDS NAME VOLUME TOUT ID DEVICE vol.jso ro /Ldom1/vdisk.ifsing vol.jso vol.jsg2 ro /Ldom1/vdisk.ufsing NAME VOLUME TOUT ID DEVICE Vol.jsg2 ro /Ldom1/vdisk.ufsing NAME VOLUME TOUT ID DEVICE SERVER MME VOLUME TOUT ID DEVICE SERVER MAME VOLUME TOUT ID DEVICE SERVER
25) ゲストドメインに割り当てた仮想ディスクの情報を確認します。 primary# ldm list-domain -o disk ldom1 ldom2 仮想ディスクの共用 1) イメージファイルをread-only設定で仮想ディスクサーバデバイスに登録します。 primary# ldm add-vdsdev options=ro /Ldom1/vdisk_ufs.img vol_img1@pr primary# ldm add-vdsdev options=ro /Ldom1/vdisk_ufs.img vol_img2@pr 2) 作成した仮想ディスクサーバデバイスをidom1,ldom2に割当てます。 primary# ldm add-vdisk vdisk1 vol_img1@primary-vds0 ldom1 primary# ldm add-vdisk vdisk1 vol_img2@primary-vds0 ldom2 3) 割当てた仮想ディスクの内容を確認します。 Idom1で仮想ディスクの内容を確認します。 Idom1# format Idom1# format Idom1# Is /mnt Idom1# TERM=vt100 ; export TERM Idom1# vi /mnt/testfile1	NAME VOLUME TOUT ID DEVICE SET NAME VOLUME TOUT ID DEVICE SET Vdiskis voliss@primary~vds0 0 disk@1 primary Vdiskis voliss@primary~vds0 1 disk@1 primary NAME Idom2 DISK NAME NAME VOLUME TOUT ID DEVICE SERVER MPGROUP vdisk0 volis@primary~vds0 0 disk@0 primarydisk@0 primarydisk@0 primarydisk@0 primarydisk@0 primary VDS NAME VOLUME TOUT ID DEVICE SERVER MPGROUP vdisk0 voli@primary~vds0 0 disk@0 primarydisk@0 primary VDS NAME VOLUME OPTIONS MPGROUP DEVICE primary VDS voliso ro //S0/Sol100.010.010.010.010.010.010.010.010.010
25) ゲストドメインに割り当てた仮想ディスクの情報を確認します。 primary# ldm list-domain -o disk ldom1 ldom2 仮想ディスクの共用 1) イメージファイルをread-only設定で仮想ディスクサーバデバイスに登録します。 primary# ldm add-vdsdev options=ro /Ldom1/vdisk_ufs.img vol_img1@pr primary# ldm add-vdsdev options=ro /Ldom1/vdisk_ufs.img vol_img2@pr 2) 作成した仮想ディスクサーバデバイスをIdom1,Idom2に割当てます。 primary# ldm add-vdisk vdisk1 vol_img1@primary-vds0 ldom1 primary# ldm add-vdisk vdisk1 vol_img2@primary-vds0 ldom2 3) 割当てた仮想ディスクの内容を確認します。 Idom1# format Idom1# format Idom1# format Idom1# TERM=vt100; export TERM Idom1# vi /mnt/testfile1 5) Idom2で仮想ディスクの内容を確認します。	NAME vdisk0 vol0@primary-vds0 0 disk@0 primary vdisk0 vol0@primary-vds0 0 disk@0 primary vdiskis vol_iso@primary-vds0 1 disk@1 primary NAME idom2 DISK NAME VOLUME TOUT ID DEVICE SERVER MPGROUP vdisk0 vol1@primary-vds0 0 disk@0 primarydisk@0 pr vdisk0 vol1@primary-vds0 0 disk@0 primarydisk@0 pr primary#Idm list-domain -o disk NAME primary VDS NAME VOLUME OPTIONS MPGROUP DEVICE primary-vds0 vol0 //dev/zvol/dsk/rpool/zfs/vdisk1 vol iso ro //SO/Sol101/0iso vol iso ro //Ldom1/vdisk.ufs.img vol.img2 ro //Ldom1/vdisk.ufs.img NAME Idom1 DISK NAME VOLUME TOUT ID DEVICE SERVER MPGR vdisk0 vol0@primary-vds0 0 disk@0 primary vdisk1 vol0@primary-vds0 1 disk@1 primary vdisk1 voljiso@primary-vds0 1 disk@1 primary vdisk1 voljiso@primary-vds0 2 disk@2 primary NAME Idom2
25) ゲストドメインに割り当てた仮想ディスクの情報を確認します。 primary# ldm list-domain -o disk ldom1 ldom2 仮想ディスクの共用 1) イメージファイルをread-only設定で仮想ディスクサーバデバイスに登録します。 primary# ldm add-vdsdev options=ro /Ldom1/vdisk_ufs.img vol_img1@pr primary# ldm add-vdsdev options=ro /Ldom1/vdisk_ufs.img vol_img2@pr 2) 作成した仮想ディスクサーバデバイスをldom1,ldom2に割当てます。 primary# ldm add-vdisk vdisk1 vol_img1@primary-vds0 ldom1 primary# ldm add-vdisk vdisk1 vol_img2@primary-vds0 ldom2 3) 割当てた仮想ディスクを確認します。 primary# ldm list-domain -o disk 4) ldom1で仮想ディスクの内容を確認します。 ldom1# format ldom1# format ldom1# farmat ldom1# is /mnt ldom1# trafk=vt100; export TERM ldom2# format	NAME VOLUME TOUT ID DEVICE SE NAME VOLUME TOUT ID DEVICE SE vdisk.iso vol.iso@primary-vds0 0 disk@0 primary vdisk.iso vol.iso@primary-vds0 1 disk@1 primary NAME Idom2 DISK NAME NAME VOLUME TOUT ID DEVICE SERVER MPGROUP vdisk.0 vol.iso@primary-vds0 0 disk@0 primarydisk@0 p vdisk.0 vol.iso VolUME TOUT ID DEVICE SERVER MPGROUP vdisk0 volI@primary-vds0 0 disk@0 primarydisk@0 p VDS NAME VOLUME OPTIONS MPGROUP DEVICE vol.iso ro //S0/Sol10u10iso vol.iso vol.iso vol.igag2 ro //Ldom1/vdisk.ufs.img vol.img1 ro Vol.igag2 ro /Ldom1/vdisk.ufs.img VOLIONI /vdisk.ufs.img vdisk0 vol.iso@primary-vds0 1 disk@1 primary vdisk0 vol.iso@primary-vds0 1 disk@2 primary vdisk0 vol.iso@primary-vds0 1 disk@2 primary vdisk1 vol.iso@primary-vds0 1 disk@2 primary vdisk1 vol.iso@primary-vds0 1<
25) ゲストドメインに割り当てた仮想ディスクの情報を確認します。 primary# ldm list-domain -o disk ldom1 ldom2 仮想ディスクの共用 1) イメージファイルをread-only設定で仮想ディスクサーバデバイスに登録します。 primary# ldm add-vdsdev options=ro /Ldom1/vdisk_ufs.img vol_img1@pr primary# ldm add-vdsdev options=ro /Ldom1/vdisk_ufs.img vol_img2@pr 2) 作成した仮想ディスクサーバデバイスをidom1,idom2に割当てます。 primary# ldm add-vdisk vdisk1 vol_img1@primary-vds0 ldom1 primary# ldm add-vdisk vdisk1 vol_img2@primary-vds0 ldom2 3) 割当てた仮想ディスクを確認します。 primary# ldm list-domain -o disk 4) ldom1で仮想ディスクの内容を確認します。 Idom1# format ldom1# format ldom1# is /mnt ldom1# is /mnt ldom1# is /mnt ldom1# is /mnt ldom1# teRM=vt100 ; export TERM ldom2# format ldom2# ls /mnt	NAME VOLUME TOUT ID DEVICE SE NAME VOLUME TOUT ID DEVICE SE Vdisk0 voljiso@primary~vds0 0 disk@ primary Vdiskiso voljiso@primary~vds0 1 disk@ primary NAME NAME NAME NAME Idom2 DISK NAME VOLUME TOUT ID DEVICE SERVER MPGROUP vdisk0 voll@primary~vds0 0 disk@ primarydisk@ p VDS NAME VOLUME TOUT ID DEVICE Primary# Idm list-domain -o disk NAME VOLUME OTIONS MPGROUP VDS VOLUME OPTIONS MPGROUP DEVICE voljiso ro /ISO/Sol10u10iso voljiso voljing1 ro /Idom1/vdisk.dis.dis.mg Volum2 ro /Ldom1/vdisk.dis.dis.mg NAME VOLUME TOUT ID DEVICE SERVER Vdisk0 vol@primary~vds0 1 disk@ primary vdisk1 vol@primary~vds0 2 disk@ prim
25) ゲストドメインに割り当てた仮想ディスクの情報を確認します。 primary# ldm list-domain -o disk ldom1 ldom2 仮想ディスクの共用 1) イメージファイルをread-only設定で仮想ディスクサーバデバイスに登録します。 primary# ldm add-vdsdev options=ro /Ldom1/vdisk_ufs.img vol_img1@pr primary# ldm add-vdsdev options=ro /Ldom1/vdisk_ufs.img vol_img2@pr 2) 作成した仮想ディスクサーバデバイスをidom1,ldom2に割当てます。 primary# ldm add-vdisk vdisk1 vol_img1@primary-vds0 ldom1 primary# ldm add-vdisk vdisk1 vol_img2@primary-vds0 ldom2 3) 割当てた仮想ディスクの内容を確認します。 Idom1 で仮想ディスクの内容を確認します。 Idom1 # format Idom1 # TERM=vt100 ; export TERM Idom1 # vi /mnt/testfile1 5) Idom2 で仮想ディスクの内容を確認します。 Idom2 # format Idom2 # is /mnt Idom2 # vi /mnt/testfile1	NAME Volume Vdisků volůšeprimary-vdsů 0 diskélů primary vdisků volůšeprimary-vdsů 0 diskélů primary vdisků so voljse@primary-vdsů 1 diskél primary NAME Idom2 DISK NAME VOLUME VDUME TOUT ID DEVICE SERVER MPGROUP vdisků voll@primary-vdsů 0 diskélů primarydiskělů p vdisků voll@primary-vdsů 0 diskélů primarydiskělů p vdisků voll@primary-vdsů 0 diskélů primarydiskělů p vdisků voll@primary-vdsů 0 diskélů primarydiskělů voljse ro voljse ro voljm zeve NAME voljm zeve voljse ro voljm zeve voljse ro voljm zeve voljm zeve volj
25) ゲストドメインに割り当てた仮想ディスクの情報を確認します。 primary# ldm list-domain -o disk ldom1 ldom2 仮想ディスクの共用 1) イメージファイルをread-only酸定で仮想ディスクサーバデバイスに登録します。 primary# ldm add-vdsdev options=ro /Ldom1/vdisk_ufs.img vol_img1@primary# ldm add-vdsdev options=ro /Ldom1/vdisk_ufs.img vol_img2@primary# ldm add-vdisk vdisk1 vol_img1@primary-vds0 ldom1 primary# ldm add-vdisk vdisk1 vol_img1@primary-vds0 ldom1 primary# ldm add-vdisk vdisk1 vol_img2@primary-vds0 ldom2 3) 割当てた仮想ディスクを確認します。 primary# ldm list-domain -o disk 4) ldom1で仮想ディスクの内容を確認します。 Idom1# format Idom1# format Idom1# format Idom1# format Idom1# vi /mnt/testfile1 5) Idom2で仮想ディスクの内容を確認します。 Idom2# format Idom2# is /mnt Idom2# vi /mnt/testfile1	NAME Vol. Vol. Vol. Vol. Vol. Vol. Vol. Vol.
25) ゲストドメインに割り当てた仮想ディスクの情報を確認します。 primary# ldm list-domain -o disk ldom1 ldom2 (仮想ディスクの共用 1) イメージファイルをread-only設定で仮想ディスクサーバデバイスに登録します。 primary# ldm add-vdsdev options=ro /Ldom1/vdisk_ufs.img vol_img1@primary# ldm add-vdsdev options=ro /Ldom1/vdisk_ufs.img vol_img2@primary# ldm add-vdisk vdisk1 vol_img1@primary-vds0 ldom1 primary# ldm add-vdisk vdisk1 vol_img1@primary-vds0 ldom1 primary# ldm add-vdisk vdisk1 vol_img2@primary-vds0 ldom2 3) 割当てた仮想ディスクを確認します。 primary# ldm list-domain -o disk 4) ldom1で仮想ディスクの内容を確認します。 Idom1# format ldom1# format ldom1# format ldom1# rERM=vt100; export TERM ldom2# format ldom2# withtestfile1 5) Idom2# format ldom2# vithtestfile1 6) <u>各ドメインでマウントを解除します</u> 。	NAME VOLUME Voliski volüğprimary-vds0 Vdisk0 volüğprimary-vds0 Vdisk0 volüğprimary-vds0 NAME Idom2 DSK NAME VOLUME V
25) ゲストドメインに割り当てた仮想ディスクの情報を確認します。 primary# ldm list-domain -o disk ldom1 ldom2 仮想ディスクの共用 1) イメージファイルをread-only設定で仮想ディスクサーバデバイスに登録します。 primary# ldm add-vdsdev options=ro /Ldom1/vdisk_ufs.img vol_img1@priprimary# ldm add-vdsdev options=ro /Ldom1/vdisk_ufs.img vol_img2@pr 2) 作成した仮想ディスクサーバデバイスをldom1,ldom2に割当てます。 primary# ldm add-vdisk vdisk1 vol_img1@primary-vds0 ldom1 primary# ldm add-vdisk vdisk1 vol_img2@primary-vds0 ldom2 3) 割当てた仮想ディスクを確認します。 primary# ldm list-domain -o disk 4) ldom1で仮想ディスクの内容を確認します。 Idom1# format ldom1# format ldom1# format ldom1# teRM=vt100 ; export TERM ldom2# format ldom2# format ldom2# format ldom2# format ldom2# format ldom2# is /mnt ldom2# vi /mnt/testfile1	NAME VOLUME Vdisků volůšeprimary-vdsů 0 diskélů primary vdiskí so voljsoëprimary-vdsů 0 diskélů primary NAME Idom2 DISK NAME VOLUME Vdisků volume TOUT ID DEVICE SERVER MPGROUP vdisků voli®primary-vdsů 0 diskélů primarydiskělů pri MPGROUP vdisků voli®primary-vdsů 0 diskélů primarydiskělů pri Primaryť Idm list-domain -o disk NAME Primary VDS NAME VOLUME

7)仮想ディスクと仮想ディスクサーバデバイスを削除します。	primary# Idm list−domain −o disk NAME
primary# ldm remove-vdisk vdisk1 ldom1	primary
primary# Idm remove-vdisk vdisk1 Idom2	NAME VOLUME OPTIONS MPGROUP DEVIC
primary# ldm remove-vdsdev vol_img1@primary-vds0	primary-vds0 vol0 /dev/zvol/dsk/rpo vol.iso ro /ISO/Sol10u10.iso
primary# ldm remove-vdsdev vol_img2@primary-vds0	vol1 /dev/zvol/dsk/rpool/z
8) ディスク情報を確認します。	NAME Idom1 DISK
primary# Idm list-domain -o disk	NAME VOLUME TOUT ID DEVICE SERVER
	vdiskU volU@primary-vdsU U disk@U primary vdisk_iso vol_iso@primary-vds0 1 disk@1 primary
	NAME Idom2
	DISK NAME VOLUME TOUT ID DEVICE SERVER
)制御ドメイン、ゲストドメイン間の物理ディスクの共用 1)catadoでマライフ設定します	Vaisko Voi eprinary-Vaso o aiskeo primary
primary# format	primary# format Searching for disksdone AVAII ABI E DISK SELECTIONS:
※ 全てのディスク領域をc1t1d0s0スライスに割当てます。 本章の「(1) - 5)」の手順を参考にしてください。	0. c1t0dl <\$UN146G cyl 14087 alt 2 hd 24 sec 848> /pci@0/pci@0/pci@2/scsi@0/sd@0,0
 マーインシステムを作成します。 	1. c1t1d0 <sun146g 14087="" 2="" 24="" 848="" alt="" cyl="" hd="" sec=""> /pci@0/pci@0/pci@0/sci@2/scsi@0/sd@1,0</sun146g>
primary# pewfs /dev/rdsk/c1t1d0s0	Specify disk (enter its number): 1 ~(省略)~
	Part Tag Flag Cylinders Size Blocks
3)ファイルシステムにマウントします。	1 swap wu 0 0 (0/0/0) 0
primary# mount -F ufs /dev/dsk/c1t1d0s0 /mnt	3 unassigned wm 0 0 (0/0/0) 0 4 unassigned wm 0 0 (0/0/0) 0
4) ディスクにファイルを作成します。	5 unassigned wm 0 0 (0/0/0) 0 6 unassigned wm 0 0 (0/0/0) 0
primary# touch /mnt/testfile2	7 unassigned wm 0 0 (0/0/0) 0
5) フウンルを解除します	
brimanu# umaunt (mat	
6)仮想ディスクサーバデバイスに排他設定で割当てます。	
6) 仮想ディスクサーバデバイスに排他設定で割当てます。 primary# ldm add-vdsdev options=excl /dev/dsk/c1t1d0s2 vol_disk@	primary-vds0
 6) 仮想ディスクサーバデバイスに排他設定で割当てます。 primary# Idm add-vdsdev options=excl /dev/dsk/c1t1d0s2 vol_disk@ 7) 仮想ディスクサーバデバイスをIdom1に割当てます。 	primary-vds0
6) 仮想ディスクサーバデバイスに排他設定で割当てます。 primary# ldm add-vdsdev options=excl /dev/dsk/c1t1d0s2 vol_disk@ 7) 仮想ディスクサーバデバイスをldom1に割当てます。 primary# ldm add-vdisk vdisk1 vol_disk@primary-vds0 ldom1	primary-vds0
 6) 仮想ディスクサーバデバイスに排他設定で割当てます。 primary# ldm add-vdsdev options=excl /dev/dsk/c1t1d0s2 vol_disk@ 7) 仮想ディスクサーバデバイスをldom1に割当てます。 primary# ldm add-vdisk vdisk1 vol_disk@primary-vds0 ldom1 8) 物理ディスク情報を確認します。 	primary-vds0 primary# format Searching for disksdone
 6) 仮想ディスクサーバデバイスに排他設定で割当てます。 primary# ldm add-vdsdev options=excl /dev/dsk/c1t1d0s2 vol_disk@ 7) 仮想ディスクサーバデバイスをldom1に割当てます。 primary# ldm add-vdisk vdisk1 vol_disk@primary-vds0 ldom1 8) 物理ディスク情報を確認します。 primary# format 	primary-vds0 primary# format Searching for disksdone AVAILABLE DISK SELECTIONS: 0. c11000 (SUN1466 ord 14087 at 2 bd 24 sec 848)
 6) 仮想ディスクサーバデバイスに排他設定で割当てます。 primary# ldm add-vdsdev options=excl /dev/dsk/c1t1d0s2 vol_disk@ 7) 仮想ディスクサーバデバイスをldom1に割当てます。 primary# ldm add-vdisk vdisk1 vol_disk@primary-vds0 ldom1 8) 物理ディスク情報を確認します。 primary# format ※ 排他設定をすることによって、物理ディスクが認識されないことを確認します。 確認した後に、「Ctrl + C」で停止します。 	primary-vds0 primary# format Searching for disksdone AVAILABLE DISK SELECTIONS: 0. c1t0d0 <sun146g 14087="" 2="" 24="" 848="" alt="" cyl="" hd="" sec=""> /pci@0/pci@0/pci@2/scsi@0/sd@0,0 Specify disk (enter its number):</sun146g>
 6) 仮想ディスクサーバデバイスに排他設定で割当てます。 primary# ldm add-vdsdev options=excl /dev/dsk/c1t1d0s2 vol_disk@ 7) 仮想ディスクサーバデバイスをldom1に割当てます。 primary# ldm add-vdisk vdisk1 vol_disk@primary-vds0 ldom1 8) 物理ディスク情報を確認します。 primary# format ※ 排他設定をすることによって、物理ディスクが認識されないことを確認します。 確認した後に、「Ctrl + C」で停止します。 9) 仮想ディスク情報を確認します。 	primary-vds0 primary# format Searching for disksdone AVAILABLE DISK SELECTIONS: 0. c1t0d0 <sun146g 14087="" 2="" 24="" 848="" alt="" cyl="" hd="" sec=""> /pci@0/pci@0/pci@2/scsi@0/sd@0.0 Specify disk (enter its number): # format</sun146g>
 6) 仮想ディスクサーバデバイスに排他設定で割当てます。 primary# ldm add-vdsdev options=excl /dev/dsk/c1t1d0s2 vol_disk@ 7) 仮想ディスクサーバデバイスをldom1に割当てます。 primary# ldm add-vdisk vdisk1 vol_disk@primary-vds0 ldom1 8) 物理ディスク情報を確認します。 primary# format ※ 排他設定をすることによって、物理ディスクが認識されないことを確認します。 ④) 仮想ディスク情報を確認します。 ⑤) 仮想ディスク情報を確認します。 Idom1# format 	primary-vds0 primary# format Searching for disksdone AVAILABLE DISK SELECTIONS: 0. c1t0d0 <sun146g 14087="" 2="" 24="" 848="" alt="" cyl="" hd="" sec=""> /pci@0/pci@0/pci@2/scsi@0/sd@0.0 Specify disk (enter its number): # format Searching for disksdone AVAILABLE DISK SELECTIONS:</sun146g>
 6) 仮想ディスクサーバデバイスに排他設定で割当てます。 primary# ldm add-vdsdev options=excl /dev/dsk/c1t1d0s2 vol_disk@ 7) 仮想ディスクサーバデバイスをldom1に割当てます。 primary# ldm add-vdisk vdisk1 vol_disk@primary-vds0 ldom1 8) 物理ディスク情報を確認します。 primary# format ※ 排他設定をすることによって、物理ディスクが認識されないことを確認します。 確認した後に、「Ctrl + C」で停止します。 9) 仮想ディスク情報を確認します。 Idom1# format ※ 確認した後に、「Ctrl + C」で停止します。 	primary-vds0 primary# format Searching for disksdone AVAILABLE DISK SELECTIONS: 0. c1t0d0 (SUN146G cyl 14087 alt 2 hd 24 sec 848> /pci@0/pci@0/pci@2/scsi@0/sd@0,0 Specify disk (enter its number): # format Searching for disksdone AVAILABLE DISK SELECTIONS: 0. c0d0 (SUN-DiskImage=20GB cyl 566 alt 2 hd 96 sec 768>
 6) 仮想ディスクサーバデバイスに排他設定で割当てます。 primary# ldm add-vdsdev options=excl /dev/dsk/c1t1d0s2 vol_disk@ 7) 仮想ディスクサーバデバイスをldom1に割当てます。 primary# ldm add-vdisk vdisk1 vol_disk@primary-vds0 ldom1 8) 物理ディスク情報を確認します。 primary# format ※ 排他設定をすることによって、物理ディスクが認識されないことを確認します。 確認した後に、「Ctrl + C」で停止します。 9) 仮想ディスク情報を確認します。 Idom1# format ※ 確認した後に、「Ctrl + C」で停止します。 	primary# format Searching for disksdone AVAILABLE DISK SELECTIONS: 0. c1t0d0 <sun146g 14087="" 2="" 24="" 848="" alt="" cyl="" hd="" sec=""> /pci@0/pci@0/pci@2/scsi@0/sd@0.0 Specify disk (enter its number): # format Searching for disksdone AVAILABLE DISK SELECTIONS: 0. c0d0 <sun-diskimage-20gb 2="" 566="" 768="" 96="" alt="" cyl="" hd="" sec=""> /virtual-devices@100/channel-devices@200/disk@0 1. c0d2 <sun146g 14087="" 2="" 24="" 848="" alt="" cyl="" hd="" sec=""></sun146g></sun-diskimage-20gb></sun146g>
 6) 仮想ディスクサーバデバイスに排他設定で割当てます。 primary# ldm add-vdsdev options=excl /dev/dsk/c1t1d0s2 vol_disk@ 7) 仮想ディスクサーバデバイスをldom1に割当てます。 primary# ldm add-vdisk vdisk1 vol_disk@primary-vds0 ldom1 8) 物理ディスク情報を確認します。 primary# format ※ 排他設定をすることによって、物理ディスクが認識されないことを確認します。 確認した後に、「Ctrl + C」で停止します。 9) 仮想ディスク情報を確認します。 Idom1# format ※ 確認した後に、「Ctrl + C」で停止します。 	primary# format Searching for disksdone AVAILABLE DISK SELECTIONS: 0. c1t0d0 <sun146g 14087="" 2="" 24="" 848="" alt="" cyl="" hd="" sec=""> /pci@0/pci@0/pci@2/scsi@0/sd@0,0 Specify disk (enter its number): # format Searching for disksdone AVAILABLE DISK SELECTIONS: 0. c0d0 <sun-diskimage-20gb 2="" 566="" 768="" 96="" alt="" cyl="" hd="" sec=""> //virtual-devices@100/channel-devices@200/disk@0 1. c0d2 <sun146g 14087="" 2="" 24="" 848="" alt="" cyl="" hd="" sec=""> //virtual-devices@100/channel-devices@200/disk@2 Specify disk (enter its number): 1</sun146g></sun-diskimage-20gb></sun146g>
 6) 仮想ディスクサーバデバイスに排他設定で割当てます。 primary# ldm add-vdsdev options=excl /dev/dsk/c1t1d0s2 vol_disk@ 7) 仮想ディスクサーバデバイスをidom1に割当てます。 primary# ldm add-vdisk vdisk1 vol_disk@primary-vds0 ldom1 8) 物理ディスク情報を確認します。 primary# format ※ 排他設定をすることによって、物理ディスクが認識されないことを確認します。 確認した後に、「Ctrl + C」で停止します。 9) 仮想ディスク情報を確認します。 Idom1# format ※ 確認した後に、「Ctrl + C」で停止します。 10) 仮想ディスクをマウントします。 	primary# format Searching for disksdone AVAILABLE DISK SELECTIONS: 0. c1t0d0 (SUN146G cyl 14087 alt 2 hd 24 sec 848> /pci@0/pci@0/pci@2/scsi@0/sd@0,0 Specify disk (enter its number): # format Searching for disksdone AVAILABLE DISK SELECTIONS: 0. c0d0 (SUN-DiskImage-20GB cyl 566 alt 2 hd 96 sec 768> //irtual-devices@100/channel-devices@200/disk@0 1. c0d2 (SUN146G cyl 14087 alt 2 hd 24 sec 848> //irtual-devices@100/channel-devices@200/disk@2 Specify disk (enter its number): 1 selecting c0d2 ~ (省略) ~
 6) 仮想ディスクサーバデバイスに排他設定で割当てます。 primary# ldm add-vdsdev options=excl /dev/dsk/c1t1d0s2 vol_disk@ 7) 仮想ディスクサーバデバイスをldom1に割当てます。 primary# ldm add-vdisk vdisk1 vol_disk@primary-vds0 ldom1 8) 物理ディスク情報を確認します。 primary# format ※ 排他設定をすることによって、物理ディスクが認識されないことを確認します。 確認した後に、「Ctrl + C」で停止します。 9) 仮想ディスク情報を確認します。 Idom1# format ※ 確認した後に、「Ctrl + C」で停止します。 10) 仮想ディスクをマウントします。 	primary# format Searching for disksdone AVAILABLE DISK SELECTIONS: 0. c10d0 (SUN146G cyl 14087 alt 2 hd 24 sec 848> /pci@/pci@/pci@/sci@/sci@/sci@/0.0 Specify disk (enter its number): # format Searching for disksdone AVAILABLE DISK SELECTIONS: 0. c0d0 (SUN-DiskImage=20GB cyl 566 alt 2 hd 96 sec 768> //irtual=devices@100/channel-devices@200/disk@0 1. c0d2 (SUN1466 cyl 14087 alt 2 hd 24 sec 848> //irtual=devices@100/channel-devices@200/disk@0 Specify disk (enter its number): 1 selecting c0d2 ~(省路)~ Part Tag Flag Cylinders Size Blocks / create ures 0.c 14096 136 710E (14097/0/0) 286908
 6) 仮想ディスクサーバデバイスに排他設定で割当てます。 primary# ldm add-vdsdev options=excl /dev/dsk/c1t1d0s2 vol_disk@ 7) 仮想ディスクサーバデバイスをidom1に割当てます。 primary# ldm add-vdisk vdisk1 vol_disk@primary-vds0 ldom1 8) 物理ディスク情報を確認します。 primary# format ※ 排他設定をすることによって、物理ディスクが認識されないことを確認します。 確認した後に、「Ctrl + C」で停止します。 9) 仮想ディスク情報を確認します。 Idom1# format ※ 確認した後に、「Ctrl + C」で停止します。 10) 仮想ディスクをマウントします。 Idom1# mount -F ufs /dev/dsk/c0d2s0 /mnt	primary# format Searching for disksdone AVAILABLE DISK SELECTIONS: 0. c1t0d0 <sun146g 14087="" 2="" 24="" 848="" alt="" cyl="" hd="" sec=""> /pci@0/pci@0/pci@2/scs@0/sd@0.0 Specify disk (enter its number): # format Searching for disksdone AVAILABLE DISK SELECTIONS: 0. c0d0 <sun-diskimage-20gb 2="" 566="" 768="" 96="" alt="" cyl="" hd="" sec=""> //virtual-devices@100/channel-devices@200/disk@0 1. c0d2 <sun146g 14087="" 2="" 24="" 848="" alt="" cyl="" hd="" sec=""> //virtual-devices@100/channel-devices@200/disk@0 1. c0d2 <sun146g 14087="" 2="" 24="" 848="" alt="" cyl="" hd="" sec=""> //virtual-devices@100/channel-devices@200/disk@2 Specify disk (enter its number): 1 selecting c0d2 ~(省路)~ Part Tag Flag Cylinders Size Blocks 0 root wm 0 - 14086 136.71GB (14087/0/0) 286698 1 swap wu 0 0 0 (0/0/0) 0</sun146g></sun146g></sun-diskimage-20gb></sun146g>
 6) 仮想ディスクサーバデバイスに排他設定で割当てます。 primary# ldm add-vdsdev options=excl /dev/dsk/c1t1d0s2 vol_disk@ 7) 仮想ディスクサーバデバイスをldom1に割当てます。 primary# ldm add-vdisk vdisk1 vol_disk@primary-vds0 ldom1 8) 物理ディスク情報を確認します。 primary# format ※ 排他設定をすることによって、物理ディスクが認識されないことを確認します。 確認した後に、「Ctrl + C」で停止します。 9) 仮想ディスク情報を確認します。 Idom1# format ※ 確認した後に、「Ctrl + C」で停止します。 10) 仮想ディスクをマウントします。 Idom1# mount -F ufs /dev/dsk/c0d2s0 /mnt 	primary# format Searching for disksdone AVAILABLE DISK SELECTIONS: 0. c1t0d0 <sun146g 14087="" 2="" 24="" 848="" alt="" cyl="" hd="" sec=""> /pci@0/pci@0/pci@2/scsi@0/sd@0,0 Specify disk (enter its number): # format Searching for disksdone AVAILABLE DISK SELECTIONS: 0. c0d0 <sun-diskimage-20gb 2="" 566="" 768="" 96="" alt="" cyl="" hd="" sec=""> //irtual-devices@100/channel-devices@200/disk@0 1. c0d2 (SUN146G cyl 14087 alt 2 hd 24 sec 848> //irtual-devices@100/channel-devices@200/disk@0 1. c0d2 (SUN146G cyl 14087 alt 2 hd 24 sec 848> //irtual-devices@100/channel-devices@200/disk@2 Specify disk (enter its number): 1 selecting c0d2 ~(信格)~ Part Tag Flag Cylinders Size Blocks 0 root wm 0 - 14086 136.71GB (14087/0/0) 286698 1 swap wu 0 0 (0/0/0) 0</sun-diskimage-20gb></sun146g>
 6) 仮想ディスクサーバデバイスに排他設定で割当てます。 primary# ldm add-vdsdev options=excl /dev/dsk/c1t1d0s2 vol_disk@ 7) 仮想ディスクサーバデバイスをldom1に割当てます。 primary# ldm add-vdisk vdisk1 vol_disk@primary-vds0 ldom1 8) 物理ディスク情報を確認します。 primary# format ※ 排他設定をすることによって、物理ディスクが認識されないことを確認します。 確認した後に、「Ctrl + C」で停止します。 9) 仮想ディスク情報を確認します。 Idom1# format ※ 確認した後に、「Ctrl + C」で停止します。 10) 仮想ディスクをマウントします。 10) 仮想ディスクをマウントします。 11) 作成されたファイルを確認します。	primary-vds0 primary# format Searching for disksdone AVAILABLE DISK SELECTIONS: 0. c1t0d0 <sun146g 14087="" 2="" 24="" 848="" alt="" cyl="" hd="" sec=""> /pci@0/pci@0/pci@2/scsi@0/sd@0,0 Specify disk (enter its number): # format Searching for disksdone AVAILABLE DISK SELECTIONS: 0. c0d0 <sun146g 14087="" 2="" 24="" 848="" alt="" cyl="" hd="" sec=""> //virtual-devices@100/channel-devices@200/disk@0 1. c0d2 <sun146g 14087="" 2="" 24="" 848="" alt="" cyl="" hd="" sec=""> //virtual-devices@100/channel-devices@200/disk@2 Specify disk (enter its number): 1 selecting c0d2 ~(省略) ~ Pact Tag Flag Cylinders Size Blocks 0 root wm 0 - 14086 136.71GB (14087/0/0)286698 1 swap wu 0 0 0 (0/0/0) 0 2 backup wm 0 - 14086 136.71GB (14087/0/0)286698 3 unassigned wm 0 0 0 (0/0/0) 0 5 unassigned wm 0 0 0 (0/0/0) 0</sun146g></sun146g></sun146g>
 6) 仮想ディスクサーバデバイスに排他設定で割当てます。 primary# ldm add-vdsdev options=excl /dev/dsk/c1t1d0s2 vol_disk@ 7) 仮想ディスクサーバデバイスをidom1に割当てます。 primary# ldm add-vdisk vdisk1 vol_disk@primary-vds0 ldom1 8) 物理ディスク情報を確認します。 primary# format ※ 排他設定をすることによって、物理ディスクが認識されないことを確認します。 確認した後に、「Ctrl + C」で停止します。 9) 仮想ディスク情報を確認します。 Idom1# format ※ 確認した後に、「Ctrl + C」で停止します。 10) 仮想ディスクをマウントします。 10) 仮想ディスクをマウントします。 11) 作成されたファイルを確認します。 Idom1# ls /mnt 	primary+format Searching for disksdone AVAILABLE DISK SELECTIONS: 0. c10d0 (SUN146G cyl 14087 alt 2 hd 24 sec 848> /pci@0/pci@0/pci@2/scsi@0/sd@0,0 Specify disk (enter its number): # format Searching for disksdone AVAILABLE DISK SELECTIONS: 0. c0d0 (SUN-DiskImage-20GB cyl 566 alt 2 hd 96 sec 768> //virtual-devices@100/channel-devices@200/disk@0 1. c0d2 (SUN-DiskImage-20GB cyl 566 alt 2 hd 96 sec 768> //virtual-devices@100/channel-devices@200/disk@0 2. c0d2 (SUN-DiskImage-20GB cyl 566 alt 2 hd 96 sec 768> //virtual-devices@100/channel-devices@200/disk@0 2. c0d2 (SUN-DiskImage-20GB cyl 566 alt 2 hd 96 sec 768> //virtual-devices@100/channel-devices@200/disk@0 2. cd2 (SUNH46G cyl 14087 alt 2 hd 24 sec 848> //virtual-devices@100/channel-devices@200/disk@2 Specify disk (enter its number): 1 selecting c0d2 ~ (4188) ~ Part Tag Flag Cylinders Size Blocks 0 root wm 0 - 14086 136.71GB (14087/0/0)286698 1 swap wu 0 0 0 (0/0/0) 0 2 backup wm 0 - 14086 136.71GB (14087/0/0)286698 3 unassigned wm 0 0 (0/0/0) 0 4 unassigned wm 0 0 (0/0/0) 0 5 unassigned wm 0 0 (0/0/0) 0 6 unassigned wm 0 0 (0/0/0) 0
 6) 仮想ディスクサーバデバイスに排他設定で割当てます。 primary# ldm add-vdsdev options=excl /dev/dsk/c1t1d0s2 vol_disk@ 7) 仮想ディスクサーバデバイスをldom1に割当てます。 primary# ldm add-vdisk vdisk1 vol_disk@primary-vds0 ldom1 8) 物理ディスク情報を確認します。 primary# format ※ 排他設定をすることによって、物理ディスクが認識されないことを確認します。 確認した後に、「Ctrl + C」で停止します。 9) 仮想ディスク情報を確認します。 Idom1# format ※ 確認した後に、「Ctrl + C」で停止します。 10) 仮想ディスクをマウントします。 Idom1# mount -F ufs /dev/dsk/c0d2s0 /mnt 11) 作成されたファイルを確認します。 Idom1# ls /mnt ※制御ドメインで作成したファイルが認識されます。	primary# format Searching for disksdone AVAILABLE DISK SELECTIONS: 0. c1t0d0 (SUN146G cyl 14087 alt 2 hd 24 sec 848> /pci@Upoi@Upoi@Uycsi@Uycs@Upoi@Uycs@Upoi@Uycs@Upoi@Upoi@Uycs@Upoi@Uycs@Upoi@Uycs@Upoi@Uycs@Upoi@Upoi@Uycs@Upoi@Upoi@Uycs@Upoi@Upoi@Uycs@Upoi@Upoi@Upoi@Upoi@Upoi@Upoi@Upoi@Upoi
 6) 仮想ディスクサーバデバイスに排他設定で割当てます。 primary# ldm add-vdsdev options=excl /dev/dsk/c1t1d0s2 vol_disk@ 7) 仮想ディスクサーバデバイスをldom1に割当てます。 primary# ldm add-vdisk vdisk1 vol_disk@primary-vds0 ldom1 8) 物理ディスク情報を確認します。 primary# format ※ 排他設定をすることによって、物理ディスクが認識されないことを確認します。 確認した後に、「Ctrl + C」で停止します。 9) 仮想ディスク情報を確認します。 Idom1# format ※ 確認した後に、「Ctrl + C」で停止します。 10) 仮想ディスクをマウントします。 Idom1# mount -F ufs /dev/dsk/c0d2s0 /mnt 11) 作成されたファイルを確認します。 Idom1# ls /mnt ※制御ドメインで作成したファイルが認識されます。 	primary# format Searching for disksdone AVAILABLE DISK SELECTIONS: 0. c1t0d0 (SUN146G cyl 14087 alt 2 hd 24 sec 848) /pci@0/pci@2/sci@0/sd@0,0 Specify disk (enter its number): # format Searching for disksdone AVAILABLE DISK SELECTIONS: 0. c1000 (SUN146G cyl 14087 alt 2 hd 24 sec 848) /pci@0/pci@2/sci@0/sd@0,0 Specify disk (enter its number): # format Searching for disksdone AVAILABLE DISK SELECTIONS: 0. c0d0 (SUN-DiskImage=20GB cyl 566 alt 2 hd 96 sec 768) /virtual-devices@100/channel-devices@200/disk@0 1. c0d2 (SUN146G cyl 14087 alt 2 hd 24 sec 848) /virtual-devices@100/channel-devices@200/disk@2 Specify disk (enter its number): 1 selecting c0d2 ~ (省略) ~ Part Tag Flag Clylinders Size Blocks 0 root wm 0 - 14086 136.71GB (14087/0/0)286698 1 swap wu 0 0 (0/0/0) 0 2 backup wm 0 - 14086 136.71GB (14087/0/0) 286698 3 unassigned wm 0 0 (0/0/0) 0 4 unassigned wm 0 0 (0/0/0) 0 5 unassigned wm 0 0 (0/0/0) 0 6 unassigned wm 0 0 (0/0/0) 0 7 unassigned wm 0 0 (0/0/0) 0
 6) 仮想ディスクサーバデバイスに排他設定で割当てます。 primary# ldm add-vdsdev options=excl /dev/dsk/c1t1d0s2 vol_disk@ 7) 仮想ディスクサーバデバイスをldom1に割当てます。 primary# ldm add-vdisk vdisk1 vol_disk@primary-vds0 ldom1 8) 物理ディスク情報を確認します。 primary# format ※ 排他設定をすることによって、物理ディスクが認識されないことを確認します。 確認した後に、「Ctrl + C」で停止します。 9) 仮想ディスク情報を確認します。 Idom1# format ※ 確認した後に、「Ctrl + C」で停止します。 10) 仮想ディスクをマウントします。 10) 仮想ディスクをマウントします。 11) 作成されたファイルを確認します。 Idom1# is /mnt ※制御ドメインで作成したファイルが認識されます。 12) ファイルを作成します。 Idom1# touch /mnt/testfile3 	primary# format Searching for disksdone AVAILABLE DISK SELECTIONS: 0. c1t0d0 <sun146g 14087="" 2="" 24="" 848="" alt="" cyl="" hd="" sec=""> /pci@0/pci@0/pci@2/scsi@0/sd@0.0 Specify disk (enter its number): # format Searching for disksdone AVAILABLE DISK SELECTIONS: 0. c0d00 <sun1-diskimage=20gb 2="" 566="" 768="" 96="" alt="" cyl="" hd="" sec=""> //virtual-devices@100/channel-devices@200/disk@0 1. c0d2 <sun146g 14087="" 2="" 24="" 848="" alt="" cyl="" hd="" sec=""> //virtual-devices@100/channel-devices@200/disk@0 1. c0d2 <sun146g 14087="" 2="" 24="" 848="" alt="" cyl="" hd="" sec=""> //virtual-devices@100/channel-devices@200/disk@0 Selecting c0d2 ~(省略)~ Part Tag Flag Clylinders Size Blocks 0 root wm 0 - 14086 136.71GB (14087/0/0)286693 1 swap wu 0 0 0 (0/0/0) 0 2 backup wm 0 - 14086 136.71GB (14087/0/0)286693 1 swap wu 0 0 0 (0/0/0) 0 2 unassigned wm 0 0 (0/0/0) 0 4 unassigned wm 0 0 (0/0/0) 0</sun146g></sun146g></sun1-diskimage=20gb></sun146g>
 6) 仮想ディスクサーバデバイスに排他設定で割当てます。 primary# ldm add-vdsdev options=excl /dev/dsk/c1t1d0s2 vol_disk@ 7) 仮想ディスクサーバデバイスをidom1に割当てます。 primary# ldm add-vdisk vdisk1 vol_disk@primary-vds0 ldom1 8) 物理ディスク情報を確認します。 primary# format ※ 排他設定をすることによって、物理ディスクが認識されないことを確認します。 確認した後に、「Ctrl + C」で停止します。 9) 仮想ディスク情報を確認します。 Idom1# format ※ 確認した後に、「Ctrl + C」で停止します。 10) 仮想ディスクをマウントします。 Idom1# mount -F ufs /dev/dsk/c0d2s0 /mnt 11) 作成されたファイルを確認します。 Idom1# ls /mnt ※制御ドメインで作成したファイルが認識されます。 12) ファイルを作成します。 Idom1# touch /mnt/testfile3 13) マウントを解除します。 	primary# format Searching for disksdone AVAILABLE DISK SELECTIONS: 0. c10d0 (SUN146G cyl 14087 alt 2 hd 24 sec 848> /pci@0/pci@0/pci@2/scsi@0/sd@0,0 Specify disk (enter its number): # format Searching for disksdone AVAILABLE DISK SELECTIONS: 0. c0d0 (SUN-DiskImage=20GB cyl 566 alt 2 hd 96 sec 768> //irtual=devices@100/channel-devices@200/disk@0 1. c0d2 (SUN146G cyl 14087 hd 2 hd 24 sec 848) /virtual=devices@100/channel-devices@200/disk@0 1. c0d2 (SUN146G cyl 14087 hd 2 hd 2 sec 848) /virtual=devices@100/channel-devices@200/disk@2 Specify disk (enter its number): 1 selecting c0d2 ~(者) Part Tag Flag Cylinders Size Blocks 0 root wm 0 = 14086 136.71GB (14087/0/0)286698 1 swap wu 0 0 (0/0/0) 0 2 backup wm 0 = 14086 136.71GB (14087/0/0)286698 3 unassigned wm 0 0 (0/0/0) 0 5 unassigned wm 0 0 (0/0/0) 0

primary# Idm stop-domain Idom1	nviner # format	
	Searching for disksdone	
15)物理ディスクを確認します。	AVAILABLE DISK SELECTIONS:	
primary# format	0. c1t0d0 <sun146g 14087="" a<br="" cyl="">/pci@0/pci@0/pci@2/scsi@0/s</sun146g>	t 2 hd 24 sec 848> d@0.0
※ 確認した後に、「CTI + C」で停止しより。	Specify disk (enter its number):	480,0
16) Idom1をunbindします。		
primary# Idm unbind Idom1	primary# format Searching for disksdone	
17)物理ディスクを確認します。	AVAILABLE DISK SELECTIONS:	hd 24 aan 949
primary# format	/pci@0/pci@0/pci@0/scsi@0/sd@0	,0
※ 確認した後に、「Ctrl + C」で停止します。	1. c1t1d0 <sun146g 14087="" 2<br="" alt="" cyl="">/pci@0/pci@0/pci@2/scsi@0/sd@1</sun146g>	hd 24 sec 848> .0
18) マウントし、 ゲストドメインで作成したファイルが制御ドメインでも認識さ	れることを確認します。 Specify disk (enter its number):	
primary# mount -F ufs /dev/dsk/c1t1d0s0 /mnt		
primary# ls /mnt	primary# Is /mnt	
		-
	Point 排他設定をした物理ディスクは、そのディスクを割り	当てたゲストドメインをun
	再び制御ドメイン上で認識されるようになります。	

Oracle VM Server for SPARCを使ってみよう(構築・運	【用手順書)		作	成日	2012年	2月		
ネットワークの冗長化								
- 制御ドメインでの冗長化 -1)仮想スイッチの設定 1) ビュンドメインを使いします	primary# ifconfig - lo0: flags=2001000 inet 127.0.0.	-a)849 <up,loope 1 netmask ff000</up,loope 	BACK,RUI	NNING,MUL	.TICAST,II	Pv4,VIR	TUAL> mtr	u 8232 inde
primary# Idm stop-domain Idom2	vsw0: flags=10008	43 <up,broad< td=""><td>CAST,RUI</td><td>NNING,MUL</td><td>TICAST,I</td><td>Pv4> mt</td><td>u 1500 ind</td><td>ex 2</td></up,broad<>	CAST,RUI	NNING,MUL	TICAST,I	Pv4> mt	u 1500 ind	ex 2
primary# Idm unbind-domain Idom2	ether 0:14:4	f:f8:ba:9b		roadcast 1	92.100.10.	.200		
※ この後、制御ドメインを再起動するため事前に停止します。								
ldom1が起動してる場合も同様に停止してください。		*						
2)ネットワーク状態を確認します。	Routing	Table: IPv4						
primary# ifconfig -a	Destin	nation Ga	teway	Flags	Ref Us	se Int 	erface -	
3)ルーティングテーブルを確認します。	default 192,168	192.16 .10.0 192.	8.10.1 168.10.20	UG 1 U	1 (0 3 vsw	0	
primary# netstat -rn	224.0.0.	0 192.16	58.10.201 0 1	U	1	0 vsw0		
4)仮想スイッチと物理NICとの割り当てを解除します。	Initiating a dela All configuratio	ayed reconfigura	tion oper	ation on the	e primary of abled unti	domain. il the pr	mary	
primary# ldm set-vswitch net-dev= primary-vsw0	domain reboots	s, at which time	the new	configuratio	n for the	primary	domain	
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	Will also take e	inect.						
5)設定したサービスを確認します。 primary# Idm list VCC	-services							
primary# Idm list-services	LDOM PORT- primary 5000-5	RANGE						
VSW VSW		NET-DE				FALII T-	VI AN-ID P	/ום עום
6) 設定した様成情報をII OM(Service Processor)に保存します		1f-f8-ba-9b 0	switch@	0 1		1	1	500
primary# Idm add-config config ipmp			S ME		DEVICE			
primary-vds0	primary vol0		/150/	/dev/zvol/ds Sol10u10.iso	sk/rpool/zfs	s/vdisk0		
7)様式持起を確認します	vol_iso re	,	/dev/z	:vol/dsk/rpoc	ol/zfs/vdisk	<1		
		vel	/dev/	/dek/c1+1d0e	-9			
primary# Idm list-config	vol_disk e	xcl	/dev/	/dsk/c1t1d0s	\$2			
primary# ldm list-config	voi_disk e st-config	xcl	/ dev/	/dsk/c1t1d0s				
primary# Idm list-config	vol_aisk e st-config t	xcl	/ dev/	/dsk/c1t1d0s				
primary# Idm list-config	vol_disk e st-config t u rrent]	xcl	/ dev/	/dsk/c1t1d0s				
primary# Idm list-config primary# Idm list-config config.initial config.ipmp [ou 2) 制御ドメイン上でのIPMPの設定 1) ネットワークインタフェースを確認します。	voldisk e st-config t u rrent]	primary# dladr	/ dev,	/dsk/c1t1d0s				
<pre>primary# Idm list-config primary# Idm list-config primary# Idm list-config config.initial config.ipmp [out config.ipm] config.ipmp [out config.ipm] config.ipmp [out config.ipm] config.ipm] config.ipm config.</pre>	voldisk e st-config t urrent]	vsw0 vsw0 = e1000¢0	/dev, n show-lin タイプ: 非 タイプ: 非	/dsk/c1t1d0s nk vlan mtu: 1 E vlan mtu: 1	500 -	デバイス デバイス	:: vsw0 7: e1000g)
primary# Idm list-config primary# Idm list-config primary# Idm list-config factory-default config.initial config.initial config.ipmp [cit config.ipmp [cit 1) ネットワークインタフェースを確認します。 primary# dladm show-link	voldisk e st-config t urrent]	primary# dladr vsw0 e1000g1 e1000g1 e1000g1	/ dev, n show-lin タイプ: 非 タイプ: 3 タイプ: 3	nk vlan mtu: 1 E vlan mtu: E vlan mtu:	500 - 1500 1500	デバイス デバイ デバイ	.: vsw0 Z: e1000g Z: e1000g)
primary# Idm list-config primary# Idm list-config primary# Idm list-config primary# Idm list-config. 2) 制御ドメイン上でのIPMPの設定 config.ipmp [outomic config.ipmp [outomic config.ipmp [outomic config.ipm]] 1) ネットワークインタフェースを確認します。 primary# dladm show-link 2) ネットワーク構成定義ファイルを置き換えます。 config.ipmp [outomic config.ipm]]	voldisk e st-config t urrent]	primary# dladr vsw0 2 e1000g0 e1000g1 e1000g2 e1000g3	/ dev, n show-lii タイプ: 非 タイプ: ま タイプ: ま タイプ: ま タイプ: ま	nk vlan mtu: 1 È vlan mtu: È vlan mtu: È vlan mtu: È vlan mtu:	500 - 1500 1500 1500 1500	デバイス デバイ. デバイ. デバイ. デバイ.	:: vsw0)
primary# Idm list-config primary# Idm list-config primary# Idm list-config primary# Idm list-config config.initial config.jpmp [ot 2) 制御ドメイン上でのIPMPの設定 1) ネットワークインタフェースを確認します。 primary# dladm show-link 2) ネットワーク構成定義ファイルを置き換えます。 primary# mv /etc/hostname.vsw0 /etc/hostname.e1000g0	voldisk e st-config t urrent]	primary# dladr vsw0 - e1000g0 e1000g1 e1000g2 e1000g3	/ dev, n show-lin タイプ: 非 タイプ: ま タイプ: ま タイプ: ま タイプ: ま	nk vlan mtu: 1 E vlan mtu: 1 E vlan mtu: E vlan mtu: E vlan mtu: E vlan mtu:	500 - 1500 1500 1500 1500 1500	デバイス デバイ デバイ デバイ デバイ	:: vsw0 A: e1000g A: e1000g A: e1000g A: e1000g) 2 3
primary# Idm list-config primary# Idm list-config primary# Idm list-config primary# Idm list-config -2) 制御ドメイン上でのIPMPの設定 1) ネットワークインタフェースを確認します。 primary# dladm show-link 2) ネットワーク構成定義ファイルを置き換えます。 primary# mv /etc/hostname.vsw0 /etc/hostname.e1000g0 3) TERM環境変数を設定します。	voldisk e st-config t urrent]	primary# dladr vsw0 = 1000g0 = 1000g1 = 1000g2 = 1000g3	/ dev, n show-lif タイプ: 非 タイプ: ま タイプ: ま タイプ: ま	nk vlan mtu: 1 È vlan mtu: È vlan mtu: È vlan mtu: È vlan mtu: È vlan mtu:	500 - 1500 1500 1500 1500	デバイス デバイ デバイ デバイ デバイ	:: vsw0 A: e1000g/ A: e1000g/ A: e1000g/ A: e1000g/) 2 3
primary# Idm list-config config.initial config.ipmp [output config.ipmp [output primary# dladm show-link 2) ネットワーク構成定義ファイルを置き換えます。 primary# mv /etc/hostname.vsw0 /etc/hostname.e1000g0 3) TERM環境変数を設定します。 primary# TERM=vt100 ; export TERM	voldisk e st-config t urrent]	primary# dladr vsw0 e1000g0 e1000g1 e1000g2 e1000g3	/ dev, n show-liii タイプ: 非 タイプ: 引 タイプ: 引 タイプ: 引	nk vlan mtu: 1 E vlan mtu: 1 E vlan mtu: E vlan mtu: E vlan mtu:	500 - 1500 1500 1500 1500	デバイス デバイ デバイ デバイ デバイ	:: vsw0 7: e1000g 7: e1000g 7: e1000g 7: e1000g) 2 3
 primary# Idm list-config primary# Idm list-config primary# Idm list-config atory-default config.initial config.ipmp [output: config.ipmp [output: atory-default atory-default atory-default atory-default config.ipmp [output: atory-default atory	voldisk e st-config t urrent]	primary# dladr vsw0 e1000g0 e1000g1 e1000g2 e1000g3	/ dev. n show-lii タイプ: 非 タイプ: 引 タイプ: 引 タイプ: 引	nk vlan mtu: 1 E vlan mtu: E vlan mtu: E vlan mtu: E vlan mtu:	500 - 1500 1500 1500 1500	デバイス デバイ デバイ デバイ デバイ	:: vsw0 A: e1000gf A: e1000g7 A: e1000g7 A: e1000g7) 1 2 3
primary# Idm list-config config.initial config.ipmp.[ci config.initial co	voldisk e	primary# dladr vsw0 = 1000g0 = 1000g1 = 1000g2 = 1000g3	/ dev.	nk Vlan mtu: 1 È vlan mtu: È vlan mtu: È vlan mtu: È vlan mtu:	500 - 1500 1500 1500 1500	デバイス デバイ デバイ デバイ	:: vsw0 7: e1000g/ 7: e1000g/ 7: e1000g/ 7: e1000g/ 7: e1000g/) 1 2 3
primary# Idm list-config config.initial config.initial config.initial config.ipmp [output initial primary# dladm show-link 2) ネットワーク構成定義ファイルを置き換えます。 primary# mv /etc/hostname.vsw0 /etc/hostname.e1000g0 3) TERM環境変数を設定します。 primary# TERM=vt100 ; export TERM 4) ネットワーク構成定義ファイルをIPMP用に編集します。 primary# vi /etc/hostname.e1000g0 以下の通り、記述を変更します。	voldisk e	primary# dladr vsw0 e1000g0 e1000g2 e1000g2 e1000g3	/ dev. n show-lii タイブ: 非 タイブ: ま タイブ: ま タイブ: ま	nk vlan mtu: 1 È vlan mtu: È vlan mtu: È vlan mtu: È vlan mtu:	500 - 1500 1500 1500 1500	デバイス デバイ デバイ	:: vsw0 7: e1000g/ 7: e1000g/ 7: e1000g/ 7: e1000g/	0
primary# Idm list-config primary# mv /etc/hostname.vsw0 /etc/hostname.e1000g0 primary# vi /etc/hostname.e1000g0 pro通り、記述を変更します。 t5120-XX netmask + broadcast + group ipmp-g up	vo,disk e	primary# dladr vsw0 e1000g0 e1000g1 e1000g2 e1000g3	/dev. n show-liii タイブ: 非 タイブ: す タイブ: す タイブ: す	nk vlan mtu: 1 E vlan mtu: E vlan mtu: E vlan mtu: E vlan mtu:	500 - 1500 1500 1500 1500 1500	デデバイス デバイ デバイ、 デバイ、	:: vsw0)
primary# Idm list-config primary# mv /etc/hostname.vsw0 /etc/hostname.e1000g0 3) TERM環境変数を設定します。 primary# vi /etc/hostname.e1000g0 以下の通り、記述を変更します。 t5120-XX netmask + broadcast + group ipmp-g up 事式 <rtx1h 名=""> netmask + broadcast + group 事式 <rtx1h 名=""> netmask + broadcast + group</rtx1h></rtx1h>	voldisk e	primary# dladr vsw0 e1000g0 e1000g2 e1000g3	/ dev.	nk vlan mtu: 1 E vlan mtu: E vlan mtu: E vlan mtu: E vlan mtu:	500 - 1500 1500 1500 1500	デバイス デバイ デバイ デバイ デバイ	:: vsw0 A: e1000gf A: e1000g A: e1000g A: e1000g	0
primary# Idm list-config primary# mv /etc/hostname.vsw0 /etc/hostname.e1000g0 listex primary# vi /etc/hostname.e1000g0 listex listex promuy listex promuy listex listex listex promuy listex listex listex listex listex listex listex	voldisk e	primary# dladr vsw0 = 1000g0 = 1000g2 = 1000g3	/ dev.	nk Vlan mtu: 1 È vlan mtu: È vlan mtu: È vlan mtu: È vlan mtu:	500 - 1500 1500 1500 1500	デバイス デバイ デバイ デバイ	:: vsw0 7: e1000g/ 7: e1000g/ 7: e1000g/ 7: e1000g/) 1 2 3
primary# Idm list-config primary# mv /etc/hostname.vsw0 /etc/hostname.e1000g0 Uro通り, 記述を変更します。 It5120-XX netmask + broadcast + group ipmp-g up 書式 <ホスト名> netmask + broadcast + group <グルーブ名> up ※ ここてはホスト名をは5120-XXとします。 5) e1000g1のネットワーク構成定義ファイルを新規に作成します。	voldisk e	primary# dladr vsw0 ? e1000g0 e1000g2 e1000g3	/ dev.	nk vlan mtu: 1 E vlan mtu: E vlan mtu: E vlan mtu: E vlan mtu:	500 - 1500 1500 1500 1500	デバイスティー	:: vsw0 7: e1000g/ 7: e1000g/ 7: e1000g/ 7: e1000g/	0
primary# Idm list-config primary# mv /etc/hostname.vsw0 /etc/hostname.e1000g0 N= N=D-D#Rk定養코アr1NeIPMP用に編集します。 primary# vi /etc/hostname.e1000g0 N= N=D-D#Rkce表t5120-XXとします。 5) e1000g1のネットワーク構成定義ファイルを新規に作成します。 primary# vi /etc/hostname.e1000g1 vieweid= vieweid=	vo,disk e st-config t urrent]	vcl	/ dev. n show-lii タイブ: 非 タイブ: す タイブ: す タイブ: す	nk vlan mtu: 1 E vlan mtu: E vlan mtu: E vlan mtu: E vlan mtu:	500 - 1500 1500 1500 1500	デバイスティー	:: vsw0 A: e1000g/ A: e1000g/ A: e1000g/ A: e1000g/) 2 3
primary# Idm list-config primary# mv /etc/hostname.vsw0 /etc/hostname.e1000g0 UFO-D#kk定義ファイルを習らしの0g UFO-D#kk定義変更します。 t5120-XX netmask + broadcast + group ipmp-g up 書式<-ホスト名> netmask + broadcast + group * ごごてはホスト名をti5120-XXとします。 5) e1000g1のネットワーク構成定義ファイルを新規に作成します。 primary# vi /etc/hostname.e1000g1 以下の記述を入力します。 primary# vi /etc/hostname.e1000g1	vo,disk e st-config t	vsu vsw0 e1000g0 e1000g2 e1000g2 e1000g3	/ dev.	nk vlan mtu: 1 E vlan mtu: E vlan mtu: E vlan mtu: E vlan mtu:	500 - 1500 1500 1500 1500	デバイスティア	:: vsw0 A: e1000g A: e1000g A: e1000g A: e1000g	0
primary# Idm list-config primary# mv /etc/hostname.vsw0 /etc/hostname.e1000g0 primary# vi /etc/hostname.e1000g0 promature primary# vi /etc/hostname.e1000g0 primary# vi /etc/hostname.e1000g0 primary# xi /etc/hostname.e1000g1 primary# vi /etc/hostname.e1000	voldisk e	primary# dladr vsw0 e1000g0 e1000g2 e1000g3	/ dev.	nk Vlan mtu: 1 È vlan mtu: È vlan mtu: È vlan mtu:	500 - 1500 1500 1500 1500	デバイスティー	:: vsw0 7: e1000g/ 7: e1000g/ 7: e1000g/ 7: e1000g/	
primary# Idm list-config primary# mv /etc/hostname.vsw0 /etc/hostname.e1000g0 UFro通り 記述を変更します。 [5] e1000g1のネットワーク構成定義ファイルを新規に作成します。 primary# vi /etc/hostname.e1000g1 UFro記述を入力します。 group ipmp-g standby up 書式 group <グループ名> standby up	voldisk e	vcl	/ dev.	nk vlan mtu: 1 E vlan mtu: E vlan mtu: E vlan mtu: E vlan mtu:	500 - 1500 1500 1500 1500	デバイスティング	:: vsw0 7: e1000g/ 7: e1000g/ 7: e1000g/ 7: e1000g/	
primary# Idm list-config primary# mv /etc/hostname.vsw0 /etc/hostname.e1000g0 以下の通り、記述を変更します。 t5120-XX netmask + broadcast + group ipmp-g up 書式 *Zrdixz&Zrdixz&Zrdixz primary# vi /etc/hostname.e1000g1 以下の記述を入力します。 group ipmp-g standby up 書式 group <グループ名> standby up 書式 group standix group	Voldisk e st-config t urrent]	primary# dladr vsw0 e1000g0 e1000g2 e1000g3 e1000g3	/ dev.	nk vlan mtu: 1 È vlan mtu: 1 È vlan mtu: È vlan mtu: È vlan mtu: È vlan mtu:	500 - 1500 1500 1500 1500	デバイス デバイ、 デバイ、 デバイ、	:: vsw0 7: e1000g/ 7: e1000g/ 7: e1000g/ 7: e1000g/ 7: e1000g/ 1: e1000g) 2 3 3
primary# Idm list-config primary# mv /etc/hostname.vsw0 /etc/hostname.e1000g0 以下の通り、記述を変更します。 for lionog1のネットワーク構成定義ファイルを新規に作成します。 primary# vi /etc/hostname.e1000g1 以下の記述を入力します。 group ipmp-g standby up 書式 group <グループ名 > standby up 書式 group j >27.42.54.54.54.54.54.54.54.54.54.54.54.54.54.	Vo,disk e st-config t urrent]	primary# dladr vsw0 ************************************	n show-lin タイブ: 非 タイブ: ま タイブ: ま タイブ: ま タイブ: ま タイブ: ま しo test a it lo test a	nk vlan mtu: 1 E vlan mtu: 1 E vlan mtu: E vlan mtu: E vlan mtu: E vlan mtu: E vlan mtu: ddress cor	500 ; 1500 1500 1500 1500 1500	デバイズ デバイ デバイ デバイ の inte	c: vsw0 7: e1000g/ 7: e1000g/ 7: e1000g/ 7: e1000g/ 7: e1000g/ 1: e1000g	0 2 3 00g1; disa 00g0; disa

	Oracle VM Server for SPARCを使ってみよう(構築・運用手順書)	1FA			
3) IPMP設定の確認		primary# ifconfig −a				
1) 設定した構成情報を	確認します。	lo0: flags=20010008	49 <up,loopback,running,< th=""><th>MULTICAS</th><th>ST,IPv4,VIRTUA</th><th>L> mtu 8232 index 1</th></up,loopback,running,<>	MULTICAS	ST,IPv4,VIRTUA	L> mtu 8232 index 1
primary# ifconfig	g-a 🧹	inet 127.0.0.1	netmask ff000000 1843/LIP BROADCAST PLINNI			1500 index 2
ļ		inet 192.168.1	0.201 netmask ffffff00 broadca	ist 192.168	3.10.255	1000 muex z
2) <u>制御ドメインから</u> 同一	-サブネット内のサーバヘアクセスできることを確認し	sto. groupname ipr	np-g			
primary# ping 1	92.168.10.x	ether 0:14:4f:d				tu 1500 index 2
		inet 0.0.00 ne	tmask ff000000 broadcast 0.25	55.255.255	10/101,1F V4/ M	
		e1000g1:flags=6900	0842 <broadcast,running,< td=""><td>MULTICA</td><td>ST,IPv4,NOFAIL</td><td>OVER, STANDBY, INA</td></broadcast,running,<>	MULTICA	ST,IPv4,NOFAIL	OVER, STANDBY, INA
		mtu 0 index 3	tmask 0			
	小チレ制効ビナン・ホリーニュ・ドゥホウ	groupname ipr	np-g			
4) 仮想ネットワークス1 1) 仮想ネットワークスイ	ッチと利御トメーノのルーティングの設定 ッチを有効にします。	ether 0:14:4f:d	5:3:c3			
primary# ifconfig	a vsw0 plumb					
printer j# nooring						
2)仮想ネットワークスイ	ッチのIPアドレスを設定します。					
primary# ifconfig	g vsw0 192.168.11.1 netmask 255.255.	.255.0 broadcast +	up			
)) 乳白(大雄舟)は約~		primary# ifconfig −a				
シノ 設定した 傳成 情報を	11年前します。	lo0: flags=2001000849 <up,l< td=""><td>OOPBACK, RUNNING, MULTIC</td><td>AST,IPv4,</td><td>VIRTUAL> mtu 8</td><td>3232 index 1</td></up,l<>	OOPBACK, RUNNING, MULTIC	AST,IPv4,	VIRTUAL> mtu 8	3232 index 1
primary# ifconfig	g-a	e1000g0: flags=1000843 <up< td=""><td>BROADCAST,RUNNING.MUL</td><td>TICAST,IP</td><td>v4> mtu 1500 in</td><td>dex 2</td></up<>	BROADCAST,RUNNING.MUL	TICAST,IP	v4> mtu 1500 in	dex 2
		inet 192.168.10.201 ne	tmask ffffff00 broadcast 192.1	68.10.255		
+) IERNI環現変数を設め		groupname ipmp-g				
primary# TERM=	=vt100 ; export TERM	e1000g0:1: flags=1000843 <l< td=""><td>IP,BROADCAST,RUNNING,MU</td><td>ULTICAST,</td><td>IPv4> mtu 1500</td><td>index 2</td></l<>	IP,BROADCAST,RUNNING,MU	ULTICAST,	IPv4> mtu 1500	index 2
		inet 0.0.0.0 netmask ff	000000 broadcast 0.255.255.2	55		
		e1000g1: flags=69000842 <b index 3</b 	RUADCAS F, RUNNING, MULTI	CAST,IPv4	NOFAILOVER,	STANDBY, INACTIVE>
		inet 0.0.0.0 netmask 0				
		groupname ipmp-g				
	ちんぱ エフトタキミキ ナナ	ether 0:14:4f:d5:3:c3			mtu 1500 index	. 1
o) VSWU の正義ノアイル	を作成し、ホスト名を記載しより。	inet 192 168 11.1 netn	nask ffffff00 broadcast 192 168	3 15 255		. 4
primary# vi /etc,	/hostname.vsw0 トスト名を /etc/hosts ファイルに追記します。	ether 0:14:4f:f8:ba:9b				
primary# vi /etc.	/hostname.vsw0 トスト名を /etc/hosts ファイルに追記します。 /hosts	ether 0:14:4f;f8:ba:9b				
primary# vi /etc.	/hostname.vsw0 たスト名を /etc/hosts ファイルに追記します。 /hosts	ether 0:14:4f;f8:ba:9b	primary# netstat -rn Routing Table: IPv4			
primary# vi /etc. 6) vsw0のIP アドレスと オ primary# vi /etc. 7) vsw0のネットマスクを	/hostname.vsw0 たスト名を /etc/hosts ファイルに追記します。 /hosts :定義します。	ether 0:14:4f;f8:ba:9b	primary# netstat -rn Routing Table: IPv4 Destination Gateway	/ FI	ags Ref Use	Interface
primary# vi /etc. 5) vsw0のIP アドレスと primary# vi /etc. 7) vsw0のネットマスクを primary# vi /etc.	/hostname.vsw0 たスト名を /etc/hosts ファイルに追記します。 /hosts 注意義します。 /netmasks	ether 0:14:4f;f8:ba:9b	primary# netstat ~rn Routing Table: IPv4 Destination Gateway default 192,168,10,1	/ FI	ags Ref Use	Interface
primary# vi /etc. 6) vsw0のIPアドレスとオ primary# vi /etc. 7) vsw0のネットマスクを primary# vi /etc. 以下の記述を追加しま	/hostname.vsw0 たスト名を /etc/hosts ファイルに追記します。 /hosts 注定義します。 /netmasks ます。	ether 0:14:4f;f8:ba:9b	primary# netstat -rn Routing Table: IPv4 Destination Gateway default 192.168.10.1 192.168.10.0 192.168.10	/ FI	ags Ref Use 1 0 J 1	Interface 1 e1000g0
primary# vi /etc. 6) vsw0のIP アドレスとオ primary# vi /etc. 7) vsw0のネットマスクを primary# vi /etc. 以下の記述を追加しま 192.168.11.0	/hostname.vsw0 たスト名を /etc/hosts ファイルに追記します。 /hosts 注意義します。 /netmasks ます。 255.255.255.0	ether 0:14:4f:f8:ba:9b	primary# netstat -rn Routing Table: IPv4 Destination Gateway default 192.168.10. 192.168.10.0 192.168.10 192.168.10.0 192.168.10	/ FI UG 0.201 U	ags Ref Use 1 0 J 1 1 0	Interface 1 e1000g0 Vsw0 1000 0
primary# vi /etc. 5) vsw0のIP アドレスとオ primary# vi /etc. 7) vsw0のネットマスクを primary# vi /etc. 以下の記述を追加しま 192.168.11.0	/hostname.vsw0 たスト名を /etc/hosts ファイルに追記します。 /hosts 注定義します。 /netmasks ます。 255.255.255.0	ether 0;14:4f;f8:ba:9b	primary# netstat -rn Routing Table: IPv4 Destination Gateway default 192.168.10.1 192.168.10.0 192.168.10 192.168.10.0 192.168.10 2240.0.0 192.168.10.2	/ FI ↓ UG 0.201 L 1.1 U 201 U UH	lags Ref Use 	Interface 1 e1000g0 vsw0 e1000g0 lo0
primary# vi /etc. 5) vsw0のIPアドレスとオ primary# vi /etc. 7) vsw0のネットマスクを primary# vi /etc. 以下の記述を追加しま 192.168.11.0 2 3) ルーティングテーブル・	/hostname.vsw0 たスト名を /etc/hosts ファイルに追記します。 /hosts た変義します。 /netmasks ます。 255.255.255.0 を確認します。	ether 0;14:4f;f8:ba:9b	primary# netstat -rn Routing Table: IPv4 Destination Gateway default 192.168.10.1 192.168.10.0 192.168.10 192.168.10.0 192.168.10.2 192.168.10.0 192.168.10.2 127.0.0.1 127.0.0.1	/ FI UG 0.201 U 1.1 U 201 U UH	ags Ref Use 1 0 J 1 1 0 1 0 6 147	Interface 1 e1000g0 V sw0 e1000g0 lo0
primary# vi /etc. 5) vsw0のIPアドレスとオ primary# vi /etc. 7) vsw0のネットマスクを primary# vi /etc. 以下の記述を追加しま 192.168.11.0 3) ルーティングテーブル: primary# netstat	/hostname.vsw0 たスト名を /etc/hosts ファイルに追記します。 /hosts 定義します。 /netmasks ます。 255.255.255.0 を確認します。 t -rn	ether 0;14:4f:f8:ba:9b	primary# netstat -rn Routing Table: IPv4 Destination Gateway default 192.168.10. 192.168.10.0 192.168.10 192.168.10.0 192.168.10. 192.168.10.0 192.168.10. 192.168.10.0 192.168.10. 192.160.1 192.168.10. 192.169.10.0 192.168.10. 192.169.10.0 192.168.10. 192.169.10.0 192.168.10. 192.169.10.0 192.168.10. 192.169.10.0 192.168.10. 192.169.10.0 192.168.10. 192.169.10.0 192.168.10.100.100.100.100.100.100.100.100.100	/ FI UG).201 U 201 U UH	ags Ref Use 1 0 J 1 1 0 6 147	Interface 1 e1000g0 0 vsw0 e1000g0 lo0
primary# vi /etc. 5) vsw0のIPアドレスとオ primary# vi /etc. アimary# vi /etc. リマsw0のネットマスクを primary# vi /etc. 以下の記述を追加しま 192.168.11.0 3) ルーティングテーブル: primary# netstat	/hostname.vsw0 たスト名を /etc/hosts ファイルに追記します。 /hosts 定義します。 /netmasks ます。 255.255.255.0 を確認します。 t -rn	ether 0;14:4f:f8:ba:9b	primary# netstat -m Routing Table: IPv4 Destination Gateway default 192.168.10.1 192.168.10.0 192.168.10.1 192.168.10.0 192.168.10.1 224.0.0.0 192.168.10.1 224.0.0.0 192.168.10.1 27.0.0.1 127.0.0.1 primary# routeadm 構成現在C	γ FI UG 0.201 U 1.1 U 201 U UH	ags Ref Use 1 0 J 1 1 (1 0 6 147 現在の システィザ##	Interface 1 e1000g0 0 vsw0 e1000g0 lo0
primary# vi /etc. 6) vsw0のIPアドレスとオ primary# vi /etc. アimary# vi /etc. リマッシャマスクを primary# vi /etc. 以下の記述を追加しま 192.168.11.0 3) ルーティングテーブル: primary# netstat 9) ルーティング情報を確	/hostname.vsw0 たスト名を /etc/hosts ファイルに追記します。 /hosts 定義します。 /netmasks ます。 255.255.255.0 を確認します。 t -rn 認します。	ether 0;14:4f:f8:ba:9b	primary# netstat -rn Routing Table: IPv4 Destination Gateway default 192.168.10.1 192.168.10.0 192.168.10 192.168.10.0 192.168.10 192.168.0.0 192.168.10 127.0.0.1 192.168.10 127.0.0.1 127.0.0.1 primary# routeadm 構成 現在(オプション 構成	γ FI □ UG 0.201 L 1.1 U 201 U UH Ω	ags Ref Use 1 0 1 1 1 0 6 147 現在の システム状態	Interface 1 e1000g0 0 vsw0 e1000g0 lo0
primary# vi /etc. 5) vsw0のIPアドレスとオ primary# vi /etc. アimary# vi /etc. リアimary# vi /etc. 以下の記述を追加しま 192.168.11.0 3) ルーティングテーブル・ primary# netstat 9) ルーティング情報を確 primary# routea	/hostname.vsw0 たスト名を /etc/hosts ファイルに追記します。 /hosts 定義します。 /netmasks ます。 255.255.255.0 を確認します。 t -rn 認起ます。 idm	ether 0;14:4f;f8:ba:9b	primary# netstatrn Routing Table: IPv4 Destination Gateway default 192.168.10.1 192.168.10.0 192.168.10.1 192.168.10.0 192.168.10.1 192.168.10.0 192.168.10.1 192.168.10.0 192.168.10.1 192.108.10.0 192.108.10 192.108.10.0 192.108.10 192.108.100.108.10 192.108.100.108.108.10 192.108.108.108.108.108.108.108.108.108.108	√ FI UG 0.201 U 1.1 U 201 U UH Ø 5 sabled	ags Ref Use 1 0 1 1 0 1 0 6 147 現在の システム状態 disabled	Interface 1 e1000g0 vsw0 e1000g0 lo0
primary# vi /etc. 5) vsw0のIPアドレスとオ primary# vi /etc. primary# vi /etc. 以下の記述を追加しま 192.168.11.0 3) ルーティングテーブル: primary# netstat 9) ルーティング情報を確 primary# routea	/hostname.vsw0 たスト名を /etc/hosts ファイルに追記します。 /hosts 定義します。 /netmasks ます。 255.255.255.0 を確認します。 t -rn 認します。 idm	ether 0;14:4f;f8:ba:9b	primary# netstat -rn Routing Table: IPv4 Destination Gateway default 192.168.10.1 192.168.10.0 192.168.10 192.168.10.0 192.168.10 192.168.10.0 192.168.10 192.108.10.1 192.168.10 192.108.10.0 192.168.10 192.108.10 192.108.10 192.108.10 192.108.10 192.108.108.10 192.108.10 192.108.10 192.108.10 192.108.10 192.108.10 192.108.10 192.108.10 192.108.10 192.108.10 192.108.10 192.108.10 192.108.10 192.108.10 192.108.10 192.108.10 192.108.108.10 192.108.108.10 192.108.108.108.108.108.108.108.108.108.108	י Fi UG 0.201 U 201 U 201 U UH ס 3 sabled bled	ags Ref Use 1 0 1 1 1 0 6 147 現在の システム状態 disabled disabled	Interface 1 e1000g0 vsw0 e1000g0 lo0
primary# vi /etc. 5) vsw0のIPアドレスとオ primary# vi /etc. primary# vi /etc. 以下の記述を追加しま 192.168.11.0 3) ルーティングテーブル: primary# netstat 9) ルーティング情報を確認 primary# routea 10) 制御ドメインのIP7	/hostname.vsw0 たスト名を /etc/hosts ファイルに追記します。 /hosts 定義します。 /netmasks ます。 255.255.255.0 を確認します。 t -rn 認します。 idm #フーディングを有効にします。	ether 0:14:4f:f8:ba:9b	primary# netstat -rn Routing Table: IPv4 Destination Gateway default 192.168.10.1 192.168.10.0 192.168.10 192.168.10.0 192.168.10 127.0.0.1 192.168.10 127.0.0.1 127.00.1 primary# routeadm 構成現在 オプション 構成 IPv4 ルーティング di IPv6 ルーティング di IPv6 振送 disa	 ✓ FI UG 0.201 U 201 U 201 U 201 U 201 U 3abled bled bled 	ags Ref Use 1 0 1 1 1 0 6 147 現在の システム状態 disabled disabled disabled	Interface 1 e1000g0 e1000g0 lo0
primary# vi /etc. 6) vsw0のIPアドレスとオ primary# vi /etc. アimary# vi /etc. リマッシャマスクを primary# vi /etc. 以下の記述を追加しま 192.168.11.0 3) ルーティングテーブル・ primary# netstat 9) ルーティング情報を確 primary# routea 10) 制御ドメインのIPフェ primary# routea	/hostname.vsw0 たスト名を /etc/hosts ファイルに追記します。 /hosts 定義します。 /netmasks ます。 255.255.255.0 を確認します。 t -rn 認します。 idm aワーディングを有効にします。 idm -e ipv4-forwarding -u	ether 0:14:4f;f8:ba:9b	primary# netstat -rn Routing Table: IPv4 Destination Gateway default 192.168.10.1 192.168.10.0 192.168.10.1 192.168.10.0 192.168.10.1 127.00.1 192.168.10.1 127.00.1 192.168.10.1 127.00.1 192.168.10.1 127.00.1 192.168.10.1 170.1 192.168.10.1 192.168.10.0 192.168.10 192.168.10.0 192.168.11 240.00 192.168.11 240.00 192.168.11 240.00 192.168.11 240.00 192.168.11 240.00 192.168.11 240.00 192.168.11 192.168.10.0 192.168.10 192.168.10.0 192.168.10 192.170.10 192.168.10 192.170.10	 ✓ FI UG 0.201 U 201 U 201 U 201 U 3abled sabled bled bled 	ags Ref Use 1 0 1 1 1 0 6 147 現在の システム状態 disabled disabled disabled	Interface 1 e1000g0 vsw0 e1000g0 lo0
primary# vi /etc. 6) vsw0のIPアドレスとオ primary# vi /etc. アimary# vi /etc. フ vsw0のネットマスクを primary# vi /etc. 以下の記述を追加しま 192.168.11.0 3) ルーティングテーブル: primary# netstal primary# routea 10) 制御ドメインのIPフ: primary# routea 11) 設定した!!	/hostname.vsw0 たスト名を /etc/hosts ファイルに追記します。 /hosts 定義します。 /netmasks ます。 255.255.255.0 を確認します。 t -rn 認起ます。 idm オワーディングを有効にします。 idm -e ipv4-forwarding -u グ性細を確認します	ether 0:14:4f;f8:ba:9b	primary# netstat -m Routing Table: IPv4 Destination Gateway default 192.168.10.1 192.168.10.0 192.168.10.1 192.168.10.0 192.168.10.1 127.00.1 127.00.1 127.00.1 127.00.1 primary# routeadm 構成現在(オプション構成 IPv6 ルーティング di IPv6 転送 disa ~(省略)~ primary# routeadm	7 FI UG 0.201 U 201 U 201 U UH 0 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5	ags Ref Use 1 0 1 1 0 1 0 6 147 現在の システム状態 disabled disabled disabled	Interface 1 e1000g0 vsw0 e1000g0 lo0
primary# vi /etc. 6) vsw0のIPアドレスとオ primary# vi /etc. primary# vi /etc. マンシンクを primary# vi /etc. リマンシンクを primary# vi /etc. リントマンクを primary# vi /etc. リントマンクを リントマングテーブル・ primary# netstat コ) ルーティング情報を確 primary# routea 10) 制御ドメインのIPフ・ primary# routea 11) 設定したルーティン primary# routea	/hostname.vsw0 たスト名を /etc/hosts ファイルに追記します。 /hosts :定義します。 /netmasks ます。 255.255.255.0 を確認します。 は認します。 は認します。 idm オワーディングを有効にします。 idm -e ipv4-forwarding -u グ情報を確認します。	ether 0:14:4f;f8:ba:9b	primary# netstat -rn Routing Table: IPv4 Destination Gateway default 192.168.10. 192.168.10.0 192.168.10. 192.168.10.0 192.168.10. 127.00.1 127.00.1 127.00.1 127.00.1 primary# routeadm 構成 現在(オブション 構成 IPv4 ルーティング di IPv6 転送 disa IPv6 転送 disa ~(省略)~ primary# routeadm	2. 10.200 UG 0.201 U 201 U 201 U UH 0 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5	ags Ref Use 1 0 1 1 1 0 6 147 現在の システム状態 disabled disabled disabled disabled disabled disabled	Interface 1 e1000g0 vsw0 e1000g0 lo0
primary# vi /etc. 5) vsw0のIPアドレスとオ primary# vi /etc. primary# vi /etc. 10 vsw0のネットマスクを primary# vi /etc. リーティングテーブル・ primary# netstat 192.168.11.0 3) ルーティングテーブル・ primary# netstat primary# routea 10) 制御ドメインのIPフ・ primary# routea 11) 設定したルーティン primary# routea	/hostname.vsw0 たスト名を /etc/hosts ファイルに追記します。 /hosts :定義します。 /netmasks ます。 255.255.255.0 全確認します。 t -rn 認します。 idm オワーディングを有効にします。 idm -e ipv4-forwarding -u グ情報を確認します。 idm	ether 0:14.4f;f8;ba:9b	primary# netstat -rn Routing Table: IPv4 Destination Gateway default 192.168.10 192.168.10.0 192.168.10 192.168.10.0 192.168.10 192.168.10.0 192.168.10 192.168.10.0 192.168.10 192.168.10.0 192.168.10 192.168.10.0 192.168.10 192.179.10 192.1	2.10200 UG J.201 U 201 U 201 U UH WH sabled sabled bled bled	ags Ref Use 1 0 1 0 1 0 6 147 現在の システム状態 disabled disabled disabled disabled disabled disabled disabled	Interface 1 e1000g0 0 vsw0 e1000g0 lo0
primary# vi /etc. 5) vsw0のIPアドレスとオ primary# vi /etc. primary# vi /etc. フ) vsw0のネットマスクを primary# vi /etc. リンテの記述を追加しま 192.168.11.0 3) ルーティングテーブル・ primary# netstat primary# routea 10) 制御ドメインのIPフ・ primary# routea 11) 設定したルーティン primary# routea	/hostname.vsw0 たスト名を /etc/hosts ファイルに追記します。 /hosts :定義します。 /netmasks ます。 255.255.255.0 全確認します。 t -rn 認します。 idm オワーディングを有効にします。 idm -e ipv4-forwarding -u グ情報を確認します。 idm	ether 0:14.4f;f8;ba:9b	primary# netstat -m Routing Table: IPv4 Destination Gateway default 192.168.10 192.168.10.0 192.168.10 192.168.10.0 192.168.10 192.168.10.0 192.168.10 192.168.10.0 192.168.10 192.168.10.0 192.168.10 192.168.10.0 192.168.10 192.168.10 192.168.10 192.168.10 192.168.10 192.168.10 192.168.10 192.168.10 192.168.10 192.168.10 192.168.10 IPv4 ルーティング dit IPv4 ルーティング dit IPv4 ルーティング dit IPv4 ルーティング dit IPv4 ルーティング dit IPv4 ルーティング dit	7 Fi UG J.201 U 201 U 201 U UH D sabled bled bled bled bled	ags Ref Use 1 0 1 0 1 0 6 147 現在の システム状態 disabled disabled disabled disabled disabled disabled disabled disabled disabled disabled disabled disabled disabled	Interface 1 e1000g0 0 vsw0 e1000g0 lo0
primary# vi /etc. 6) vsw0のIPアドレスとオ primary# vi /etc. アimary# vi /etc. フ) vsw0のネットマスクを primary# vi /etc. 以下の記述を追加しま 192.168.11.0 3) ルーティングテーブル: primary# netstat の) ルーティング情報を確 primary# routea 10) 制御ドメインのIP7: primary# routea 11) 設定したルーティン primary# routea 5) ゲストドメインの設定	/hostname.vsw0 たスト名を /etc/hosts ファイルに追記します。 /hosts 定義します。 /netmasks ます。 255.255.255.0 を確認します。 t -rn 認します。 idm オワーディングを有効にします。 idm グ情報を確認します。 idm	ether 0:14:4f:f8:ba:9b	primary# netstat -m Routing Table: IPv4 Destination Gateway default 192.168.10 192.168.10.0 192.168.10 192.168.10.0 192.168.10 192.168.10.0 192.168.10 192.168.10.0 192.168.10 192.168.10.0 192.168.10 127.00.1 127.00.1 primary# routeadm 構成 現在(オプション 構成 IPv6 収一ティング dii IPv6 転送 disa マ(省略)~ primary# routeadm 構成 現在C オプション 構成 IPv4 ルーティング dii IPv4 ルーティング dii IPv4 ルーティング dii IPv4 ホーティング dii	 Fill 200 Fill 200 UG UG UG U U	ags Ref Use 1 0 1 0 1 0 6 147 現在の システム状態 disabled	Interface 1 e1000g0 0 vsw0 e1000g0 lo0
primary# vi /etc. 5) vsw0のIPアドレスとオ primary# vi /etc. primary# vi /etc. マッシーマスクを primary# vi /etc. リマシーマスクを primary# vi /etc. リマシーマスクを primary# vi /etc. リマシーマスクを primary# vi /etc. リマンシーマスクを リマーティングテーブル・ primary# netstat コ) ルーティング情報を確 primary# routea 10) 制御ドメインのIPフ・ primary# routea 11) 設定したルーティン primary# routea 5) ゲストドメインの設定 コ) ゲストドメインを起動し	/hostname.vsw0 たスト名を /etc/hosts ファイルに追記します。 /hosts :定義します。 /netmasks ます。 255.255.255.0 を確認します。 は認します。 は認します。 は個 オワーディングを有効にします。 が情報を確認します。 idm ・	ether 0:14:4f:f8:ba:9b	primary# netstat -m Routing Table: IPv4 Destination Gateway default 192.168.10. 192.168.10.0 192.168.10. 192.168.10.0 192.168.10. 127.00.1 127.00.1 127.00.1 127.00.1 primary# routeadm 構成 現在(オブション 構成 IPv4 ルーティング dii IPv6 転送 disa ~(省略)~ primary# routeadm 構成 現在(オブション 構成 IPv4 転送 disa [Pv6 転送 disa IPv6 転送 disa IPv6 転送 disa IPv6 転送 disa IPv6 転送 disa IPv6 転送 disa IPv6 転送 disa	2. 10.200 UG J.201 U 201 U 201 U 201 U UH Ø 5 sabled bled bled bled bled bled	ags Ref Use 1 0 1 1 1 0 6 147 現在の システム状態 disabled disabled disabled disabled disabled disabled disabled disabled disabled	Interface 1 e1000g0 vsw0 e1000g0 lo0
primary# vi /etc. 6) vsw0のIPアドレスとオ primary# vi /etc. primary# vi /etc. マッシーマスクを primary# vi /etc. リマッシーマスクを primary# vi /etc. リマシーマスクを primary# vi /etc. リンテの記述を追加しま 192.168.11.0 3) ルーティングテーブル: primary# netstat 9) ルーティング情報を確 primary# routea 10) 制御ドメインのIPフ: primary# routea 11) 設定したルーティン primary# routea 5) ゲストドメインの設定 アimary# Idm bin	/hostname.vsw0 たスト名を /etc/hosts ファイルに追記します。 /hosts 注定義します。 /netmasks ます。 255.255.255.0 を確認します。 は認します。 は認します。 はの オワーディングを有効にします。 idm ・コンソールにログインします。 nd-domain Idom1	ether 0:14:4f:f8:ba:9b	primary# netstat -m Routing Table: IPv4 Destination Gateway default 192.168.10. 192.168.10.0 192.168.10. 192.168.10.0 192.168.10. 192.168.11.0 192.168.11 224.00.0 192.168.10. 127.00.1 127.00.1 127.00.1 127.00.1 primary# routeadm 構成現在(オブション構成 IPv6 ルーティング di IPv6 転送 disa ~(省略)~ IPv4 転送 ena IPv4 転送 ena IPv4 転送 ena IPv4 転送 ena IPv4 転送 disa ~(省略)~	7 Fi UG 201 U 201 U 201 U 201 U UH 7 5 sabled sabled bled bled bled bled	ags Ref Use 1 0 1 1 0 1 0 6 147 現在の システム状態 disabled disabled disabled disabled disabled disabled disabled disabled disabled disabled disabled disabled disabled	Interface 1 e1000g0 vsw0 e1000g0 lo0
primary# vi /etc. 6) vsw0のIPアドレスとオ primary# vi /etc. アimary# vi /etc. フ vsw0のネットマスクを primary# vi /etc. 以下の記述を追加しま 192.168.11.0 3) ルーティングテーブル: primary# netstal の) ルーティング情報を確 primary# routea 10) 制御ドメインのIPフ: primary# routea 11) 設定したルーティン primary# Idm bit primary# Idm bit primary# Idm bit primary# Idm bit primary# Idm sta	/hostname.vsw0 たスト名を /etc/hosts ファイルに追記します。 /hosts 注定義します。 /netmasks ます。 255.255.255.0 を確認します。 は *ワーディングを有効にします。 idm *ワーディングを有効にします。 idm ・コンソールにログインします。 nd-domain Idom1 art-domain Idom1	ether 0:14.4f;f8;ba:9b	primary# netstat -m Routing Table: IPv4 Destination Gateway default 192.168.10.1 192.168.10.0 192.168.10.1 192.168.10.0 192.168.10.1 192.168.10.0 192.168.10.1 127.00.1 192.168.10.1 127.00.1 192.168.10.1 127.00.1 192.168.10.1 127.00.1 192.168.11 2240.0.0 192.168.11 240.0.0 192.168.11 240.0.1 192.168.11 240.0.1 192.168.11 240.0.1 192.168.11 240.0.1 192.168.11 192.168.10 192.168.11 IPv6 ルーティング dia IPv6 転送 disa ~(省略)~ IPv6 転送 disa ~(省略)~	7 FI UG 0.201 U 201 U 201 U 201 U UH 0 5 sabled bled bled bled bled bled	ags Ref Use 1 0 1 1 0 1 0 6 147 現在の システム状態 disabled disabled disabled disabled disabled disabled disabled disabled disabled disabled disabled disabled disabled disabled	Interface 1 e1000g0 vsw0 e1000g0 lo0
primary# vi /etc. 6) vsw0のIPアドレスとオ primary# vi /etc. アimary# vi /etc. レマションマンクを primary# vi /etc. リマションマンクを primary# vi /etc. リマションマンクを primary# vi /etc. リマションマンクを リマションクラーブル・ primary# netstal ロ) ルーティング情報を確 primary# routea ロ) 制御ドメインのIPフ・ primary# routea 1) 設定したルーティン primary# ldm stap	/hostname.vsw0 たスト名を /etc/hosts ファイルに追記します。 /hosts 注定義します。 /netmasks ます。 255.255.255.0 を確認します。 t -rn 認起ます。 idm オワーディングを有効にします。 idm -e ipv4-forwarding -u グ情報を確認します。 idm は、コンソールにログインします。 nd-domain Idom1 art-domain Idom1 localhost 5000	ether 0:14:4f:f8:ba:9b	primary# netstat -m Routing Table: IPv4 Destination Gateway default 192.168.10.1 192.168.10.0 192.168.10.1 192.168.10.0 192.168.10.1 192.168.10.0 192.168.10.1 127.00.1 127.00.1 127.00.1 127.00.1 primary# routeadm 構成現在で オプション構成 IPv6 ルーティング dia IPv6 転送 disa ~(省略)~ primary# routeadm 構成現在で オプション 構成 IPv4 ルーティング dia IPv6 転送 disa ~(省略)~	7 Fi UG 0.201 U 201 U 201 U 201 U UH 0 5 sabled sabled bled bled bled bled	ags Ref Use 1 0 1 1 0 1 0 6 147 現在の システム状態 disabled	Interface 1 e1000g0 vsw0 e1000g0 lo0
primary# vi /etc. 6) vsw0のIPアドレスとオ primary# vi /etc. アimary# vi /etc. マッシーマスクを primary# vi /etc. リマの記述を追加しま 192.168.11.0 3) ルーティングテーブル: primary# netstat ワ・レーティング情報を確 primary# routea 10) 制御ドメインのIPフ: primary# routea 11) 設定したルーティン primary# ldm staprimary# ldm staprimary# ldm staprimary# telnet 2) IPルーティングを発気的	/hostname.vsw0 たスト名を /etc/hosts ファイルに追記します。 /hosts :定義します。 /netmasks ます。 255.255.255.0 を確認します。 はます。 はない オワーディングを有効にします。 は体 オワーディングを有効にします。 idm メワーディングを有効にします。 idm ・ シーンノールにログインします。 nd-domain Idom1 art-domain Idom1 localhost 5000 ルニー・キャ	ether 0:14:4f:f8:ba:9b	primary# netstat -m Routing Table: IPv4 Destination Gateway default 192.168.10. 192.168.10.0 192.168.10. 192.168.10.0 192.168.10. 192.168.10.0 192.168.10. 192.168.10.0 192.168.10. 127.00.1 127.00.1 127.00.1 127.00.1 primary# routeadm 構成 現在(オブション 構成 IPv4 ルーティング dit IPv6 転送 disa ~(省略)~ primary# routeadm 構成 現在(オブション 構成 IPv4 転送 disa ~(省略)~ # routeadm 構成 現在(オブション 構成	 File 200 File 200 UG <	ags Ref Use 1 0 1 0 1 0 6 147 現在の システム状態 disabled	Interface 1 e1000g0 vsw0 e1000g0 lo0
primary# vi /etc. 5) vsw0のIPアドレスとオ primary# vi /etc. primary# vi /etc. U下の記述を追加しま 192.168.11.0 3) ルーティングテーブル: primary# netstat primary# routea 10) 制御ドメインのIP7: primary# routea 11) 設定したルーティン primary# ldm bit primary# ldm bit primary# ldm stap 10. 計算ドメインの設定 11.) 設定したルーティング アimary# ldm bit primary# ldm stap 10. サストドメインの設定 11. シストドメインの設定 12. ウマストドメインの設定 13. ウェストドメインの設定 14. ウェングを転勤 15. ウェストドメインの設定 16. ウェーティングを無効 17. レーティングを無効 17. レーティングを無効	/hostname.vsw0 たスト名を /etc/hosts ファイルに追記します。 /hosts :定義します。 /netmasks ます。 255.255.255.0 を確認します。 *255.255.255.0 を確認します。 *255.255.255.0 を確認します。 *255.255.255.0 を確認します。 *3000 *255.255.255.0 *255.255.255.0 *255.255.255.0 *255.255.255.0 *255.255.255.0 *255.255.255.0 *255.255.255.0 *255.255.255.0 *255.255.255.0 *255.255.255.0 *255.255.255.0 *255.255.255.0 *255.255.255.0 *255.255.255.0 *255.255.255.0 *255.255.255.0 *255.255.255.0 *255.255.255.0 *255.255.255.0 *270.255.255.255.0 *270.255.255.255.255.0 *270.255.255.255.255.0 *270.255.255.255.255.255.255.255.255.255.25	ether 0:14:4f:f8:ba:9b	primary# netstat -m Routing Table: IPv4 Destination Gateway default 192.168.10. 192.168.10.0 192.168.10. 192.168.10.0 192.168.10. 192.168.10.0 192.168.10. 192.168.10.0 192.168.10. 127.00.1 127.00.1 primary# routeadm 構成 現在(オブション 構成 IPv6 ルーティング dii IPv6 転送 disa ~(省略)~ primary# routeadm 構成 現在(オブション 構成 IPv4 ルーティング dii IPv6 転送 disa ~(省略)~ # routeadm 構成 現在(オブション 構成	7 Fi UG D.201 U D.201 U 201 U UH 0 5 sabled sabled bled bled bled bled bled bled	ags Ref Use 1 0 1 0 1 0 6 147 現在の システム状態 disabled	Interface 1 e1000g0 vsw0 e1000g0 lo0
primary# vi /etc. primary# vi /etc. primary# vi /etc. primary# vi /etc. UFの記述を追加しま 192.168.11.0 2) ルーティングテーブル: primary# netstat primary# routea 10) 制御ドメインのIP7: primary# routea 11) 設定したルーティン primary# ldm bit primary# ldm bit primary# ldm stap 10 対ストドメインの設定 11) 設定したルーティングを経動[primary# ldm stap primary# ldm stap primary# ldm stap primary# routead 10) 非常などの意識	/hostname.vsw0 たスト名を /etc/hosts ファイルに追記します。 /hosts :定義します。 /netmasks ます。 255.255.255.0 を確認します。 *255.255.255.0 を確認します。 *10 *255.255.255.0 を確認します。 *10 *255.255.255.0 を確認します。 *255.255.255.0 *255.255.255.0 *255.255.255.0 *26歳25.255.255.0 *27.25	ether 0:14.4f;f8:ba:9b	primary# netstat -m Routing Table: IPv4 Destination Gateway default 192.168.10. 192.168.10.0 192.168.10. 192.168.10.0 192.168.10. 192.168.10.0 192.168.10. 192.168.10.0 192.168.10. 127.00.1 127.00.1 primary# routeadm 構成 現在(オブション 構成 IPv4 ルーティング di IPv6 転送 disa ~(省略)~ primary# routeadm 構成 現在(オブション 構成 IPv4 レーティング di IPv6 転送 disa ~(省略)~ # routeadm 構成 現在(オブション 構成 IPv4 転送 disa ~(省略)~	 File 200 File 200 UG UG UG UG UG UG UG UG UG Sabled Sabled bled Sabled sabled bled 	ags Ref Use 1 0 1 0 1 0 6 147 現在の システム状態 disabled	Interface 1 e1000g0 0 vsw0 e1000g0 lo0

	Oracle VM Server for SPARCを使ってみよう(構築・運用	用手順書)		作贞	йН	2012	年2月		
3)ネットワーク	7構成情報を確認します。		# ifconfig -a						
Idom1# i	ifconfig -a		8232 index	1 	-,LOOFB/	AON, NOI	INTRING, INT	ULTICAST,	IF V4, VIR I
			inet 1: vnet0: flags:	27.0.0.1 netma =1000843 <up,< td=""><td>ask ff0000 ,BROADC</td><td>)00 AST,RU</td><td>INNING,M</td><td>IULTICAST</td><td>,IPv4> mtu</td></up,<>	ask ff0000 ,BROADC)00 AST,RU	INNING,M	IULTICAST	,IPv4> mtu
4) 仮想ネット「	ワークデバイスのIPアドレスを変更します。		index 2 inet 1	92 168 10 202	netmask	fffff00 F	broadcast	+ 192 168 10	255
ldom1# i	Ifconfig vnet0 192.168.11.2 netmask 255.255.255.0 bro	badcast + up	ether	0:14:4f:fa:98:1	1		51 0440451	. 102.100.10	
 5)設定した構 	構成情報を確認します。	#:C C							
ldom1# i	ifconfig -a	# ifconfig -a lo0: flags=20010008	49 <up,loop< td=""><td>BACK,RUNNI</td><td>NG,MULT</td><td>ICAST,I</td><td>Pv4,VIRT</td><td>UAL> mtu 8</td><td>3232 index</td></up,loop<>	BACK,RUNNI	NG,MULT	ICAST,I	Pv4,VIRT	UAL> mtu 8	3232 index
•		inet 127.0.0.1 vnet0: flags=100084	netmask ff00 I3 <up,broad< td=""><td>0000 DCAST,RUNNI</td><td>ING,MUL1</td><td>TICAST,I</td><td>IPv4> mtı</td><td>u 1500 inde</td><td>x 2</td></up,broad<>	0000 DCAST,RUNNI	ING,MUL1	TICAST,I	IPv4> mtı	u 1500 inde	x 2
6) IERM 環境	記念数を設定します。	inet 192.168.	1.2 netmask *	ffffff00 broadc	ast 192.1	68.11.25	55		
7) /etc/hosts	っファイルのIPアドレスを設定した値に変更します。								
Idom1# v	vi /etc/hosts								
以下の記述 102 149									
192.108.									
0) (1) (1)									
8) /etc/netma	asksのスットマスクを发更します。								
	۷۱ /etc/netmasks								
192,168	xx 0 255 255 255 0								
17211001		# nets	tat -rn 19 Table: IPv4						
9) ルーティング	グテーブルを確認します。	Dest	ination	Gateway	Flags	Ref	Use Ir	nterface	
Idom 1 # r	notetat rn		8110 1	92.168.11.2	U	1	0 vne	et0	
Idonn'n I		192.10							
		224.0. 127.0.	0.0 19 0.1 12	2.168.11.2 7.0.0.1	U UH	1 4	0 vnet(125 lo0	0	
		192.11 224.0.1 127.0.1	0.0 19 0.1 12	2.168.11.2 7.0.0.1	U UH	1 4	0 vnet0 125 lo0	0	
10) ゲストドメ	インのデフォルトルータをvsw0に設定します。	224.0. 127.0.	0.0 19 0.1 12 net default: g	2.168.11.2 7.0.0.1 gateway 192.	U UH 168.11.1	1 4	0 vnet(125 lo0	0	
10) ゲストドメ Idom1# r	インのデフォルトルータをvsw0に設定します。 route -p add default 192.168.11.1	add r	0.0 19 0.1 12 net default: g bersistent ne	2.168.11.2 7.0.0.1 gateway 192. et default: ga	U UH 168.11.1 iteway 19	1 4 92.168.1	0 vnet0 125 lo0 11.1	0	
10) ゲストドメ Idom1# r ※ -p オブ3	RetStat - III インのデフォルトルータをvsw0に設定します。 route -p add default 192.168.11.1 ションで再起動後も反映されます。	add r add r # net	0.0 19 0.1 12 net default: g versistent ne stat -m	2.168.11.2 7.0.0.1 gateway 192. et default: ga	U UH 168.11.1 teway 1	1 4 92.168.1	0 vnet0 125 lo0 11.1	0	
10) ゲストドメ Idom1# r ※ -p オブ: 11) ルーティン	インのデフォルトルータをvsw0に設定します。 route -p add default 192.168.11.1 ションで再起動後も反映されます。 ッグテーブルを確認します。	add r add r Routi Des	0.0 19 0.1 12 beet default: g beersistent ne stat -rn ng Table: IPv- tination	2.168.11.2 7.0.0.1 gateway 192. st default: ga	U UH 168.11.1 teway 19	1 4 92.168.1	0 vnet(125 lo0 11.1	Interface	
10) ゲストドメ Idom1# r ※ -p オブ: 11) ルーティン Idom1# r	Aインのデフォルトルータをvsw0に設定します。 route -p add default 192.168.11.1 ションで再起動後も反映されます。 ノグテーブルを確認します。 netstat -rn	add r add r add g # net Des	0.0 19 0.1 12 het default: g versistent ne stat -rn ng Table: IPv- tination	2.168.11.2 7.0.0.1 gateway 192. et default: ga Gateway	U UH .168.11.1 teway 1 Flag	1 4 92.168.1 is Ref	0 vnet(125 lo0 11.1 Use	0 Interface	
10) ゲストドメ Idom1# r ※ -p オブ 11) ルーティン Idom1# r 12 <u>)</u> ゲストドメ	RetStat - m RetStat - m RetStat - m RetStat - m route -p add default 192.168.11.1 ションで再起動後も反映されます。 - グテーブルを確認します。 netstat - rn RetStat - rn	add r add r add g add add a add add	0.0 19 0.1 12 bersistent ne stat -rn ng Table: IPv- tination ult 1 68.11.0	2.168.11.2 7.0.0.1 sateway 192. st default: ga Gateway 92.168.11.1 192.168.11.2	U UH .168.11.1 teway 1 Flag UG U	1 4 92.168.1 is Ref 1	0 vnet(125 lo0 11.1 Use 0 vn	Interface et0	
10) ゲストドメ Idom1# r ※ -p オブ: 11) ルーティン Idom1# r 12) ゲストドメ Idom1# g	パンのデフォルトルータをvsw0に設定します。 route -p add default 192.168.11.1 ションで再起動後も反映されます。 パブテーブルを確認します。 netstat -rn パインから外部サーバへアクセスできることを確認します。 ping 192.168.10.x	add r add r add g # net Des defa 192.1 224.0 192.1 224.0 224.0 192.1 224.0 192.1 224.0 192.1 224.0	0.0 19 0.1 12 bet default: generalistent nersistent nersis	2.168.11.2 7.0.0.1 gateway 192. st default: ga Gateway 92.168.11.1 192.168.11.2 92.168.11.2 92.168.11.2	U UH .168.11.1 teway 1 Flag UG U U U U U	1 4 92.168.1 (5) Ref 1 1 4	0 vnet(125 lo0 11.1 Use 0 0 vnr 0 vnr 125 lo0	Interface et0 t0	
10) ゲストドメ Idom1# r ※ -p オブジ 11) ルーティン Idom1# r 12) ゲストドメ Idom1# p	Aインのデフォルトルータをvsw0に設定します。 route -p add default 192.168.11.1 ションで再起動後も反映されます。 ノグテーブルを確認します。 netstat -rn Aインから外部サーバへアクセスできることを確認します。 ping 192.168.10.x	822.10 224.0 127.0 add r add r Routi Des defa 192.1 224.0 192.1 224.0 127.0	0.0 19 0.1 12 het default: g stat -rn ng Table: IPvr tination dit 1 68.11.0 .0.0 1 .0.1 1	2.168.11.2 7.0.0.1 gateway 192. et default: ga gateway 92.168.11.1 192.168.11.2 92.168.11.2 27.0.0.1	U UH .168.11.1 teway 19 Flag UG U U U U U	1 4 92.168.1 s Ref 1 1 4	0 vnet(125 lo0 11.1 Use 0 0 vnet 125 lo0	Interface et0 t0	
10) ゲストドメ 10) ゲストドメ 10) ルーティン 11) ルーティン 12) ゲストドメイン) ゲストドメイン	ペインのデフォルトルータをvsw0に設定します。 route -p add default 192.168.11.1 ションで再起動後も反映されます。 パグテーブルを確認します。 netstat -rn ペインから外部サーバへアクセスできることを確認します。 ping 192.168.10.x ての冗長化 マックに長化	add r add r add g # net Bes defau 192.1 224.0 127.0	2.0 19 2.1 12 beersistent ne stat -rn ng Table: IPv- tination att 1 68.11.0 .0.0 1 .0.1 1	2.168.11.2 7.0.0.1 gateway 192. st default: ga Gateway 92.168.11.2 92.168.11.2 92.168.11.2 92.7.0.0.1	U UH .168.11.1 teway 19 Flag U U U U U U U	1 4 92.168.1 (s Ref 1 1 4	0 vnet0 125 lo0 11.1 Use 0 vnet 125 lo0	Interface et0 t0	
10) ゲストドメ Idom1# r ※ -p オブ: 11) ルーティン Idom1# r 12) ゲストドメイン 1) IPMP構築 primary#	パンのデフォルトルータをvsw0に設定します。 route -p add default 192.168.11.1 ションで再起動後も反映されます。 パブテーブルを確認します。 netstat -rn パンから外部サーバへアクセスできることを確認します。 ping 192.168.10.x での冗長化 周仮想スイッチを作成します。 # Idm add_vsw pet.dev=e1000g2 primary_vsw1 primary	add r add r add g # net Des defat 192.1 224.0 127.0	0.0 19 0.1 12 het default: g eersistent ne stat -rn ng Table: IPve tination dt 1 68.11.0 .0.0 1 .0.1 1	2.168.11.2 7.0.0.1 gateway 192. tt default: ga 92.168.11.1 192.168.11.2 92.168.11.2 92.168.11.2	U UH .168.11.1 tteway 1 Flag U U U U U U	1 4 92.168.1 35 Ref 1 1 4	0 vnet0 125 lo0 11.1 Use 0 0 vnr 125 lo0	Interface et0 t0	
10) ゲストドメ Idom1# r ※ -p オブジ 11) ルーティン Idom1# r 12) ゲストドメ Idom1# p) ゲストドメイン 1) IPMP構築 primary# primary#	<pre>inclust -m inclust -m inclust -m inclust -m inclust -m inclust -p add default 192.168.11.1 inclust -p add default 192.168.11.1 inclust -r inclust -</pre>	add r 224.0 127.0 127.0 # net Des defa 192.1 224.0 127.0	b.0 19 D.1 12 het default: g het default: g stat -m ng Table: IPvr tination alt 1 68.11.0 0.0 1 0.0 1 1	2.168.11.2 7.0.0.1 gateway 192. et default: ga gateway 92.168.11.1 192.168.11.2 92.168.11.2 27.0.0.1	U UH .168.11.1 tteway 19 U U U U U U U	1 4 992.168.1 1 1 4	0 vnet0 125 lo0 11.1 Use 0 vnet 125 lo0	Interface et0 t0	
10) ゲストドメ 10) ゲストドメ 10) ルーティン 11) ルーティン 12) ゲストドメイン 12) ゲストドメイン 1) IPMP構築F primary# primary#	パインのデフォルトルータをvsw0に設定します。 route -p add default 192.168.11.1 ションで再起動後も反映されます。 パグテーブルを確認します。 netstat -rn パインから外部サーバへアクセスできることを確認します。 ping 192.168.10.x での冗長化 用仮想スイッチを作成します。 ギ Idm add-vsw net-dev=e1000g2 primary-vsw1 primary # Idm add-vsw net-dev=e1000g3 primary-vsw2 primary	add r 224.0 127.0 add r add g # net Des defat 192.1 224.0 127.0	0.0 19 0.1 12 0.1 12 0.1 12 00ersistent ne stat -rn ng Table: IPv- tination 0.0 1 0.0 1 0.0 1	2.168.11.2 7.0.0.1 gateway 192. et default: ga gateway 92.168.11.1 192.168.11.2 92.168.11.2 27.0.0.1	U UH 1168.11.1 teway 19 Flag U U U U U U	1 4 92.168.1 s. Ref 1 1 4	0 vnet0 125 lo0 11.1 Use 0 0 vnet 125 lo0	Interface et0 t0	
10) ゲストドメ Idom1# r ※ -p オブ3 11) ルーティン Idom1# r 12) ゲストドメ Idom1# r 12) ゲストドメイン 1) IPMP構築 primary# primary# 2) 設定した構	パンのデフォルトルータをvsw0に設定します。 route -p add default 192.168.11.1 ションで再起動後も反映されます。 パクテーブルを確認します。 netstat -rn パンから外部サーバへアクセスできることを確認します。 ping 192.168.10.x での冗長化 用仮想スイッチを作成します。 ギ Idm add-vsw net-dev=e1000g2 primary-vsw1 primary # Idm add-vsw net-dev=e1000g3 primary-vsw2 primary 成情報をILOM(Service Processor)に上書を保存します。 # Idm add-config_er config_ipmp	add r add r add g # net Rout Des defa 192.1 224.0 127.0	0.0 19 0.1 12 het default: g eersistent ne stat -rn ng Table: IPv- tination dt 1 68.11.0 .0.0 1 .0.1 1	2.168.11.2 7.0.0.1 gateway 192. st default: ga gateway 92.168.11.2 92.168.11.2 92.168.11.2 92.168.11.2	U UH 168.11.1 tteway 19 Flag U U U U U U	1 4 92.168.1 1 1 4	0 vnet0 125 lo0 11.1 Use 0 0 vnet 125 lo0	Interface et0 t0	
10) ゲストドメ Idom1# r ※ -p オブジ 11) ルーティン Idom1# r 12) ゲストドメイン 1) IPMP構築 primary# primary# primary#	パインのデフォルトルータをvsw0に設定します。 route -p add default 192.168.11.1 ションで再起動後も反映されます。 ングテーブルを確認します。 netstat -rn パインから外部サーバへアクセスできることを確認します。 ping 192.168.10.x での冗長化 用仮想スイッチを作成します。 ギ Idm add-vsw net-dev=e1000g2 primary-vsw1 primary # Idm add-vsw net-dev=e1000g3 primary-vsw2 primary 成情報をILOM(Service Processor)に上書き保存します。 # Idm add-config -r config_ipmp	192.11 224.0 127.0 add r add r Routi Des defa 192.1 224.0 127.0	0.0 19 0.1 12 het default: g eersistent ne stat -rn ng Table: IPvr tination dt 1 68.11.0 .0.0 1 .0.0 1	2.168.11.2 7.0.0.1 sateway 192. et default: ga 92.168.11.1 192.168.11.2 92.168.11.2 27.0.0.1	U UH 168.11.1 tteway 19 Flag UG U U U U U	1 4 992.168.1	0 vnet0 125 lo0 11.1 Use 0 vnet 125 lo0	Interface et0 t0	
10) ゲストドメ Idom1# r ※ -p オブジ 11) ルーティン Idom1# r 12) ゲストドメイン 10) アブストドメイン 1) IPMP構築が primary# 2) 設定した構成 primary# 3) 仮想ネット*	ペインのデフォルトルータをvsw0に設定します。 route -p add default 192.168.11.1 ションで再起動後も反映されます。 パケテーブルを確認します。 netstat -rn ペインから外部サーバへアクセスできることを確認します。 ping 192.168.10.x での冗長化 用仮認スイッチを作成します。 ギ Idm add-vsw net-dev=e1000g2 primary-vsw1 primary # Idm add-vsw net-dev=e1000g3 primary-vsw2 primary 成情報をILOM(Service Processor)に上書き保存します。 ギ Idm add-config -r config_ipmp ワーク(vnet0)の設定を変更します。 ギ Idm add-upt liplarene physic state uswitch primary	add r 224.0. 127.0. add r add g # net Des defa 192.1 224.0 127.0. 224.0 127.0. 127.0.	0.0 19 0.1 12 0.1 12 0.1 12 0.1 12 0.0 11 0.0 10 0.0 1 0.0 100 100 10000000000	2.168.11.2 7.0.0.1 gateway 192. st default: ga gateway 92.168.11.2 92.168.11.2 92.168.11.2 92.168.11.2	U UH 168.11.1 teway 19 Flag U U U U U U	1 4 92.168.1 s Ref 1 1 4	0 vnet0 125 lo0 11.1 Use 0 vnet 125 lo0	Interface et0 t0	
10) ゲストドメ Idom1# r ※ -p オブ: 11) ルーティン Idom1# r 12) ゲストドメイン 1) IPMP構築 primary# 2) 設定した構計 primary# 3) 仮想ネット「	ペインのデフォルトルータをvsw0に設定します。 route -p add default 192.168.11.1 ションで再起動後も反映されます。 パブテーブルを確認します。 netstat -rn ペインから外部サーバへアクセスできることを確認します。 ping 192.168.10.x での冗長化 用仮想スイッチを作成します。 ギ Idm add-vsw net-dev=e1000g2 primary-vsw1 primary # Idm add-vsw net-dev=e1000g3 primary-vsw2 primary 成情報をILOM(Service Processor)に上書き保存します。 ギ Idm add-config -r config_ipmp ワーク(vnet0)の設定を変更します。 ギ Idm set-vnet linkprop=phys-state vswitch=primary-vs	400 million 192.1 127.0 add r add r add r Routi Des defa 192.1 224.0 127.0 127.0 127.0 192.1 224.0 192.1	m2	2.168.11.2 7.0.0.1 gateway 192. et default: ga 92.168.11.1 192.168.11.2 92.168.11.2 27.0.0.1	U UH .168.11.1 teway 1 Flag U U U U U U	1 4 92.168.1 1 1 4	0 vnet0 125 lo0 11.1 0 0 vnet0 125 lo0	Interface et0 t0	
10) ゲストドメ Idom1# r ※ -p オブ3 11) ルーティン Idom1# r 12) ゲストドメイン 12) ゲストドメイン 11) IPMP構築F primary# primary# 2) 設定した構計 primary# 3) 仮想ネット* primary# 4) 仮想ネット*	ペインのデフォルトルータをvsw0に設定します。 route -p add default 192.168.11.1 ションで再起動後も反映されます。 パグテーブルを確認します。 netstat -rn ペインから外部サーバへアクセスできることを確認します。 ping 192.168.10.x での冗長化 用仮想スイッチを作成します。 ギ Idm add-vsw net-dev=e1000g2 primary-vsw1 primary # Idm add-vsw net-dev=e1000g3 primary-vsw2 primary 成情報をILOM(Service Processor)に上書き保存します。 ギ Idm add-config -r config_ipmp ワーク(vnet0)の設定を変更します。 ギ Idm set-vnet linkprop=phys-state vswitch=primary-vs アーク(vnet1)を作成します。	400 million add r add r add r add r Routi Des defat 192.1 224.0 127.0 192.1 224.0 127.0 192.1 224.0 192.1 224.0 192.1 224.0 192.1	0.0 19 0.1 12 0.1 12 0.1 12 0.1 12 0.0 19 0.0 10 0.0 1 0.0 100 10000000000	2.168.11.2 7.0.0.1 gateway 192. st default: ga gateway 92.168.11.2 92.168.11.2 92.168.11.2 92.168.11.2 92.10.1	U UH 168.11.1 teway 19 U U U U U U U	1 4 92.168.1 1 1 4	0 vnet0 125 lo0 11.1 Use 0 0 vnet 125 lo0	Interface et0 t0	
10) ゲストドメ Idom1# r ※ -p オブジ 11) ルーティン Idom1# r 12) ゲストドメイン 12) ゲストドメイン 10 IPMP構築/ primary# primary# 3) 仮想ネットワ primary# 4) 仮想ネットワ primary#	ペインのデフォルトルータをvsw0に設定します。 route -p add default 192.168.11.1 ションで再起動後も反映されます。 メグテーブルを確認します。 netstat -rn ペインから外部サーバへアクセスできることを確認します。 ping 192.168.10.x での冗長化 周仮想スイッチを作成します。 ギ Idm add-vsw net-dev=e1000g2 primary-vsw1 primary ギ Idm add-vsw net-dev=e1000g3 primary-vsw2 primary 素 Idm add-config -r config_ipmp ワーク(vnet0)の設定を変更します。 ギ Idm set-vnet linkprop=phys-state vswitch=primary-vsw2 アーク(vnet1)を作成します。 ギ Idm add-vnet linkprop=phys-state vnet1 primary-vsw2	add r 224.0 127.0 add r add r Rout Des defat 192.1 224.0 127	m2	2.168.11.2 7.0.0.1 gateway 192. st default: ga gateway 92.168.11.2 92.168.11.2 92.168.11.2 92.168.11.2	U UH I168.11.1 tteway 14 Flag U U U U U U	1 4 92.168.1 1 1 4	0 vnet0 125 lo0 11.1 Use 0 vnet 125 lo0	Interface et0 t0	
10) ゲストドメ Idom1# r ※ -p オブ? 11) ルーティン Idom1# r 12) ゲストドメイン? 1) アクトドメイン? 1) PMP構築F primary# 2) 設定した構計 primary# 3) 仮想ネットワ primary# 4) 仮想ネットワ primary# 5) Idom2を超	ペインのデフォルトルータをvsw0に設定します。 route -p add default 192.168.11.1 ションで再起動後も反映されます。 パブテーブルを確認します。 netstat -rn ペインから外部サーバへアクセスできることを確認します。 ping 192.168.10.x での冗長化 用仮想スイツチを作成します。 ギ Idm add-vsw net-dev=e1000g2 primary-vsw1 primary 炭情報をILOM(Service Processor)に上書き保存します。 ギ Idm add-config -r config_ipmp ワーク(vnet0)の設定を変更します。 ギ Idm set-vnet linkprop=phys-state vswitch=primary-vsw2 アーク(vnet1)を作成します。 ギ Idm add-vnet linkprop=phys-state vnet1 primary-vsw2	4 192.1 224.0 127.0 add r add r Routi Des defa 192.1 224.0 127.0 192.1 w1 vnet0 Ido 2 Idom2	0.0 19 0.1 12 0.1 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 1	2.168.11.2 7.0.0.1 sateway 192. et default: ga 92.168.11.1 192.168.11.2 92.168.11.2 27.0.0.1	U UH 168.11.1 tteway 19 UG U U U U U U	1 4 992.168.1 1 1 1 4	0 vnet0 125 lo0 11.1 Use 0 vnet 125 lo0	Interface et0 t0	
10) ゲストドメ Idom1# r ※ -p オブジ 11) ルーティン Idom1# r 12) ゲストドメイン Idom1# r 12) ゲストドメイン Idom1# r 12) ゲストドメイン Idom1# r 1) IPMP構築F primary# 2) 設定した構計 primary# 3) 仮想ネットワ primary# 4) 仮想ネットワ primary# 5) Idom2を起 primary#	ペインのデフォルトルータをvsw0に設定します。 route -p add default 192.168.11.1 ションで再起動後も反映されます。 パクテーブルを確認します。 netstat -rn ペインから外部サーバへアクセスできることを確認します。 ping 192.168.10.x での冗長化 用仮想スイッチを作成します。 ギ Idm add-vsw net-dev=e1000g2 primary-vsw1 primary # Idm add-vsw net-dev=e1000g3 primary-vsw2 primary 成情報をILOM(Service Processor)に上書き保存します。 ギ Idm add-config -r config_ipmp ワーク(vnet0)の設定を変更します。 ギ Idm set-vnet linkprop=phys-state vswitch=primary-vsw2 アーク(vnet1)を作成します。 * Idm add-vnet linkprop=phys-state vnet1 primary-vsw2 * Idm add-vnet linkprop=phys-state vnet1 primary-vsw2 * Idm bind-domain Idom2	4000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000	0.0 19 0.1 12 0.1 12 0.1 12 0.1 12 0.0 19 0.0 10 0.0 1 0.0 100 100 100 10000000000	2.168.11.2 7.0.0.1 gateway 192. et default: ga gateway 92.168.11.2 92.168.11.2 92.168.11.2 92.168.11.2 92.168.11.2 92.168.11.2	U UH 168.11.1 teway 19 Flag U U U U U U H	1 4 92.168.1 5 8 Ref 1 1 4	0 vnet0 125 lo0 11.1 Use 0 0 vnr 125 lo0	Interface et0 t0	
10) ゲストドメ Idom1# r ※ -p オブ3 11) ルーティン Idom1# r 12) ゲストドメイン Idom1# r 12) ゲストドメイン Idom1# r 12) ゲストドメイン Idom1# r アimary# primary# アimary# の想ネットワ primary# 5) Idom2を起 primary# primary#	ペインのデフォルトルータをvsw0に設定します。 route -p add default 192.168.11.1 ションで再起動後も反映されます。 パケーブルを確認します。 netstat -rn ペインから外部サーバへアクセスできることを確認します。 ping 192.168.10.x での冗長化 用仮認スイッチを作成します。 ギ Idm add-vsw net-dev=e1000g2 primary-vsw1 primary ★ Idm add-vsw net-dev=e1000g3 primary-vsw2 primary 成情報をILOM(Service Processor)に上書き保存します。 ギ Idm add-config -r config_ipmp ワーク(vnet0)の設定を変更します。 ギ Idm set-vnet linkprop=phys-state vswitch=primary-vsw2 アーク(vnet1)を作成します。 ギ Idm add-vnet linkprop=phys-state vnet1 primary-vsw2 アーク(vnet1)を作成します。 ギ Idm bind-domain Idom2 ギ Idm start-domain Idom2	400 1 127.01 127.01 127.01 127.01 127.01 127.01 127.01 122.4.0 122.4.0 127.01	0.0 19 0.1 12 Deersistent ne stat -rn ng Table: IPv- tination 1 68.11.0 0.0 1 0.0 1 0.0 1 m2	2.168.11.2 7.0.0.1 gateway 192. st default: ga gateway 92.168.11.2 92.168.11.2 92.168.11.2 92.168.11.2 92.168.11.2 92.168.11.2	U UH 168.11.1 teway 19 Flag U U U U U U	1 4 92.168.1 1 1 4	0 vnet0 125 lo0 11.1 Use 0 vnet 125 lo0	Interface et0 t0	
10) ゲストドメ Idom1# r ※ -p オブ? 11) ルーティン Idom1# r 12) ゲストドメイン? 12) ゲストドメイン? 11) IPMP構築// primary# 2) 設定した構) primary# 3) 仮想ネットワ primary# 4) 仮想ネットワ primary# 5) Idom2を起 primary# 6) Idom2にロー	ペインのデフォルトルータをvsw0に設定します。 route -p add default 192.168.11.1 ションで再起動後も反映されます。 パブテーブルを確認します。 netstat -rn ペインから外部サーバへアクセスできることを確認します。 ping 192.168.10.x ての冗長化 周仮想スイッチを作成します。 ギ Idm add-vsw net-dev=e1000g2 primary-vsw1 primary # Idm add-vsw net-dev=e1000g3 primary-vsw2 primary 成情報をILOM(Service Processor)に上書き保存します。 ギ Idm add-config -r config_ipmp ワーク(vnet0)の設定を変更します。 ギ Idm set-vnet linkprop=phys-state vswitch=primary-vsw2 アーク(vnet1)を作成します。 ギ Idm add-vnet linkprop=phys-state vnet1 primary-vsw2 マーク(vnet1)を作成します。 ギ Idm bind-domain Idom2 * Idm bind-domain Idom2 * Idm start-domain Idom2 * Jdm start-domain Idom2	4 192.4.0 224.0 127.0 add r add r Routi Des defa 192.1 224.0 127.0 1	net default: g net default: g versistent ne stat -rn ng Table: IPvr tination .0.0 1 .0.0 1 .0.1 1 m2	2.168.11.2 7.0.0.1 sateway 192. st default: ga gateway 92.168.11.1 192.168.11.2 92.168.11.2 92.168.11.2 92.168.11.2 92.168.11.2 92.168.11.2	U UH 168.11.1 tteway 19 U U U U U U	1 4 92.168.1 1 1 4	0 vnet0 125 lo0 11.1 Use 0 vnet 125 lo0	Interface et0 t0	

	Oracle VM Server for SPARCを使って	みよう(構築・運用手順書)	作成日	2012年2月
7)仮想ネットワ-	-クを確認します。			
ldom2# dla	adm show-link			
8) TERM環境変	数を設定します。			
Idom2# TE	RM=VTIOU; export TERM			
9) <u>ネットワーク構</u>	成定義ファイルをIPMP用に編集します。			
ldom2# vi	/etc/hostname.vnet0			
以下の記述を	入力します。			
Idom2 netr	mask + broadcast + group ipmp-g up			
書式 <ホスト	名> netmask + broadcast + group <グループ名	i> up		
10) e1000g1 0	ネットワーク構成定義ファイルを新規に作成します。			
Idom2# vi	/etc/hostname.vnet1			
以下の記述を	入力します。			
group ipmp	o-g standby up	Oct 25 11:56:39 in mosthd[235]: No test address conf	gured on interfa	ce vnet1: dicabling probe-based failure dete
書式 group <	< グループ名 > standby up	on it	gureu on interna	ce viert, disabiling probe based failure deter
11 <u>)ゲストドメイ:</u>	vldom2を再起動します。	Oct 25 11:56:39 in.mpathd[235]: No test address confi on it	gured on interfa	ce vnet0; disabling probe-based failure dete
Idom2# sh	utdown -y -g0 -i6			
※ 起動時に	Eラーメッセージが表示されますが、問題ありません	# ifconfig -a % lo0: flags=2001000849 <up,loopback,running,mu< td=""><td>LTICAST,IPv4,V</td><td>IRTUAL> mtu 8232 index 1</td></up,loopback,running,mu<>	LTICAST,IPv4,V	IRTUAL> mtu 8232 index 1
12)設定した構	成情報を確認します。	inet 127.0.0.1 netmask ff000000		mtu 1500 indax 2
Idom2# ifc	onfig -a	inet 192.168.10.203 netmask ffffff00 broadcast	192.168.10.255	Into 1500 Index 2
	<u> </u>	groupname ipmp-g ether 0:14:4f:f8:6a:2a		
13)外部サーバ	ヘアクセスできることを確認します。	vnet0:1: flags=1000843 <up,broadcast,running,m< td=""><td>IULTICAST,IPv4</td><td>> mtu 1500 index 2</td></up,broadcast,running,m<>	IULTICAST,IPv4	> mtu 1500 index 2
ldom2# pir	ng 192.168.10.x	vnet1: flags=69000842 <broadcast,running,mult< td=""><td>ICAST,IPv4,NO</td><td>FAILOVER,STANDBY,INACTIVE> mtu 0 inde</td></broadcast,running,mult<>	ICAST,IPv4,NO	FAILOVER,STANDBY,INACTIVE> mtu 0 inde
		inet 0.0.0.0 netmask 0 groupname ipmp-g		
		ether 0:14:4f:fa:d1:69		

	Oracle VM Server for SPARCを使ってみよう(構築・運用手順書))	作成日	2012年2月			
9. バックアッ	ブ・リストア		primary# ldm list-cons VERSION 1.5	traints –p Idom1			
(1)ゲストドメインの	のバックアップ		DOMAIN name=ldom1		152027b2of9		
1) ゲス <u>トドメイ</u>	ンの環境設定を確認します。		CONTROL failure-poli	cy=ignore extended	I-mapin-space=off		
prima	ry# Idm list-constraints -p Idom1		VCPU count=8				
			VARIABLES	3648			
			auto-boot?=true boot-device=disk:a vd	isk0			
			keyboard-layout=Japa VNET name=vnet0 dev	anese r=network@0 servio	e=primary=vsw0 mac=		
2) ゲストドメイ	ンの環境設定ファイルを保存します。		addr= mode= pvid=1 vid= mtu= linkprop= id=0 VDISK name=vdisk0 vol=vol0@primary=vds0 timeout= id=0				
	ry# Idm list-constraints -x Idom1 > /Ldom1/Idom1.xml		VDISK name=vdisk_iso	vol=vol_iso@prima	y-vds0 timeout= id=1		
※ 7/* 本引	っかねば亡意とす。 手順ではldom1のバックアップリストアを行います。		VCONS group= service	e= port=			
3) ゲス <u>トドメイ</u>	ンのディスクを確認します。	primary# ldm list NAME	-domain −o disk				
prima	ry# Idm list-domain -o disk	primary					
※ 表示	示結果よりゲストドメインの仮想ディスクの物理デバイスを確認します。	VDS NAME	VOLUME OPTIONS	MPGROUP	DEVICE		
		primary-vds0	vol0 / rol_iso ro	/ dev/zvol/dsk/rpool / /ISO/Sol10u1	zfs/vdisk0 0.iso		
			rol1 rol_disk excl	/dev/zvol/dsk /dev/dsk/c1	/rpool/zfs/vdisk1 :1d0s2		
4) 7AFFX1	ノで存止しまり。 rv# ldm stop-domain ldom1	NAME					
printa		ldom1 DISK					
5) ゲストドメイ:	ンのリソースを解除します。	vdisk0	volume i volumev-vds0 0	disk@0 primary	ERVER MPGROUP		
prima	ry# Idm unbind-domain Idom1	vdisk_iso vdisk1 ~(省略)~	vol_tisk@primary=vds0 vol_disk@primary=vds0	2 disk@1 prima	ry ry		
6) ゲス <u>トドメイ</u>	ンのシステムディスクをバックアップします。						
prima	ry# zfs snapshot rpool/zfs/vdisk0@snap2	7	primary# zfs list NAME	USED AVAI	. REFER MOUNTPOINT		
prima	ry# zfs send rpool/zfs/vdisk0@snap2 > /Ldom1/vdisk0.backup)	rpool ~(省略)~	42.0G 91.9G	107K /rpool		
※ 内慮	蔵ディスクに保存する手順です。		rpool/zfs	26.0G 91.9G	31K /rpool/zfs		
			rpool/zfs/vdisk0@	26.0G 112 snap 38.6M	- 5.27G -		
			rpool/zfs/vdisk0@ rpool/zfs/vdisk1	snap2 0 85.7M 91.9	- 5.29G - G 5.30G -		
(2)ゲストドメインの	のリストア	primary# ldr	m list-domain				
1) (ゲストドメイ	インのリストアが必要な状況と想定して)ゲストドメインを削除します。	NAME	STATE FLAGS	CONS VCPU N	EMORY UTIL UPTIME		
primai	ry# Idm remove-domain Idom'i	Idom2	active -n 500	1 8 2G 0	1% 2h 36m		
2) ゲストドメイ	ン環境の確認						
prima	ry# ldm list-domain		primary# zfs list NAME	USED AVAIL RE	ER MOUNTPOINT		
3) zvolの元デ-	ータとクローンの依存関係を入れ換えます。		rpool 47 ~(省略)~	.4G 86.4G 107K	/rpool		
prima	ry# zfs promote rpool/zfs/vdisk1		rpool/zfs 2 rpool/zfs/vdisk0	6.0G 86.4G 31k 20.7G 107G 5.2	/rpool/zfs 19G -		
prima	ry# zfs list		rpool/zfs/vdisk0@snap2	0 - 5.2	9G - 0G -		
			rpool/zfs/vdisk1@snap	54.4M - 5	27G -		
prima	רביאליאראראנאין איז		primary# zfs list				
prima	ry# zfs receive rpool/zfs/vdisk0 < /Ldom1/vdisk0.backup		rpool 32	0.0G 102G 107K	/rpool		
prima	ry# zfs list		~(省略)~ rpool/zfs 1	0.6G 102G 31H			
モンドラレビング	、漂焼の青雄筑		rpool/zfs/vdisk0 rpool/zfs/vdisk0@snap2	5.29G 102G 5.2 0 - 5.2	9G - 9G -		
nrima	イ現現シロ合語来 rv# ldm add-domain -i /l dom1/ldom1 xml		rpool/zfs/vdisk1 rpool/zfs/vdisk1@snap	5.36G 102G 5.3 54.4M - 5	80G - 27G -		
Pinid		primer #11	n list-domain				
6) ゲストドメイ:	ン環境の確認	NAME	STATE FLAGS	CONS VCPU M	EMORY UTIL UPTIME		
prima	ry# ium list-domain	primary Idom2	active -n-cv- SP active -n 500	8 3G 0. 1 8 2G 0	2‰ 3n 5/m 1% 2h 52m		
7) ゲストドメイ:	ンのリソースの結合	ldom1 i	nactive 8 2	G			
prima	ry# ldm bind-domain ldom1						
8) ゲストドメイ:	ンの起動		11 A 1 A				
prima	ry# ldm start-domain ldom1	primary# ldr NAME	m list-domain STATE FLAGS	CONS VCPU N	EMORY UTIL UPTIME		
Q) ゲフトドック	、連接の疎辺	primary Idom1 a	active -n-cv- SP active -n 5000 8	8 3G 0. 2G 13% 1m	2% 3h 58m		
s) TANYA	~環境ジャ運輸 rv# ldm list-domain	ldom2	active -n 500	1 8 2G 0	1% 2h 53m		
Printal							

Oracle VM Server for SPARCを使ってみよう(構築・運	(用手順書)	作成日	2012年2月	
考]ゲストドメインの強制パニックによるダンプ取得			7	
	Ŧ	[#] dumpadm ダンプの内容: カーコ	なれなージ	
Idom1# dumpadm	\sim	ダンプデバイス: /de	ev/zvol/dsk/rpool/	dump(専用)
		セーフコアディレクトリ: / 有効なセーブコア: はい	var/crash/ldom1-0 N	1
2) ケストトメインの強制ハニックを実行します。		Save compressed: オン	/	
2) 声和動後、ダンプファイルを波辺します				
Idom1# Is -I /var/crash/Idom1				
※ 任意の方法で退避します。 ※ FCFボインフトールされている漂達では、自動的にFLongoのが取ります。				
] [1649.			
			J	
*考】全てのドメイン構成のバックアップ・リストア			1	
1)全てのドメインの環境設定を保存します。				
primary# iam list-constraints -X > /Laom i/aliaomains.xml ※ 保存するドメインを指定したけわげ、今てのドメインの構成が保存されます				
※ 床行するパンコンで指定しないれば、主てのパンコンの構成が床行されます。	0			
2) ケストトメインを停止し、削除します。				
primary# Idm stop-domain -a primary# Idm unbind-domain Idom1				
primary# Idm unbind-domain Idom2				
primary# ldm remove-domain -a	г			
3) ILOM(Service Processor)の設定を初期状態に戻します。	۹ f	actory-default [next po	weron]	
primary# Idm set-config factory-default		config_initial config_ipmp		
primary# Idm list-config				
4) OS を停止します。				
primary# shutdown -y -g0 -i0				
5) ILOM ヘログアウトします 。				
{0} ok #. (シャープ+ドット)				
-> reset /SYS				
-> start /SP/console	F f	orimary# Idm list-config actory-default [current]]	
		config_initial config_ipmp		
primary# Idm list-config			:	
	primary# ldm l NAME	ist-domain STATE FLAGS (CONS VCPU ME	MORY UTIL UPTIN
8)ドメインの状態を確認します。	primary	active -n-c SP	32 8064M 8	8% 2m
primary# iom list-domain	-			
9)ドメインの環境設定ファイルから、全てのドメインを復元します。				
primary# ldm init-system -r -i /Ldom1/alldomains.xml				
※ !-r」オフションにより、システムが自動で再起動され、ドメインが復元されま	ます。			
10)ドメインの状態を確認します。	primary# ldm	list-domain		
primary# Idm list-domain	Primary	STATE FLAGS (active -n-cv- SP	8 3G 30	MORY UTIL UPTIN % 2m
11)復元した構成情報をILOM(Service Processor)に保存します。	ldom1 ldom2	inactive	8 2G 8 2G	
primary# ldm add-config config_restore				

	Oracle VM Server for SPARCを使って	てみよう(構築・運用手順書)	ŕ	乍成日	2012年2月	
J. Oracle VM Se	erver for SPARC 環境の削除				_	_
) ゲストドメイン環境の削	除					
1) 全ゲストドメインを停	止します。			_		
primary# ldr	n stop-domain -a					
2) ゲス <u>トドメインのリソ-</u>	-スを解除します。					
primary# Idr	n unbind-domain Idom1					
primary# Idr	n unbind-domain Idom2					
3) ゲストドメインの定義	情報を削除します。			_		
primary# ldr	n remove-domain -a					
書式 # ldm ren	nove-domain (-a < ドメイン名 >)					
制御ドメイン環境の削削 1、II OM(Sorvice Droc)	余 occor)に設守した様式体報を確認します					
primary# Idr	assoi)に改進した偽成情報を確認します。 m list-config		priman/# ldm lis	t-config		
printer j# rei	in not coming		factory-default	ic ooning		
2) ILOM(Service Proce	essor)の設定を初期状態に戻します。		config_ipmp [ne	xt poweron]	
primary# ldr	n set-config factory-default					
3) ILOM(Service Proce	essor)に設定した構成情報を削除します。			_		
primary# Idr	n remove-config [config名]					
[™] ^Γ factory-de	!fault」以外の構成情報を全て削除します。					
4)次回の再起動後のL	.Doms 構成を確認します。		primary# ldm lis	st-config [next pow	eron]	
primary# ldr	n list-config	4				
5) vsw0 のネットワーク 5	定義ファイルを削除します 。					
primary# rm	1 /etc/hostname.vsw0					
💥 e1000g0 の រ	主義ファイルを置き換えている場合には、以	下を実行します。				
primary# m	/etc/hostname.vsw0 /etc/hostn	ame.e1000g0				
6)仮想ネットワークター	·ミナルサーバデーモン(vntsd)を停止します。	۰		_		
primary# sv	cadm disable vntsd					
7) LDoms デーモン(Idr	md) を停止します 。					
primary# sv	cadm disable ldmd					
9) () () () () () () () () () () () () ()						
8) OSを停止します。	utdown -v -a0 -i0					
8) OS を停止します。 primary# sh	utdown -y -g0 -i0					
8) OS を停止します。 primary# sh 9) ILOM ヘログアウトし a	utdown -y -g0 -i0					
8) OS を停止します。 primary# sh 9) ILOM ヘログアウトし: {0} ok #. (\$	utdown -y -g0 -i0 ます。 ノャープ+ ドット)					
8) OS を停止します。 primary# sh 9) ILOM ヘログアウトし: {0} ok #. (ジ 10) ハードウェアを再起	utdown -y -g0 -i0 ます。 シャープ+ ドット) 動します。	Point				
8) OS を停止します。 primary# sh 9) ILOMヘログアウトし。 {0} ok #. (う 10) ハードウェアを再起 -> reset /SY	utdown -y -g0 -i0 <u>ます。</u> ノャープ+ドット) ! 動します。 S		: て削除しても、ILO	Mのリセ	ットを行わないと	:
8) OS を停止します。 primary# sh 9) ILOM ヘログアウトし 。 {0} ok #. (シ 10) ハードウェアを再起 -> reset /SY ※ 上記コマンド	utdown -y -g0 -i0 ます。 ノャープ+ドット) 動します。 S により、OBP環境から再起動します。	<mark>Point</mark> 構成情報を全 Oracle VM Se	て削除しても、ILO erver for SPARC環	Mのリセ 境は完全	ットを行わないと	: さん。
8) OS を停止します。 primary# sh 9) ILOMヘログアウトし。 {0} ok #. (シ 10) ハードウェアを再起 -> reset /SY ※ 上記コマンド	utdown -y -g0 -i0 ます。 シャープ+ドット) !動します。 S により、OBP環境から再起動します。	<mark>Point</mark> 構成情報を全 Oracle VM Se	:て削除しても、ILO erver for SPARC環	Mのリセ 境は完全	ットを行わないと	こ さん。
8) OS を停止します。 primary# sh 9) ILOMヘログアウトし。 {0} ok #. (シ 10) ハードウェアを再起 -> reset /SY ※ 上記コマンド	utdown -y -g0 -i0 ます。 シャープ+ドット) !動します。 S により、OBP環境から再起動します。	ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー	eて削除しても、ILO erver for SPARC環	Mのリセ 境は完全	ットを行わないと とに削除されま†	: ±ん。
8) OSを停止します。 primary# sh 9) ILOMヘログアウトし。 {0} ok #. (シ 10) ハードウェアを再起 -> reset /SY ※ 上記コマンド 8] ILOM 上で構成情報	utdown -y -g0 -i0 ます。 ノャープ+ドット) !動します。 S により、OBP環境から再起動します。 優を変更する方法	<mark>Point</mark> 構成情報を全 Oracle VM Se	:て削除しても、ILO erver for SPARC環	Mのリセ 境は完全	ットを行わないと ミに削除されま†	: さん。
8) OSを停止します。 primary# sh 9) ILOMへログアウトしま {0} ok #. (シ 10) ハードウェアを再起 -> reset /SY ※ 上記コマンド 8] ILOM 上で構成情報 1) 起動モードの構成を	utdown -y -g0 -i0 ます。 ノヤープ+ドット) 動します。 S により、OBP環境から再起動します。 &を変更する方法 当荷時の構成にします。	<mark>Point</mark> 構成情報を全 Oracle VM Se	:て削除しても、ILO erver for SPARC環	Mのリセ 境は完全	ットを行わないと とに削除されま†	: さん。
8) OSを停止します。 primary# sh 9) ILOMへログアウトしま {0} ok #. (ジ 10) ハードウェアを再起 -> reset /SY ※ 上記コマンド 8] ILOM 上で構成情報 1) 起動モードの構成を -> set /HOS	utdown -y -g0 -i0 ます。 ノヤープ+ドット) 動します。 S により、OBP環境から再起動します。 個容変更する方法 出荷時の構成にします。 T/bootmode config=factory-defa	ーーーーーーーー 構成情報を全 Oracle VM Se	eて削除しても、ILO erver for SPARC環	Mのリセ 境は完全	ットを行わないと とに削除されま†	- 生ん。
8) OSを停止します。 primary# sh 9) ILOMヘログアウトし。 {0} ok #. (シ 10) ハードウェアを再起 -> reset /SY ※ 上記コマンド 8] ILOM 上で構成情報 1) 起動モードの構成を -> set /HOS 2) 起動モードを確認しる	utdown -y -g0 -i0 ます。 ノャープ+ドット) 動します。 S により、OBP環境から再起動します。 個を変更する方法 出荷時の構成にします。 T/bootmode config=factory-defa ドす。	<mark>Point</mark> 構成情報を全 Oracle VM Se	:て削除しても、ILO erver for SPARC環	Mのリセ 境は完全	ットを行わないと とに削除されます	: さん。
8) OSを停止します。 primary# sh 9) ILOMへログアウトしま {0} ok #. (シ 10) ハードウェアを再起 -> reset /SY ※ 上記コマンド 8] ILOM 上で構成情報 1) 起動モードの構成を -> set /HOS 2) 起動モードを確認しま -> show /HC	utdown -y -g0 -i0 ます。 シャープ+ドット) 動します。 S てより、OBP環境から再起動します。 型荷時の構成にします。 T/bootmode config=factory-defa E す。 DST/bootmode	<mark>Point</mark> 構成情報を全 Oracle VM Se ult	:て削除しても、ILO erver for SPARC環	Mのリセ 境は完全	ットを行わないと とに削除されま†	: さん。
8) OSを停止します。 primary# sh 9) ILOMへログアウトし: {0} ok #. (ジ 10) ハードウェアを再起 -> reset /SY ※ 上記コマンド 5) ILOM 上で構成情報 1) 起動モードの構成を -> set /HOS 2) 起動モードを確認しま -> show /HC	utdown -y -g0 -i0 ます。 シャープ+ドット) !動します。 S 『により、OBP環境から再起動します。 出荷時の構成にします。 T/bootmode config=factory-defa Eす。)ST/bootmode	<mark>Point</mark> 構成情報を全 Oracle VM Se ult	eて削除しても、ILO erver for SPARC環	Mのリセ 境は完全	ットを行わないと とに削除されま†	きん。
8) OSを停止します。 primary# sh 9) ILOMへログアウトしま {0} ok #. (シ 10) ハードウェアを再起 -> reset /SY ※ 上記コマンド 5) ILOM 上で構成情報 1) 起動モードの構成を -> set /HOS 2) 起動モードを確認しま -> show /HC	utdown -y -g0 -i0 ます。 シャープ+ドット) 動します。 S により、OBP環境から再起動します。 個荷時の構成にします。 T/bootmode config=factory-defa <u>Eす。</u>)ST/bootmode	Point 構成情報を全 Oracle VM Se	こて削除しても、ILO erver for SPARC環	Mのリセ 境は完全	ットを行わないと ミに削除されま†	ς ± Λυ ο



shaping tomorrow with you